UDCO まちを紡ぐ REPORT

#001

大宮駅東口周辺公共施設再編/ 公共施設跡地活用PI



PUBLIC INVOLVEMENT

O PUBLIC MEETING

→06

O QUESTIONNAIRE

→ 35

O INTERVIEW

→38

AN IGN TER YA



● アーバンデザインセンター大宮





UDCO REPORT

まちを紡ぐ

とは

タイトルの「まちを紡ぐ」には3つの意味が込められています。

•

1 大宮の過去・現在・未来を紡いでいく

2 大宮のまちの担い手・使い手を紡いでいく

3 大宮の残すべき価値・創るべき価値を紡いでいく

アーバンデザインセンター大宮[UDCO]は、上記1-3 のように、大宮という街を紡ぎながら、街の価値をさらに高めていこうという思いで2017年3月に設立されました。今回は、UDCOの初年度となる活動の一部をまとめ、ご協力いただいた皆様へのご報告として、「UDCO REPORT」として、「UDCO REPORT」として発行する予定でおりますので、ぜひお楽しみに。

さて、記念すべき#001では、「大宮駅東口周辺公共施設再編/公共施設跡地活用PI」を特集します。

さいたま市では、大宮で再編予定の大宮区役所や 大宮図書館、市民会館おおみやなどの公共施設の 跡地活用や、その他周辺の公共施設の将来の方向 性などについての検討を現在進めており、2018年 8月に「大宮駅東口周辺 公共施設再編/公共施設 跡地活用全体方針」(原案)が公表されました。

この全体方針(原案)を受け、UDCO・さいたま市が協働し、PI(Public Involvement:市民・専門家参加)として市民との対話、専門家インタビュー、多世代へのアンケートなどを行いました。PIは大きく以下の4つにより構成されます。

A—PUBLIC MEETING

パブリックミーティング(公開会議) 市民との対話+専門家意見の共有

全体方針(原案)に掲げられている3地区(駅前賑わい拠点・ 地域連携拠点・氷川神社周辺エリア) それぞれについて、市 民との意見交換と、各地区のテーマに即した専門家の 意見共有を目的に、基調講演・パネルディスカッション・ オープンセッション(参加者との意見交換)を、再編対象の 公共施設を会場として計3回開催しました。

B — QUESTIONNAIRE 小中高生アンケート 未来の担い手との対話

未来の大宮の担い手である10代の児童・生徒が大宮という街をどのように感じ、何に期待しているのかを知るために、大宮駅東口周辺の小学校4校、中学校1校、高校1校にアンケートを行いました。

C — QUESTIONNAIRE 出張講座アンケート | 住民との対話

さいたま市大宮駅東口まちづくり事務所では、全体方針(原案)に対する地元市民の意向や意見の方向性を確認するため、大宮駅東口周辺のまちづくり団体や自治会等を対象に、公共施設再編に関する出張講座・アンケートを実施しました。

D INTERVIEW 専門家インタビュー 専門家による知見

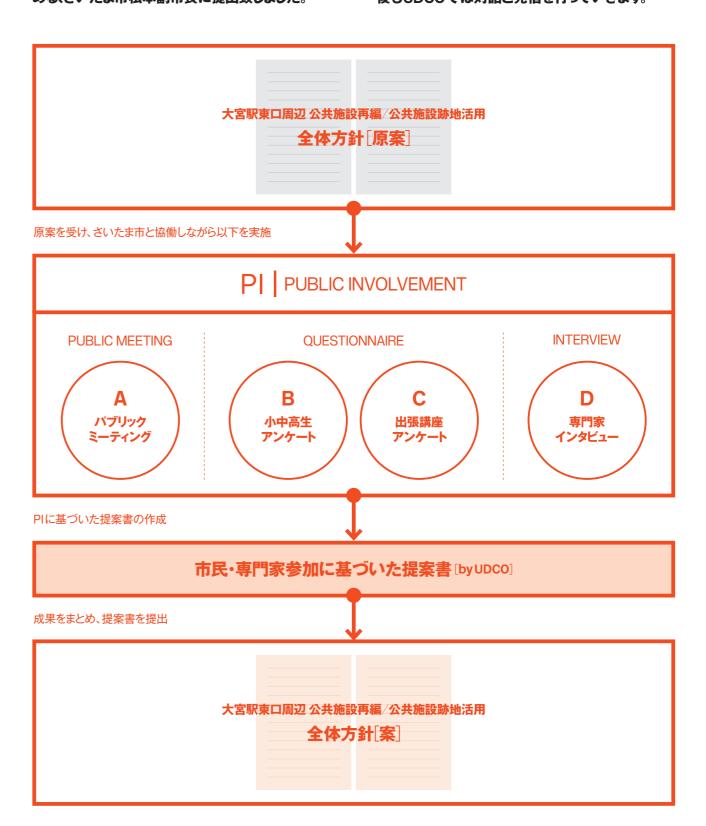
大宮駅東口公共施設再編、そして大宮の目指すべき姿について専門的知見を得るために、「行政」「建築」「教育」 「公民連携」「商業マーケティング」など、多岐にわたる分野の専門家にインタビューを行いました。 この「UDCO REPORT」によってPIの結果を広く市 民・行政・民間等と情報共有することで、次年度以降 の公共施設再編に関する検討がより深まればと考 えております。

また、UDCOでは上記PIに基づき、大宮駅東口公共施設再編を契機として大宮の街の価値をさらに高めていくための提案書を作成し、2018年2月26日に、大宮駅東口周辺公共施設再編推進本部長を務める、さいたま市松本副市長に提出致しました。

今後、UDCOによる提案を踏まえ、さいたま市は公 共施設再編全体方針(原案)を「成案」として取りまと める予定です。

最後に、PIにご参加いただいた市民・地元まちづくり団体・小中高生・専門家の皆様に対し、心より感謝致します。

みなさんの大切な街をよりよく紡いでいくために、今 後もUDCOでは対話と発信を行っていきます。



2017年11月末に、

公共施設再編のポイントとなる3地区について、

それぞれパブリックミーティング(公開会議)を

開催しました。各回とも、

その地区を考えるうえでの

ヒントを与えてもらえる登壇者を招き、

第1部——基調講演

第2部 パネルディスカッション

第3部 --- オープンセッション

というプログラムで実施しました。

第3部のオープンセッションでは、

PMのテーマとなる各地区について4つの問い

| Q1──重要だと思うキーワード・理由

O2 大切にしたいこと・理由

Q3——専門家の意見を聞いてみたい分野・理由

Q4——自由意見

の回答を参加者に記入いただき、

その回答をパネルに貼りながら

UDCOスタッフや登壇者、

さいたま市職員の方々とともに

意見交換を行いました。

当日は、地元まちづくり団体や住民の方、 大宮で店舗を営んでいる方、大宮勤務の方、 建築・不動産関係者、高校生や大学生、 さいたま市職員など、

幅広い分野・年代の方にご参加いただき、

毎回たくさんの参加者の方々で

熱気に包まれた議論がなされました。

パブ

PM#001

2017年11月24日[金] 10:00-12:15

@市民会館おおみや小ホール 参加者79名[定員80名]

工藤和美 基調講演、モデレーター

UDCOセンター長|東洋大学教授、シーラカ ンスK&H。建築家として「博多小学校」や「金 沢海みらい図書館」など、地域のニーズや潜 在的な街の力を引き出す提案を重ねる。現 在「大宮区役所新庁舎」の設計を手がけな がら、UDCOセンター長として大宮のまちづ くりにも関わる。

大江弘之

大江弘之建築設計事務所|氷川参道沿い に飲食店や美容室などが店を構える店舗 兼集合住宅「浅間町ハウス」を設計し、2010 年彩の国景観賞、2011年第10回さいたま 市景観表彰を受賞。住宅・店舗など大宮周 辺地域で数多くのデザイン、設計監理を手 がける。

作山康

芝浦工業大学教授|専門分野は、アーバン デザインの研究・調査・計画設計の実践、景 観に関する調査・計画・政策立案、魅力的な 空間構成と土地利用など、大宮をフィールド とした研究や実践を手がける。

比嘉武彦

kwhgアーキテクツ 主な作品に「武蔵野プ レイス」、「岐南町庁舎」、「伊香保グリーン牧 場 森のカフェ」など。年間200万人近い来館 者を誇る「武蔵野プレイス」は2016年日本建 築学会賞(作品)を受賞。

PM#002

2017年11月25日[土] 10:00-12:15

@大宮区役所6階大会議室 参加者80名[定員80名]

原島克典

豊島区都市整備部都市計画課交通基盤担 当課長 1983年豊島区入区。都市整備部都 市開発課では駅自由通路、再開発事業、開 発行為などを担当。その後、豊島区土木部 交通対策課長、都市整備部都市開発課長、 都市整備部都市計画課長を務めたのち、 2016年より現職。

今村信哉

共栄大学客員教授·前大宮小学校校長|浦 和市・草加市・さいたま市内小学校教頭、さ いたま市蓮沼小学校校長、さいたま市教育 委員会教職員課副参事・課長、さいたま市 大宮小学校校長・さいたま市幼児教育セン ター付属幼稚園園長を経て、現職。

大熊久夫

埼玉大学特任教授 専門分野は、建築計 画、都市計画·都市開発計画、都市交通計 画など、大宮をフィールドとした研究や実践 を手がける。共著に「鉄道が創りあげた世界 都市・東京』(計量計画研究所、2014) ほか。 大宮 駅周辺地域戦略ビジョンの策定にも関わる。

佐藤慎也

日本大学教授 2010年に中学校をリノベー ションしたアートセンター「3331 Arts Chiyoda」の改修設計を担当(メジロスタジオと 共同。さいたまトリエンナーレ2016にて「←(や じるし」のプロジェクト構造設計を担当。2016 年「豊島区現庁舎地活用事業事業者公募プ ロポーザルの審査委員を務める。

内田奈芳美 モデレーター

UDCO副センター長|埼玉大学准教授。金 沢市で文化を活用したまちづくりに携わる。 現在、地域との協働のもと、いままでにない 地域のネットワークを結ぶまちづくりを目指 してUDCOの活動に取り組む。

PM#003

2017年11月27日[月] 10:00-12:15

@大宮図書館地下視聴覚ホール 参加者80名[定員80名]

田中元子 基調講演

グランドレベル代表 けんちく体操、アーバン キャンプ、パーソナル屋台など、都市や建築 への関心を喚起させるため、さまざまな活動 を展開している。著書に『マイパブリックとグ ランドレベル――今日からはじめるまちづく り』(晶文社、2017)。

小峯政昭

氷川の杜まちづくり協議会会長 1995年よ り氷川参道を中心として交通量調査やワー クショップによるまちづくり検討、参道並木 敷きへの植栽、路上喫煙推進モデル事業の 啓発、落葉掃きなどまちづくり活動に尽力。

東角井真臣

武蔵一宮氷川神社権宮司|神社本庁参与、 神道青年全国協議会監事、埼玉県神道青 年会相談役、さいたま観光国際協会理事。 2006年明治神宮権禰宜、2007年武蔵一 宮氷川神社権禰宜、2011年より現職。

藤村龍至 | モデレーター

UDCO副センター長|東京藝術大学准教 授、RFA主宰。2013年より「大宮東ロプロ ジェクト」を通じて大宮の市民と恊働し、その 経験をもとに大宮駅東口駅前おもてなし公 共施設「OM TERRACE」の設計を手がけ る。大宮らしい公共空間に着目し、まちづくり



基調講演 10:00-10:30

11月24日[金]

氷川参道沿い ある図書館 これまでと これから

KEYNOTE SPEECH #001

工藤和美 UDCOセンター長

基調講演では、まず製糸の街としての大宮 の変遷を振り返り、「人々のクロスポイント」 をコンセプトとした新大宮区庁舎・図書館 が市民活動を紡ぐ市民の居場所・拠点と なることで、大宮とさいたま新都心をつな ぐ大切な軸としての氷川参道が形づくら れていく、という大宮の街の将来像が語 られた。

私はアーバンデザインセンター大宮 (以下、UDCO)でセンター長を務める一方 で、現在、計画を進めている「大宮区役 所新庁舎」の設計チームの一員でもあり ます。まずはその設計コンセプトの解説 から始めて、今後の大宮の発展につい て、センター長として考えていることをお 話しします。

製糸の街としての 大宮

- まずは大宮の街の変遷を振り返りなが ら、大宮の特色について考えていきたい と思います。この「地域連携拠点」でもあ る「大宮区役所新庁舎」は氷川参道に面 して計画されるので、歴史はとくに重要で す。歴史が移り変わるなかで、氷川参道の 存在は保たれてきました。同時にこの場 所は、近代化の歴史とも密接な関係にあ ります。ひとつは周知の通り「鉄道の街」 という側面です。もうひとつは「製糸の 街」としての歴史です。製糸工場などの近 代産業遺産は、明治150周年を前にして いままさにスポットが当てられています。
- 群馬をはじめとした生糸の生産地に直

結していたことから、大宮には製糸工場 がたくさん集まっていました。その時代の 近代化の文化を、大宮が発信していたと も言えます。当時の片倉組の「片倉製糸 場しもかなり立派な建築でした。渡辺組の 「大宮製糸場」も門構えが立派で、洋風 建築に和の要素を取り入れた建築でした。 「市民会館おおみや」は「山丸製糸場」 の工場跡地です。いまでも公園が「山丸 公園しとしてその名前をとどめています。 このような歴史を、現在の私たちがどの ように受け止めて建築を地域に開いてい くかを考えています。

● シルク・生糸を材料に、さまざまな製品 が生産されていきます。私たちがシルク・ 生糸に対して抱く柔らかさ、強さ、透明感 といった印象は、歴史的なものもあれば 現代的な装いにもつながっています。着 物文化から現代的な装いまで、時代を貫 き、ひとつのしっかりした素材として、私た ちのなかに脈々と受け継がれていると思 います。そうしたシルクが持つ印象を、建 築や場所で発信することができれば、大 宮のとても大きな宝になるのではないか と私は捉えています。

人々のクロスポイント

● 新庁舎では「人々のクロスポイント」と いうテーマを掲げています。今回の計画 の特徴は図書館と区役所の合築(利用目的 の異なる公共施設を複合化し多機能化すること) であることです。公共的な拠点を合築する 意味を、ここでもう一度捉え直すべきだと 思います。機能的なものが1カ所に集まり 便利になるというだけではなく、合築する からこそ偶然の出会いが生まれ、日常の 延長としてふだん出会わない人とも同じ 時間を共有することがある、ということで す。横に氷川参道が存在することで、豊か





な自然、落ち着き、晴れの場、文化や歴史 ともつながることができます。そうした環 境がこの場所にあるということも再認識 するべきです。だからこそ、市民の居場所 として何が必要かを考えたいと思います。

- この敷地で合築することの意味をどう 捉え直すか。つまりこの施設ができること で、朝散歩をする人、本を読む人、友達と 勉強をする人、行政窓口に用がある人、 観光のついでに立ち寄る人、カフェでお 茶を飲む人、いろいろな人たちが絡み合っ てくる、そうした施設になることが新しい 公共の姿なのではないかと考えました。
- 建築の提案とは、与えられた諸条件を 具体的な敷地にどう再構成するかです。 私たちの考え方としては、豊かな自然を残 すことを大切にして、周囲から引きをとり、 なるべく建物をコンパクトに建てることに しました。その分少しボリュームを上に積 みますが、参道と建物の間の広場を十分 に確保しながら、人々の集まる場所をつく りたいと考えました。同時に、人々がクロ スする場所が、なるべく邪魔をされること なく自由に使用できるようにしたいという ことから、中央部分に分散したコアをつく ることで、人々が活動する場所には柱が 一本も落ちないようにしました。これは今 後さまざまな用途変更があった場合にも 有利に働きますし、何より大切なことは、 地域の人たちの活動拠点として使いやす いものにしたいということです。

らせん状につながる 市民活動

- 新庁舎は約55m角の地下1階地上6 階の建物で、上階は専門性の高い役所機 能を配置し、1階に区役所の窓口機能、地 下が駐車場になります。周辺環境との調 和、周りの高層マンションとの目線の交差 を考慮しながら、シルクを纏ったような外 観を計画しています。
- 新庁舎の2階部分にはデッキが張り出 していて、氷川の杜と一体化したカフェ や、子どもたちの読書ゾーンとなります。 使用方法については市民ワークショップ を行い検討を重ねているところです。ま た、区役所と図書館はフロアで分けられ るのではなく、緩やかにつながってほしい という思いがありました。窓口から緩やか に「ガイダンスステップ」を通り、2階に上 がって参道の緑が見えてくるところが図



一般利用 エリア

書館のメインフロアになります。 そこから 2-3階にわたって学習ゾーンがあります。 ちょっとした会話ならOKで、さまざまな活 動が行われる場所です。奥に行けば行く ほどだんだん静かになるという構成です。 コアの周りをらせん状に市民活動が取り 囲むような動線になっています。

● 図書館と役所の機能を重ねることは、

じつは最近の流行りでもあります。たとえ ば窓口での踏み込んだアドバイスの一環 として、図書館カウンターに専門部署を 用意して職業についてのアドバイスをし たり、あるいは健康についてアドバイスを することもあります。図書館に役所の支所 を持ってくるような事例もあります。今回 の新庁舎の特徴は、これまでのようにわ ざわざ役所の分室を図書館に設置するこ となく、最初から併設されているというこ とです。図書を選ぶなかで、役所の窓口 で相談すべきことについては逆に図書館 司書がアドバイスをできるようになってい ます。そのような意味で、新しいタイプの 図書館と役所の合築になっているとも言 えます。

歴史と文化をつなぐ 氷川参道

■ここで、あらためて時代を振り返ってみ たいと思います。1955(昭和30)年頃の大

図書館専用 EV

新庁舎が 新しい ふれあいの 拠点になる

宮の街並みは、駅前から戸建住宅が建ち 並んでいました。1960年代後半になると ビルが増えてきますが、それでもまだたく さんの戸建住宅が参道周りに残っていま した。1980年代には交通量も増え、高層 ビルも増え、街が大きく変わりました。し かし参道と参道周辺の戸建住宅は変わっ ていません。大宮駅の東側には、中央通 りから氷川参道、中山道、その先に見沼 の田んぼがひろがっていました。このよう な風景の変化を経た後でも、いまだに都 市にこれほど近接して豊かな自然が存在 していることは、非常に恵まれたロケー ションだということがよく分かります。 そし て2019年5月に、新庁舎が完成します。

● 2020年には、東京オリンピック・パラリ ンピックが開催されます。「さいたまスー

09

パーアリーナ」も会場として使用する予 定です。「さいたまスーパーアリーナ」と 新庁舎の位置関係をみると、新庁舎から 1km程度、大宮駅から1.5km程度です。 大宮駅の周辺施設という意識で新庁舎を 捉えていましたが、さいたま新都心駅から も意外と近いことが分かります。おそらく 多くの人にとっても、さいたま新都心駅か ら氷川神社はかなり距離があるという認 識だと思います。しかしこの場所に人々の 集まる新庁舎ができることで、さいたま新 都心駅から参道を抜けて氷川神社に至る 人の流れができると考えています。 オリン ピックで日本に来る海外の人たちは、日 本文化に接する機会を求めるはずです。 その時に、氷川参道は世界から集まる人 たちを迎える参道に生まれ変わります。こ のときには、新庁舎はオリンピックに関連 した発信の拠点になるべきだと私は思い ます。氷川参道は、オリンピックで日本に 訪れた人々にとって記憶に残る、後世に 残る、伝える場所にならなければなりませ ん。さいたま新都心駅と大宮駅を結ぶ参 道沿いに、新しい拠点ができるということ は、こうした意味をもつことなのです。そ の視点で、これからのまちづくりを考えて いく必要があります。

● 新旧の歴史と文化をつなぐ大切な軸 は、新庁舎が新しいふれあい拠点になる ことで実現します。その時、氷川参道は、 四季を感じ、散歩に集い、文化に参加し、 静けさのなかに賑わいがあるような場所 になるのではないでしょうか。

「大宮区役所新庁舎」の詳細は、 さいたま市のウェブサイトを参照ください。 http://www.city.saitama.jp/ 001/010/015/004/005/index.html



パネルディスカッション 10:30-11:30

11月24日[金]

糸を纏った 公所と らと街を紡ぐ しい拠点

大江弘之 大江弘之建築設計事務所

作山康

芝浦工業大学教授

比嘉武彦

kwhgアーキテクツ

モデレーター 工藤和美 UDCOセンター長

各パネリストより、「弱いつながり」により市 民の居場所となる公共施設のあり方、氷 川参道沿いに佇む緑を活かした建築のあ り方、氷川神社の歴史と都市的視点からみ た地域連携拠点の重要性が提起された。 その後、地域連携拠点ができることにより 歩いて楽しい街となり、新たなライフスタイ ルが提供されていくのではないか、そのた めには公民連携で整備・運営を考え、氷川

参道沿いに積極的に出店する仕組みづく りなどが求められるのではないか、という 議論となった。

「弱いつながり」を つくりだす公共施設

● 比嘉 | 私たちkwhgアーキテクツが設 計した「武蔵野プレイス」(2011)という公





共施設を紹介します。図書館、生涯学習、 市民活動、青少年活動といった4つの機 能からなる複合的な公共文化施設です。 JR武蔵境駅の駅前にあり、公園と建物を 一緒に設計しました。いまでは年間200 万人近くが来館するようになりました。

• 「武蔵野プレイス」の設計は「公共性と は何か」という問いから始まりました。私 たちの人生は、家族や仲間、同僚といった 「強いつながり」だけではなく、意外にも 偶然出会った人との「弱いつながり」に彩 られています。こうした「弱いつながり」を つくり出すような市民のたまり場こそが、 これからの新しい公共性を担う施設とし てふさわしいのではないかと考えました。 したがって、熱心な利用者だけではなく、 これまで図書館や公共施設に行かないよ うな人も無理なくいられる場所こそが大 事だと思っています。

• 「武蔵野プレイス」 のコンセプトは、「コ

- プレゼンス(co-presence=ともにいること)」 です。みんなで一体、一丸になるのでは なく、ばらばらのままでいながらも場を共 有することを通してともにいること。そう いった「共感なき共存」というべき社会的 な集団のあり方を自然状態として捉え、楽 しめるようになること。そんな状況をつく り出すために、建物は大小のかまくらが集 まったような形になっています。すべてバ ラバラなのにすべてがつながっているよ うな空間です。互いにまったく無関係では ないけれども、関係を強制されないと言 いますか、いろいろな人がさまざまな状態 でともにいられるということを目指してい ます。機能的には、図書館を中心に「強い つながり」と「弱いつながり」が常にリンク しているのが特徴です。1階の真ん中には ブックカフェがあり、コーヒーカップの触 れ合う音が居心地よく人を包み込みます。 • いままで公共施設について敷居が高い と感じていた人に対しても、「自分たちも いてもいいのだ」という感覚になるような 仕掛けをつくりました。テーブルのサイズ ひとつとってみても設計上の大きなポイン トとなっていて、その結果この施設では、 お互い顔見知りでもない高齢者と小学生 と高校生が同じテーブルを囲む光景を日 常的に見ることができます。これもコプレ ゼンスの一例ですね。
- 「武蔵野プレイス」には廊下がありませ ん。ですから、学習室に急ぐ学生も熱心 に市民活動に取り組んでいる人々の姿



を必ず目にすることになる仕組みです。 地下2階の青少年スペースは、20歳以 上の人は入れない子どもたちの社交場 になっています。 ここからティーンズのラ イブラリーがつながり、さらにアート系の コーナーへと続き、こうしてどんどんと本 の世界へ誘われるように考えられていま す。「武蔵野プレイス」ではすべてがこの ように連鎖的な空間としてデザインされ ています。2階には「こどもライブラリー」 があります。かまくらのような空間が連な る構成を利用して、急に泣いてしまう小さ

建物の前には、原っぱの公園とそれを ゆったりと囲むように配置されたベンチが あります。みんなばらばらにベンチに座り ますが、自然と公園で遊んでいる子ども をみんなで見守っているような感じとな り、お互いにばらばらであるにもかかわら ず、ほのかな連帯感が生まれます。

な子どもは奥のほうにいられるようになっ

ているので、子育て中の親子も安心して

図書館に来ることができます。

面白い話があります。「武蔵野プレイス」 で毎日、新聞を読んでいるおじいさんが いました。おじいさんは、いつも隣にいる 若者たちをうるさいと感じていましたが、 ある日、若者たちが使っているノートパソ コンが気になって、パソコンを買って、彼 らに使い方を教わるようになったそうで す。料理の用語で、本来互いに溶け合う ことがないはずの水と油が、鍋の中で混 ざり合うことを「乳化」と言います。乳化 が起こったときはつまり「おいしい」状態 というわけですね。「武蔵野プレイス」で は、いろいろな人たちがばらばらでありな がら、ともにいることによって、同じ空間= 器の中でいろいろな乳化=関係が偶発的 に生まれることを目指しています。

氷川参道の緑を 活かした建築設計

★江 | 私はさいたま市で設計事務所を 開いています。事務所を始めて15年ほど ですが、大宮駅の東口周辺に10件ほどの 設計を行いました。今回は氷川参道沿い に建つ4階建ての建物を紹介します。1階 が店舗、2階から4階が共同住宅です。正 面に氷川参道があり、裏側に市の道があ ります。敷地の前を歩いたり、車で通った りしながら、参道からどのような見え方を するか、氷川参道の緑をどのように活か すかを考えて設計しました。参道に面す る側に窓や出入り口、開口部を設けてい ます。自然豊かな場所に、きちんと整然と した建物が建つのは好ましくないと思い、 バルコニーや窓は比較的ラフなかたちで 不規則に並べています。



個人の店 が点在する 魅力的な

10

• 1階のテナントには珈琲店、ベーカリーな どお店が3つ入りました。いままで更地 だったところに4階建ての建物が建つこ とになるので、どのようにして軽く見せる かを考えてデザインしました。参道側の境 界いっぱいに建物を寄せ、バルコニーの すぐ先に並木が広がるように計画してい ます。参道に面するように大きなワンルー ムを設け、将来的には、壁をなくしてファミ リーが入居できるような間取りにしていま す。部屋から屋外を見ると、すぐ間近に参 道のケヤキの木が見えてツリーハウスの ように感じられます。

参道沿いに建物を建てる際、悩ましいの は、参道の両側の並木の部分はあくまで 氷川神社の私有地であり、この部分を通 るのを認めていないことです。 別の場所 に建てた住宅では、設計の段階で施主と ともに神社と協議を行いましたが、並木の 部分を通ることは認められなかったため、 裏側の市道から出入りするというプラン にしています。人が外にいる、賑わいが見 えるということも、参道の活性化につなが るのではないでしょうか。いま公共施設再 編を計画をしている3つのエリア「地域連

大宮図書館が 新都心と 大宮を 近づける

携拠点」「駅前賑わい拠点」「氷川神社周 辺エリア」でも、このような個人のお店が いろいろな所にあると、より魅力的な氷川 参道になるのではないかと思っています。

さいたま市の 双子の都心

● 作山 | 都市計画の観点からお話をしま す。氷川神社は社格の高さや社領の広大 さから「大いなる宮居」と呼ばれ、これが 「大宮」という地名の由来になっていま す。氷川神社は奈良時代には「武蔵野国 一宮」として定められ、明治時代以降は 勅祭社になっています。 氷川神社の北に は日光東照宮、鬼門(北東)に筑波山、裏 鬼門(南西)には富士山があります。氷川参 道の長さは2kmあり、日本で一番長い 参道として知られています。一の鳥居から 二の鳥居までは日光と江戸城を結ぶ左右 対称の南北軸ですが、三の鳥居から社殿 までは左斜めにずらす「くずし」の技法が 用いられています。二の鳥居、三の鳥居 に近づくにしたがって、神社関係の施設 があり、1934(昭和9)年に片倉工業の社 長が三の鳥居を奉納しました。「江戸名所 図会」(1836)を見ると、氷川参道は松並木 だったようです。現在のケヤキが植えられ たのは、比較的最近だと言えます。また、 江戸前期までは参道を経由して中山道に 通じていました。氷川神社はこうした特徴 のある神社ですが、門前町というより、中 山道の宿場町として発展しました。ですか ら少し特殊な参道だと言えます。

また、みなさんも感じていると思います が、氷川参道と原宿の表参道は雰囲気が 似ています。じつは埼玉県出身の林学者、 本多静六博士は表参道のケヤキ並木を つくっており、同じ時期に、大宮公園の改 良や氷川参道のケヤキ並木を手掛けたの です。氷川神社と大宮公園はともに風致 地区に指定されていますから、都市計画 上の設計思想として、氷川神社を中心に、 大宮公園、氷川参道のなかに「地域連携 拠点 が位置づけられると思います。全体 的に市の公有地というものは、ぶどうの 房のように、つながった各ぶどうの実を連 携させて開発していければと思います。

一方、さいたま市の都市構造について

私が述べたいのは、さいたま市には浦和 駅周辺地区と、大宮駅・さいたま新都心 周辺地区という、双子の都心があること です。大宮駅からさいたま新都心は、徒 歩圏内です。この周辺では、さまざまなプ ロジェクトが動いています。さいたま新都 心周辺の三菱マテリアル跡地にバスター ミナル建設の計画や、先日のさいたま市 本庁舎検討審議会でも、さいたま新都心 周辺に「さいたま市本庁舎」を建設すると いう意見が出ました。以上の観点から、こ の位置はさいたま新都心周辺の徒歩圏 800mをわずかに越えるあたりになりま すが、非常に重要になるだろうと考えて います。大宮図書館という集客施設がマ グネットとなって、さいたま新都心と大宮 を近づけるという意味で、非常に重要な 場所ではないかと思います。

「地域連携拠点」の 可能性

- 工藤 | ありがとうございました。パネリス トのみなさんには、「地域連携拠点」には どのような可能性があるかを示していた だきたいと思います。
- ●比嘉 恥ずかしながら、私は氷川参道の ような立派な参道が大宮にあることを今 日初めて知りました。そのような人は意外 と多いのではないかと思います。まちづく りのポイントは、いかに「強いつながり」と 「弱いつながり」をリンクさせることがで きるかだと思います。大宮には、鉄道交通 という「強いつながり」と氷川参道という 歴史の軸のような「強いつながり」がある とすれば、そこに「弱いつながり」をいか に生み出すことができるのか。そのため には、歩いて楽しい街をどのようにつくる かが重要だと思います。
- ◎ エ藤 | そうですね。「武蔵野プレイス」 の周辺は人々が歩いて生活をすることが 楽しい場所でもあります。建物ができるこ とによってはじめて新しい気持ちが生ま れる。「武蔵野プレイス」の周りにはその ような現象が起きています。
- ●比嘉 | 「武蔵野プレイス」に行くために 駅の利用客が15%も増えたり、その場所 に住みたいという人が増えたそうです。 住みたい地域といえば、これまでは武蔵 境ではなく吉祥寺でしたが、最近は逆転 現象が起こっています。土地の価格も上 がってきたそうです。公共施設というもの は、同じ予算でも、どのようなものが建つ かによって、地域の潜在的な可能性を大 きく開くソフトパワーとなりえます。 大宮で も、このような新しい図書館と庁舎ができ ることで期待感が高まりますね。
- 工藤 | 私は、「武蔵野プレイス | のプロ ポーザルの審査員をしていましたので、経 緯や周辺住民の関心など、いろいろ聞い ていました。施設が竣工して人の流れが 変わったところを見て、施設の意味合い に、さらに新しい役割が重ねられたのでは ないかと思っています。大宮駅を通り過ぎ る人、氷川参道を知らない人はたしかに 多いかもしれません。しかし市民はみんな 知っています。作山先生のご指摘の通り、 さいたま新都心と大宮は連携した大きな 都心であり、それらは歩いて行ける距離 にあることが特徴です。2つの都心の間に 「地域連携拠点」ができることで、もう一

歩先に進むことができるのではないでしょ うか。また、大江さんは大宮の街中に素 敵な場所をたくさんつくられています。こ うした氷川参道の周辺に建つ建物は非常 に重要な存在だと改めて思いました。

- ●大江 私は仕事をするなかで大宮の人 たちのいろいろな意見を耳にします。たと えば、氷川参道沿いにお店を出したい人 はとても多い。しかし、こうした意見は行 政には届いていない印象です。また、氷 川参道は駅からやや距離がありますから、 「氷川神社周辺エリア」は「武蔵野プレイ ス」とは条件が異なります。その意味で、お 店の入るようなものが「氷川神社周辺エリ ア」にできると、参道周辺の賑わいが増し て発展するのではないかと感じています。
- 工藤 | そうですね。 気軽に立ち寄ること のできる公共施設が増えることで、参道 沿いに住んでいる方以外にも、参道の素 晴らしさを提供できるのではないかと思 います。
- 作山 | 公共施設を拠点にする一方で、 民間の力が都心を強化します。公民連携 は重要です。「地域連携拠点」を考える時 は、あまり公共/民間という分け方を意識 する必要はありません。民間資金活用に よる社会資本整備として、民間が図書館 の運営を行うことも考えられます。公共と 民間が連携して進めていくことが大事で はないでしょうか。
- ◎ 工藤 | 官だけで社会資本を維持管理し ようとしても、さまざまなルールに抑え込 まれていくことになります。税金だけで公 共施設がつくられたり市民サービスが行 われたりする時代ではありません。それ ぞれの施設が独立し、採算を上げていく 時代になってきています。しかし、すべて 採算だけで物事を進めていくわけではあ りません。民間非営利団体をはじめ、民 間の立場から地元の人が参加するなど、 公民が分け隔てなく地域貢献をする時代 になりつつあります。

使い方を考えて ライフスタイルを 提供する

● 比嘉 | 先ほど「コプレゼンス」というコン セプトを提示しました。最近では「シェア」 や「コワーキング(co-working)」、「コリビ ング(co-living)」という言葉も流行ってい ます。これまでの家族や仲間のような枠

組みを超えて、知らない人同士がともに働 き、暮らすことへの意欲と期待が高まって います。「地域連携拠点」が、そのような 実験的な場所に使われると面白いのでは ないかと思います。たとえば、最近ヤフー は社内に外部の人が誰でも仕事で使える スペースをつくりました。そうやって「弱 いつながり」を企業という「強いつなが り」にリンクさせていくことで、むしろ自分 たちの企業価値やイノベーティブな雰囲 気が高まるからです。鉄道交通の拠点と しての大宮の優位性を新しいコミュニティ づくりに生かして、さまざまな人が出入り することのできる、より開かれた共同のカ ンパニーのようなものを創出すると、面 白い人たちが集まってくるのではないで しょうか。

- ○工藤 | そうですね。これからの時代は、 どれだけ優れた人材を集められるのかが 勝負だと言われています。優秀な人材の 集まる地域に育てるということです。その ためにも、環境や文化、歓楽が必要です。 大宮には、駅前の歓楽と参道沿いの静け さ、見沼の自然の豊かさなど、これらが身 近なところにそろっています。皆さんが描 くライフスタイルに、「地域連携拠点」と して貢献することは、街を長生きさせてい く意味でも大切だと思います。
- 作山 | まさにライフスタイルの提供です ね。僕の考えでは、大宮は商業都市とい うイメージですが、駅から人が出てくるこ とあまりはありません。夜に大宮駅東口 の南銀座通りに飲みに行くことはあって も、さいたま新都心との連携はありませ ん。ですから、さいたま新都心で働いた 人が、アフターファイブに氷川参道沿い のおしゃれなお店でコーヒーやお酒を1杯 飲んで、大宮駅前の商業地を通って帰っ ていくような感じがいいと思います。ある いは大宮アルディージャを応援するような 住み方です。そのようなライフスタイルを 提供できるように、「地域連携拠点」の使

歩いて 楽しい街を どうつくるか

い方を考えていく必要があります。

- 大江 | 大宮には遊ぶ場所もおいしいご 飯が食べられる場所も少ないと思いま す。参道は、夕方を過ぎると真っ暗で商 業的な要素はありません。さいたま新都 心との連携はさらに難しい話ではないか と感じています。図書館が遅くまで開い て、お店を出すことができる場所が増え れば、賑わいが生まれるかもしれないと 思いました。
- ◎ エ藤 | ありがとうございます。 会場から も質問を受けたいと思います。
- 質問者 | 大宮駅とさいたま新都心の間 は結構な距離があります。高速エスカレー ターを設置するのはどうでしょうか。お金 の掛からない移動手段でなければ、住民 は利用しないと思います。
- 作山 フランスのメスには、路面電車に 似た格好いいBRTシステムがあり、低価 格で運行しています。こうした乗り物に乗 ることで、日常をおしゃれに、ゆっくり楽し むことができます。 そのようなライフスタ イルができるといいと思います。
- ●質問者 公共施設の建設は結構ですが、 税金が上がるのは困ります。東京の渋谷 区では公有地にマンションを建て、その売 上で公共施設をつくっているそうですが。
- ○工藤 | 作山先生もご指摘されたように、 民の力を取り込むことが重要です。税金 を投入するだけでなく、民間との上手な コラボレーションを市とともに検討したい と思います。



OPEN SESSION #001

オープンセッション

地域連携拠点

*オープンセッションでは、記入者の意図が伝わるように一部補足していますが、記入された内容をそのままのかたちで掲載しています。

本日のPMで地域連携拠点にとって重要だと思う

キーワードは何でしたか?

1

強いつながり―― 弱いつながり

- 強いつながりのコミュニティに、弱いつな がりのコミュニティを取込む重要性に共感 できたため。
- ●新しい人材も交流・対流する場(が重要)。
- ●市民の意見を反映するだけでなく、民間 企業を参画させることで、より現実的かつ 柔軟な方針を打ち出せるのではないか。
- ◆大宮、さいたまの場合、まちのコンテンツ に人が集まる面と、人々の日常の活動そ のものがコンテンツとなって人を魅きつけ ることになる面があると考える。

(2)

14

到化

(ばらばらでありながらともにいること)

- 横に串をさす、市民、専門家には公民学の (間の)力べは不要であると考えます。
- ●市民が抱える困難が多様化する中で、相 談やつなぐ機能を図書館にもたせること の重要性を感じました。

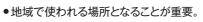
いろいろな物との連携が重要。

歩いて楽しい

- (大宮で)どこに行く?なにかある?ときかれ てもおすすめの所がない。
- ●歩いて回遊できる快適なルート(の整備が
- ●高齢者、足の悪い人も回遊できる手段[バ ス·LRT](が必要)

目的がなくても 行きたくなる場所

- 駅周辺の商業地区から離れて、ほっとした い場所、何か楽しいことがあるのではと期 待できる場所となることが重要だと思う。
- ●特定の目的をもって行く施設ではその目 的がなければ足を向けなくなってしまうと 思います。
- ●近くに氷川神社·公園があるのに、<行く途中 に)休む場所がないので気軽に行きづらい。





1

Q2

交流を生む・ 共生の場

大切にしたいことは何ですか?

●交流を生むために集まる施設であるべ き。景観、居心地、親しみやすさをデザイ ンする!

これから新しくなる地域連携拠点を考えるうえで

- 健常者の目でなく、少子高齢化をふまえる (ことが重要)。
- ●単に新しいビルが建つのではなく、古い 物や良さを生かした開発をしてほしい。
- 人と人、人と緑、人と自然。人が交流・対 流できる場。
- 今は、他地方から越して来て東京に働き に出て、ほぼ寝に帰るだけの人が多い が、ここからの20年で、仕事が終わるあ と、地域のコミュニティが全くない状況を どうするのか?

回遊性・交通利便性の向上

- 街がにぎわう事が重要だから。
- ●地域連携に必要なのは、交通利便性のイ ンフラと、大宮に来たいと思わせるコン テンツ(目的)
- ●(大宮区役所が)大宮駅から離れることは事 実。交通の利便性(交通手段を整備すること) も重要だが、参道や西通線沿いのテナント ミックスを考えることも重要だと考えます。
- 大宮駅、新都心駅からの動線が重要。

3

氷川参道の緑

- ●駅前のビル群とは異なり、ゆったりとした 参道の緑のある空間が大事だと思うから。
- ●折角2kmも残っている氷川参道の緑が活 かせるように!
- ●参道の緑を大切に。

(4)

その他

● ライフスタイルの提供:多くの方の価値を

るから。

- ●ゆとり: 大宮は全体的ににぎわいはある が、「ゆとり」がない。参道は車も人も多く 危険である。区役所・図書館が「ゆとり」 あるものにするのは当然ですが、参道自 体も「ゆとり」ある空間になってほしい。一 度、土日だけでも歩行者天国にする社会 実験をしてみては。
- ●マッチングとコーディネート:市民活動サ ポートセンターの運営を通して、人々は単 に場を共有して出会うだけでは交流しな い。浅く知り合う程度の交流では連携は 生まれないと痛感。意図的なマッチング とコーディネートが不可欠。
- ●税金の重点的な投入。必ずしも「箱」をつ くる必要はないと思う。 図書館という立 派なハードがあれば充分であり、むしろ誰 もが自由につかえる広場、公園でもいい と思う。
- ●スペースで考えるのではなく人材も入れ て考える:人があって街となる。
- ●施設としての採算性:このご時世に新し い公共施設を整備・運営していくには必 要な視点だと思います。
- ●多様な主体の連携:賑わい、コミュニティ 創出を市民、行政、民間が担うことが重要。

03

大宮のまちづくりを考えるうえで、専門家の 意見を聞いてみたい分野はなんですか?

教育·福祉

- ●既に大宮に住む人は便利だと感じている が、新たな人の流入・定着をはかるには、 魅力が必要となる。浦和が教育力で発展 したように、大宮も子育て、教育、特に保 育に目を向けるべきと考えるため。
- ●未来の大宮の街にさらににぎわいを持つ てもらうため。
- ◆子育てのしやすいまちづくり(が重要)。
- ハード・環境を活かしきる人材活用が必 要だと考える。

商業•経済

- ●楽しくショッピングできる場所でないと人 は集まりません。
- ●大宮周辺に住んでいる子育て世代は、大 宮駅周辺には行かない。行く場所がない。
- かせぐインフラを目指してほしい。

- 文化的なものを残していきたい。
- ◆大宮から発信出来る音楽文化等。

芸術·美術·文化

- 美術や教育、芸術の人々が集まる街づくり。

その他、ご意見を ご自由にお書きください ◆大宮は住民、子供が増えているにもかか

04

- わらず、公園がとても少ない。今の山丸 公園の利用者は大勢いる。幼児、小学生 と世代年齢別に遊べる様な公園を整備し て欲しい。
- ・さいたま新都心からの動線を考えたとき に新都心駅から参道に引き込める工夫 が必要だと感じました。(市民)会館の跡 地の活用もセットで考えていくべきだと 思います。
- ①子供、学生、主婦、高齢者、会社員、行 政、企業などをジャンル別で意見をつの る。②平日、休日、早朝、日中、夕方、夜夕 イムゾーンでの利用方法(を考える)。
- ●明治時代のりつぱな(山丸)製糸所のあっ た場所に、専門家の方達のご意見をお聞 きして、大宮駅周辺と新都心を参道でつ なげて、広い1つの空間として開発を考 えるということが今回よくわかった。鉄道 網を生かして、色々なことが考えられると 思った。
- これからの大宮が楽しみです。 奥へ広が る開発。見沼田んぼまで。
- こうした説明の会でも出席者は少ないの でもっともっと住民が参加してくれるよう な広報をしてほしい。
- いわゆる、大宮で生まれ育って、現在納税 している働く世代に対して、魅力あるまち の姿は何か。
- このような講演に足を運ぶ人は高齢者が 多いように感じる。しかし、若い人の意見 をきかないことには、それ以上の人口増、 都市としての発展はないと考える。また、 既に住んでいる人の意見だけでなく、大 宮と他の都市を比較して、コメントをくれ る外部の「住民」の意見を聞くことが大切
- 氷川参道の緑の保全と街並み、しつらえ を検討しています。参道隣接のマンション の色、型には好ましくない建築物が最近 増えています。要改善。
- 市民への情報公開がまだまだ不十分だ。
- ●人々が訪れて楽しい大宮の建設。○○で 来たくなる大宮。働きたくなる大宮、住みた い大宮、暮らしてみたくなる大宮、安心で 安全で住んでいる人々がハッピーな大宮。



捉える拠点としての機能が必要だと考え

基調講演 10:00-10:30

11月25日[土]

はじまる まちづくり



原島克典

豊島区都市整備部都市計画課 交通基盤担当課長

KEYNOTE SPEECH #002

基調講演では、東京23区内で唯一「消滅 可能性都市」に選ばれた豊島区の歴史か ら、現在進行中の公共事業、そして今後の まちづくりの展望が語られた。具体例とし て、文化による都市再生として掲げられた 「国際アート・カルチャー都市構想 |を基 に、市街地再開発事業による新庁舎建設 や旧庁舎跡地活用等の公共施設再編や 公園整備を連鎖させながら、人間中心の 誰もが主役になれる劇場都市を目指す池 袋の活動が共有された。

● 私は豊島区に30年以上在籍していま すが、大宮で育ち、小学校の頃から大宮 周辺をよく行き来していました。現在は上 尾市に住んでいますが、東大宮駅を最寄り 駅にしております。今回は豊島区の池袋周

辺のまちづくりを中心にお話しします。

豊島区の歴史

● 豊島区の面積は13.01km²と、大宮区 とほぼ同じ面積に現在29万人が暮らし ており、日本一人口密度が高いです。1911 (明治44)年には、既に豊島区内に池袋、 大塚、巣鴨、駒込、目白という山手線の5 駅がありました。東京23区で山手線の駅 を5つも抱えているのは豊島区だけです。 これら5駅を中心としてさまざまな街がで きてきました。巣鴨には「おばあちゃんの 原宿」と言われる地蔵通りがあり、それぞ れの駅に特色があります。1918(大正7)年 に池袋駅からほど近い場所に立教大学が 移転し、その後も、区内には学習院大学 や大正大学などが移転してきて、それと

にかけて、巣鴨拘置所の移転を要求する 署名運動が起こります。移転が決定する と、その跡地に単なるマンションを建て るのか、あるいは別の用途とするのかが 検討され、結果的に1978(昭和53)年にオ フィスやホテル、マンションなどが入った 複合ビルが完成します。みなさんご存知の 「サンシャイン60」です。地方でも、「豊 島区はサンシャインがあるところしと言え ばすぐに池袋だと分かります。高さ240 m と当時は東洋一を誇っていました。時代 が下って1990年に、池袋駅西口に「東京 芸術劇場」ができました。その2年後に「メ トロポリタンプラザ」ができ、現在では東 武百貨店やルミネと直結し、上階はオフィ スになっています。国鉄の民営化により、 駅周辺にまとまった開発用地が生まれた ことで、こうした建物の建設が可能になり ました。また、2020年の東京オリンピッ ク・パラリンピックまでに、「東京芸術劇 場しの隣の広場に野外ステージをつくる 計画があります。ところで、2008年に地 下鉄副都心線が開業しました。2013年に 横浜まで開通すると、3副都心(池袋、新宿、 渋谷)を通ることになります。埼玉県民と池 袋に住む人がみな横浜へ行ってしまい、

ともに街が成長してきました。1945(昭和

20)年頃には、空襲で焼け野原になった池 袋駅周辺に闇市が形成されます。その後、 池袋駅、大塚駅、巣鴨駅、駒込駅の周辺

を中心に戦災復興区画整理事業が行わ れ、昭和30年代までに、道路、公園など の基盤をつくり、敷地を整序化するなど、 一定のまちづくりをしてきました。1974(昭 和49)年に地下鉄の有楽町線が池袋-銀 座間に開通。都心部と郊外を結ぶ放射状 の路線が整備されました。当時、池袋駅 の東側には巣鴨拘置所がありました。副

都心を広げるために昭和30年-40年代

これからのまちづくり

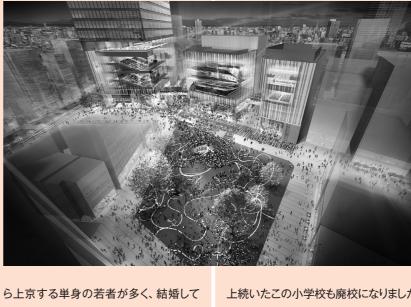
池袋は通過駅になってしまうのではない

かという懸念がありましたが、予想に反し

て横浜方面から池袋に人が来るという逆

の現象が起きました。

● 豊島区は2014年に発表された「消滅 可能性都市」に、東京23区中で唯一選 ばれてしまいました。 なぜ29万人もの大 都市がなくなってしまうのか。豊島区は 23区のうち転出入が最も多く、年間3万 人が流出し、3万人が流入します。地方か



子どもを産む年代になると、家賃が高い ために豊島区から少し離れた広い家に転 居してしまいます。その結果、豊島区には 子どもを産む年代が定住しないのです。そ の後、ピンチをチャンスに変えるべく「持 続発展都市推進本部」が発足します。人 口減少社会への挑戦として、「女性にやさ しいまちづくり」「地方との共生」「高齢者 への対応 | 「日本の推進力 | の4本の柱を 打ち出しました。さらに、文化による都市 再生として「国際アート・カルチャー都市 構想」を立ち上げ、文化、国際、空間とい う3つの戦略を掲げます。文化戦略の面 では、東アジア文化都市2019やアートオ リンピアの開催。国際戦略としては、国際 的なイベントの誘致や多国籍企業を誘致 するアジアヘッドクォーター特区がありま す。そして空間戦略として、特定都市再生 緊急整備地域の指定があります。加えて、 複合商業施設「ハレザ池袋」と4つの公 園整備事業、池袋周辺のまちづくりを進 めています。

市街地再開発事業と 旧庁舎地区の 活用による新庁舎

● いま、官民連携での公共インフラ整 備が話題になっています。豊島区では、 2015年に市街地再開発事業と区有財産 を最大限に活用し、新たな借金をせず新 庁舎を建設しました。経緯を説明します。 新庁舎が建つ場所は、もともと小学校で した。その小学校の敷地には都市計画道 路の計画があり、事業化によって学校とし ての面積が足りなくなり、また少子化で小 中学校の統廃合が進むなかで、100年以

上続いたこの小学校も廃校になりました。 その後、この土地が公的不動産のひとつ として、2003年頃に活用検討が進みまし た。結局、周辺の民有地と併せて市街地 再開発事業をすることになりました。市街 地再開発事業ですから、従前、従後資産 というかたちの権利変換になります。区は 小学校と児童館の用地など市街地再開 発事業の用地の約6割を持っています。 そこで、権利変換というかたちで、新しい 建物の権利床として約10.700 km²を取 得しましたが、新庁舎には25,500km²が 必要で14.800km²ほど足りません。とこ ろが、豊島区の財政は厳しいため、保留 床を購入する資金を用意することはでき ません。そこで、旧庁舎敷地を定期借地 として貸し出し、その地代を充当しました。 こうして一般財源から支出することなく新 庁舎を建てることができました。2015年 に新庁舎が完成。緑化パネルやガラス、 太陽光パネルなど多機能な「エコヴェー ル」で建物を覆うグリーン庁舎であり、10 階には1,000 m²ほどの屋上庭園があり ます。緑があるだけではなく、座って学習 のできる場にもなっています。さらに区民 サービスの向上のため年間345日開庁し ます。年末年始、祭日以外は土日も開庁 するということも初の試みです。

旧庁舎跡地事業

● 旧庁舎跡地事業の目的は「賑わい拠点 の創出」「文化拠点の創出」「新庁舎整備 費の財源を生み出すこと」の3つです。ま ず、旧本庁舎敷地、公会堂敷地、区民セ ンター・生活産業プラザ、中池袋公園の4 つの敷地を一体的に整備し、敷地全体が 「ハレザ池袋 | として2020年夏にオープ



誰もが 主役になれる 劇場都市

ンする予定です。ハレザには8つの劇場 があり上階はオフィスです。1,300人収容 の新ホールや多目的ホール、小ホールは 区の施設で、その他は定期借地で東京建 物、鹿島建設、サンケイビルが運営しま す。新ホールの杮落としは宝塚歌劇の公 演が決定しています。

- 新ホールでの大きなイベント時にも女 性トイレに行列ができないよう、区民セ ンターの2階には女性用トイレを35ブー ス用意します。その他にパウダールーム、 フィッティングルーム、「パパママ☆すぽっ としなどを設けています。
- 池袋駅周辺地域は、2015年に特定都 市再生緊急整備地域の指定を受けまし た。これまでの緊急整備地域は、新宿駅 や渋谷駅、品川駅周辺や、東京都心・臨 海地域でしたが、池袋が指定されたこと で、緊急かつ重点的に市街地を整備して、 国際競争力の強化を図ることができま す。開発の面でも、都市計画の制度の特 例で大規模な開発が可能になり、金融の 制度、補助メニューが活用できるようにな ります。これにもとづき、国際アート・カル チャー都市のメインステージとして、「アー ト・カルチャーの魅力で世界中から人を 呼び込む新文化・新産業を育む」「都市空 間を人間優先へ。だれもが主役になれる

舞台に」「先人が培ってきた文化資源を活 かしながら新たなまちづくりへ」というガ イドラインを策定しました。さらに、まちづ くりの5つの戦略として「文化」「賑わい」 「歩いて楽しむ」「安全安心」「環境と共 生」があります。

まちづくりの全体像

さらに、池袋駅東口周辺にライトレール を走らせるLRT整備構想もあります。ま た、さいたま新都心に移転した造幣局の 3.2haの跡地は防災公園、文化交流施 設、市街地整備として活用されます。また、 文化交流として豊島区は学園都市を謳っ ており、川越にある東京国際大学が移転 してくることになっています。学生の街、 賑わう街とするために、どのような回遊 性を持たせるかが課題です。その基本と なるのが池袋西口公園、ハレザにある中 池袋公園、造幣局跡地の新公園、そして 2016年にリニューアルした南池袋公園の 4つの公園です。また、LRT整備構想はま だ時間がかかるため、2019年の東アジア 文化都市や翌年のオリンピックに向けて、 電動バスを池袋副都心内に走らせる計画 もあります。

- 現在は池袋駅前に多くの車が走ってい ますが、庁舎の前にできる環状5の1号線 の地下道路によって、駅前を歩行者の空 間に変えていきます。駅と街を一体化させ る東西デッキを架け、池袋副都心を人間 中心の空間にする計画です。
- 以上のように、東アジア文化都市、「ハ レザ池袋」の展開、4つの公園の整備、 池袋周辺のまちづくり――これらの整備 を今後2-3年のあいだに進め、東京オリ ンピック・パラリンピックを迎えたいと思 います。消滅可能性都市から新時代を切 り開き、誰もが主役になれる劇場都市を 目指します。そしてこれからの持続発展の ために、さまざまな課題に果敢に挑戦して いきます。





パネルディスカッション 10:30-11:30

11月25日[土]

PRE(公的不動産)を 活用した まちづくりの 実践と東日本を つなぐ対流机

共栄大学客員教授/ 前大宮小学校校長

大熊久夫

埼玉大学特任教授

佐藤慎也

日本大学教授

モデレーター 内田奈芳美 UDCO副センター長

各パネリストより、街と学校との関係性に ついて、アート、教育、まちづくりというそれ ぞれの観点から、街や地域コミュニティと 連携する核となる学校のあり方について 話題提供がされた。その後、PREをどのよ うに利活用していくかということについて、 面的な回遊性への寄与、日常的に市民が 関われる場であること、学校を街に開いて いくこと、新しい世代の都市居住などがヒ ントとして議論された。

地域に根ざす アートセンター

● 佐藤 | 私の活動を紹介します。ひとつ は、2016年に行われた「さいたまトリエン

ナーレ | で、ドラマトゥルク(戯曲のリサーチ や制作のサポートをする役職)の長島確さんと チームを組んで展開した「←(やじるし)」で す。これは、矢印に誘われて人が彷徨って いくという、劇作家の太田省吾さんによる 演劇作品「↑(やじるし)」シリーズに着想を 得たアートプロジェクトです。街の人がつ くった矢印を自宅や職場に飾ってもらい、 私たちがその写真を撮りに行くというも の。つまり、自宅や職場に演劇がやって来 るのです。そのとき、矢印が舞台装置とし ての役割を担います。写真を大宮の髙島 屋で展示しました。美術館の中ではなく、 日常的なかたちで展示をするというねら いです。

•もうひとつは、千代田区外神田の中学校







をアートセンターに改修した「3331 Arts Chiyoda」です。「3331」とは3、3、3、1 と手を叩く江戸一本締めに由来し、地元 の文化に根ざした名称になっています。

•かつて東京都(当時は東京市)は、関東 大震災後に避難場所にもなる復興小学 校と公園のセットを各地につくりました。 「3331」もそのひとつです。のちに校舎 と公園がフェンスで分離されましたが、 「3331」に改修する際、再び公園と校舎 をデッキでつなげました。東日本大震災 の際に避難場所となり、かつての震災の 教訓を復元したことが功を奏したと言え ます。ほかにも、地域の人が自由に入れる コミュニティスペースや、地元のお祭りに 関する展示を行うなど、地域と密接に関 わりをもっています。

大宮の街と 一体となる学校

● 今村 | 私は大宮小学校の校長を務めて いました。4年前のとあるタウンミーティン グで、大宮小学校を他に移して、その場所 を有効に使おうという話で盛り上がって いました。私はつい手を挙げて「小学校を スペースとして考えるだけではなく、子ど もたちが生活をしているということを考え てほしい」とお話ししました。今日は、大 宮小学校の子どもたちと街がどのように 関わっているのかについてお話しします。 •大宮小学校は2018年に開校145周年 を迎えます。ある方は「私の孫は(寺子屋か 6数えて)大宮小に通う5代目です」と言っ ていました。小学校が多くの世代をつな いでいます。

大宮には調理や福祉など、さまざまな専 門学校があり、その専門的な知見を総合 的な学習などでの授業に活かしてもらっ ています。他にも歯科衛生士の学校の方 に来てもらったり、埼玉弁護士会の方々 に法の価値や背景についての授業をして いただいたりしています。学校が大宮の街 に支えられているのです。逆に、「アートフ ルゆめまつり」での子どもたちの演奏や、 朝のおはよう活動(駅前清掃)を通して、子 どもたちも街に貢献しています。

さらに、夏の「中山道まつり」のあいだは 学校の予定を入れていません。多くの子 どもたちがまつりに参加するためです。街 の方々には喜んでいただいています。私 が校長の時に、「大宮小の学区はどこか」 という問い合わせが何件もありました。 その学区に移り住み、大宮小学校に子ど もを通わせたいと考える保護者のみなさ んがたくさんいるということです。私はこ の地を学校だけで独占する状況ではなく なったと思っています。大宮の街と一体と なるような学校ができれば、本当に素晴ら しいと思います。

コミュニティを 連携する 核としての学校

● 大熊 | 「駅前賑わい拠点」は、今後さま ざまな事業や計画を展開していくうえで、 きわめて大きな連携拠点だと言えます。た とえば大宮駅から大宮区役所跡地、大宮 小学校を東西シンボル都市軸でつなぐ構 想が打ち出されています。大宮駅の交通 拠点としてのポテンシャルを活かして、駅 と街を連携させることがねらいです。

•大宮駅周辺地域はさいたま市の中心に 位置する大きなポテンシャルがある地域 です。「大宮駅グランドセントラルステー ション化構想 | (大宮GCS化構想)のなかで、 大宮駅の広域的な交流のポテンシャル を、地域にどのように展開するのかが問 われています。ポイントは2つあります。ひ とつは、氷川参道沿いの氷川周辺、駅前 賑わい拠点、大宮区役所新庁舎の縦方 向の軸です。横軸に広域交流軸が展開す る一方で、縦軸は地域のコミュニティの連 携軸です。その中心が大宮小学校の周辺 です。もうひとつは、南北の地域のコミュ ニティ核としての小学校の存在です。昔か ら地域コミュニティの中心は小学校であ り、きわめて重要です。それは長らく都市 計画の常識であり、現在も小学校を中心 に地域のコミュニティ計画が行われてい ます。とりわけ小学校の場合は、子どもと それに関わる世代が若く、大宮は首都圏 のなかでもここに住みたいという需要が 非常に高いため、流入の多い地域です。 しかし、マンションが開発されてコミュニ ティが孤立してしまうと、その住民は地域 との接点をもてなくなります。そのため、

大宮小学校は コミュニティの 拠点となる

流入してくる若い世代にとって、小学校は 重要な交流拠点となります。これをうまく 取り込むことが大宮全体のまちづくりの 核になります。

地域のつながりと 世代のつながり

- ○内田 | 今回の目的のひとつは、貴重な 公的不動産について、どのような利活用 の実態があるのかを共有し議論すること です。大宮の状況について、パネリストの 方のお話を受けて、原島様からご自身の 経験も踏まえてコメントをいただきます。
- 原島 | 池袋駅の1日の乗降客は264万 人と、新宿に次いで日本で2番目に多い のですが、乗り換え客がその7割であり、 街に出る人は3割しかいません。その割 合を増やしていくには街の魅力が必要で す。サンシャインには開業当時から年間 3,000万人が来ています。2018年で開業 40年周年を迎えますが、いまもこの数を 下回っていません。サンシャインができる 前の池袋駅は、東武百貨店と西武百貨店 に買い物客を囲われ、「駅袋」と言われて いました。したがって、サンシャインによっ て駅の外に人の流れが変わったことは重 要なポイントです。豊島区には反省もあり ます。池袋はこの40年間サンシャインに よって賑わっていました。今後は、ハレザ や4つの公園の間で面的に人を回遊させ ていこうとしています。
- ・大宮には氷川参道、そしてNACK5スタ ジアムがあります。人の流れをつくるこれ らの拠点間には距離があるので、歩いて もらうことができます。しかし、単に道を歩 くのではなく、そこで時間を過ごしてもら えるような空間のあり方が重要です。大宮 では、中央デパートの跡地に複合ビルが でき、一大拠点になるでしょう。人の足が そこで止まってしまえばその先に広がりま せん。氷川参道、盆栽村、漫画会館まで 足が延びるよう、それまでの道が魅力的 で人が集えるように考えていただきたい と思います。



○内田 | ここでの重要なポイントは、エリ アとしてのつながりと世代としてのつなが りがあるということです。とりわけ大宮小 学校は地域のつながりの中心でありなが ら、同時に多世代をつなぐものでもありま す。学校に象徴されるこうした人のつなが りは、建物を残すか否かにかかわらず、地 域にとって意味があることだと思います。

- 佐藤 | その意味では「3331」は、かつて の校舎が現在も残っていることも大切で すが、それ以上に地域の人たちが関わる ことのできる場所であり続けていること が重要です。当初「3331」は5年間のみ の利用という計画でしたが、2017年に7 周年を迎えました。美術館のような敷居 の高い施設ではなく日常的な場所ですか ら、みなさんに受け入れられています。7 周年記念式典のときに、地域の人たちか ら「最初は何をしているのか分からなかっ たが、通っているうちによく分かるように なってきた」と言われました。学校という 機能は失われてしまいましたが、いまで も地域の人が集まることのできる場所に なっています。
- 今村 | 私が大宮小学校に赴任して驚い たことは、地域と学校のつながりがとても 深いことです。まずは人の出入りがとても 盛ん。まもなく閉園してしまいますが、学 校の中にあった幼稚園の親御さんも、当 然出入りしていました。学校の一室を会 議室として開放し、いろいろな方が自由に 使っていた時期もあります。社会福祉協 議会が行っている敬老のお昼サービスは 現在も継続しています。お年寄りは子ども たちの声が聞こえるなかで昼ご飯を食べ るだけで元気が出るのです。体育館では

書道の展覧会が開かれ、多くの来場者が あります。東日本大震災のときには、帰宅 できない多くの人が集まり、震災時の拠 点にもなりました。大宮小学校はさまざま な側面でコミュニティの拠点となるポテン シャルのある学校です。校長を3年間務 めた経験からも、先生方の負担が増えな い範囲で学校に教材となる要素が入って くることは、子どもたちの学習環境として も意義のあることだと思います。

◆ 大熊 | これまでの都市開発や駅周辺の まちづくり、再開発で想定される機能は、 渋谷や新宿のように商業や業務が中心で した。しかし、大宮はこれまでの都心の都 市計画上、あまり重視されなかった都市 居住を前面に打ち出すことが重要だと考 えます。なぜなら、この街が持続的に発展 していくためには、新しい世代が流入し、 その人たちが地域に根づき、コミュニティ の活動のなかで、彼ら独自の活動が展開 できる状況をつくる必要があるからです。 そのひとつとして小学校は重要です。以 前、若い子育て世代とお話しした時、彼 女たちには起業家精神があふれているこ とを感じました。大宮の歴史を大事にす る一方で、新しい世代がこの街に新しい 息吹を吹き込むことができると思います。

○ 内田 | 「駅前賑わい拠点 | において、も うひとつの重要なポイントである「街に人 を出す | ことについては、池袋の事例を 紹介いただきましたが、これをヒントにし ながら「駅前賑わい拠点」をどのように考 えることができるでしょうか。また、これま であまり文化のイメージのなかった豊島 区ですが、最近は文化の側面でも注目を 浴びています。「駅前賑わい拠点」を考え るうえで文化のようなソフト面についても お聞きしたいと思います。

● 原島 | 区長はよく「政治は争いを生む、 経済は格差を生む、文化は平和を生む」と 言います。豊島区では、かつて文化に関 わる職員は2人だけでしたが、いまでは 約80名規模の「文化商工部 | という部組

地域の人たちが 関わり続けられる場所

て、アニメと漫画文化を位置づけました。 2019年の東アジア文化都市に向けて、か つて赤塚不二夫らが住んでいたトキワ荘 を公園の中に実物大で再現します。アニメ イトとドワンゴのニコニコ本社も池袋にあ ります。こうしたアニメと漫画文化を推しな がら、人を呼び込む計画を進めています。 •安全面での取り組みについて。豊島区 は財政が非常に厳しい時代に、児童館、 学童、老人福祉センターを中学校の学区 ごとにひとつにまとめて、「区民ひろば」 をつくりました。赤ちゃん連れの母親から、 小中高校生、お年寄りまでがひとつの建 物を使用できるようにしました。これが大 成功しました。核家族が増えるなかで、お じいちゃんおばあちゃんと子どもが触れ 合う機会になり、大人の目が子どもに届 く。そんな「区民ひろば」が評価され、豊 島区は2012年にセーフコミュニティの認 証を受けました。いくつかの学校ではセー フスクールの認証も受けています。

織にまで広がっています。文化の起点とし

- ○内田 ありがとうございます。会場からも 質問を受けたいと思います。
- 質問者 | 大宮周辺で再開発の計画がさ れているエリアがあります。再開発事業で 計画どおりにビルをつくるために、新しく 建てられたマンションでさえも取り壊すと いうことがあるようです。豊島区ではその ような例はありましたか。
- ●原島 再開発において、個別建て替え との大きな違いは、そこにある建物が同 時に事業を行わなければならないことだ と思っています。敷地内には、新しい建物 もあれば、リニューアルしなければ使え ないような建物もありますが、再開発事 業はそれを一緒に実施しなければなりま せん。豊島区の新庁舎の再開発の際は、 都市計画決定の2年前に建てられたマン ションが1棟ありました。議論を重ねた結 果、そのマンションも区域の中に含めまし た。その方の建物の従前資産に応じた権 利を現在の建物に権利変換しています。 これは考え方ですが、いい街をつくるの か、従前財産を残した街にするのかは、

状況によって変わってくると思います。豊 島区の新庁舎が関わる市街地再開発事 業は、ひとりでも反対者がいては区議会 としても賛成できないという話があり、結 果的に権利者の全員同意で権利変換ま で進みました。

- 質問者 | 豊島区ではNPO推進協議会 を中心に市民も活発に活動しています。 市民が街の中で活動をするためにどの ようなハード整備や行政の支援が必要で しょうか。
- ●原島 現在、池袋駅西口でも大々的な 再開発を計画しており、地元からは「工事 中も街の灯を消さないまちづくりを継続し てほしい」という要望が届いています。区 もそれを理解し、工事が進められるなか でも、お祭りなどを継続できるようにして いきたいと思います。
- 質問者 | 豊島区の新庁舎について聞く ところによると、国からの補助金が100億 円、地代が124億円ということでしたが、 その資金で建てることができたのではな いかと思いますが。
- 原島 | 移転した旧庁舎の定期借地で地 代を前倒しで頂いたお金が191億円です。 これにより、124億円の新庁舎の床を買う ことができました。また、補助金100億円 は、国庫補助であり、法定再開発事業の 補助金もあるので、法定再開発事業を行 わなければ1円も入ってきません。実質的 には、この再開発事業をきちんと回さな ければ成り立ちませんでした。結果的に、 124億円と引っ越し代などを含めて191億

- 円でまかないました。それによって、一般 財源を1円も使うことなく、新庁舎を建て ることができたという格好です。
- 質問者 | 大宮駅前はチェーン店が多く、 おしゃれなお店に行きたい人や、自分で 起業したい若者の気持ちに応えられな いのではないかと思います。個人店の出 店の可能性を拡大することはできるので しょうか。
- ●大熊 商業施設はきわめて時代に敏感 な施設構成をします。いまはチェーン店が 強い時代ですが、それは常に変化するも のです。他方、大宮は昔からの宿場町を 背景にして、個人商店が多く残っていま す。ここに新しい息吹を吹き込むのは、若 い世代に期待するところです。
- 質問者 | 無縁社会と言われるような状 況のなかで、学校ではどのような地域交 流のあり方が必要だと思われますか。
- 今村 いま学校は教員だけでは立ち行 かなくなっています。ですから、地域の方 が授業自体にサポートに入っていただくな ど、さまざまなかたちでの関わり方が考え られます。ぜひ、ご自分に合ったかたちで 関わっていただきたいと思います。
- 内田 | これから「駅前賑わい拠点」を考 えるうえでは、場所としてのつながりだけ でなく、世代間のつながりも意識していか なくてはいけないな、ということが皆さん のお話から感じられたことです。また、豊 島区での事例のように、「つながり」には、 時間のつながりとしての文化や、賑わい のつながりもあります。つまり、この「駅前 賑わい拠点」の価値とは、その立地から も影響されるように、やはりこういった多 くの側面からの「つながり」にあるのだと いうことを認識していただけたのではな いかと思います。今後この場所を考えるう えでは、そういった場所の特性を意識し ていく必要がありますね。



昔から地域の中心は 小学校

ご自由にお書きください

駅前賑わい拠点

*オープンセッションでは、記入者の意図が伝わるように一部補足していますが、記入された内容をそのままのかたちで掲載しています。

OPEN SESSION #002

Q1

本日のPMで駅前賑わい拠点にとって重要だと思う

1

多世代交流・ 地域内外の交流

キーワードは何でしたか?

- ●地域間、そして東日本の一大拠点として、 ヒト・モノ・カネ、そして知識の交流ができるポテンシャルがあるから。
- ●多世代、障がい、国籍等関係なく交流で きるようにする。
- ●住みやすい、働きやすい、子供を安心して育てられる地域、近くで感じられる実顔と共にあるまちは、やっぱり必要だと思う。排除ではなく、多世代が交流できるようにしてほしい。
- 再開発はどうしてもハード面の議論になりがちだが、どういう町づくりをするのかが大きな軸になる。しなければならないと思うので。
- ●商業地域にこだわると、他の地域との差異がなくなる。浦和や新都心にできない 街づくりをしたい。
- ●人が、街を活気付かせる原動力。 公益施

設も有効活用することにより、活力有る 街となる。

2

小学校·教育

- 大宮に住む1つの理由に教育がある。地域にとけ込むきっかけとして存在していくから。
- どのような場所でもコミュニティは小学校が核になる。
- ●人口減少を防ぐ必要がある。

3

駅から街に人を出す

- ●乗りかえ駅から人が降りる駅にする。
- 通過ではなく滞留してもらう。
- ◆人の流れのある所に商業(空間)が発展していくため。
- ●駅を乗り換えず"目的地"としての大宮にならないと意味がないから。

Q2

これから新しくなる駅前賑わい拠点を考えるうえで 大切にしたいことは何ですか?

1

多世代交流

- 大宮の夏祭りは駅前の最大のにぎわい。 このイベントをさらに深め多世代交流が すすみ、活気づくことで人は集まる。
- ●多くの人が集まる場所というメリットを 十二分に生かしていくことが、差別化に つながりうるため。
- ●街を歩いていると、外国語で会話している 人が多くなっている。居住者や観光客との 交流を進めていくことが必要ではないか。

(2

小学校・子ども

- 各世代が小学校を中心にまちをつくって いくことができるのでは?
- ●新しく機能を複合させて整備することが 予想されるが、小学校と共存できる、相 乗効果(街の発展)を期待できることを考慮 する必要があると考えます。
- 安全に暮らせて、育児のできる街にするべき。

3

賑わい・商業・個店・界隈性

- ◆大宮の交通の接点的役割をもっと生かせ。そのためには人の集まる場所こそ重要。
- 学校を中心として欲しいので、パチンコと か風俗とかではない商業施設にすること が必要だと思う。

- ●個人商店の保護。チェーン店、複合商業施 設に負けるな!大宮らしざを残したいから。
- ●観光・消費の視点だけでなく、生活者の 視点から望まれる賑わいのありようを捉 えたい。

4

その他

- ●文化: 人が集まる節度のある集会が肝要だ。文化的施設をどんどん誘致すべきだ。マラソンだ自転車だでなく、持続性のある文化施設こそなんといっても基本。
- ●地域の方々のまとまりが必要であり、この地域のひとつの目標、テーマを持たせるべき:価値感は人それぞれ違うものであり、これからは更に多様化が進むため、誰もが共感出来る分かり易いキャッチフレーズが必要。
- ●コミュニティを閉じないこと、「大宮」以外の地域の人も受け入れること:地元を愛するあまり、市役所をどこに置くかなどということに「大宮」の人を巻き込まない。
- ●個人事業や新しいベンチャーを誘致する のは、大切であると思う: 再開発によって 新しい建物になり賃料が高くなってしまう と、よけいに敷居が高くなってしまう。 新 旧の建築物を残しながらの開発を考えて ほしい。
- 郷土愛、次世代の人材の育成:氷川の杜に 抱かれた学校教育を拠点にした街づくり。

大宮のまちづくりを考えるうえで、専門家の 意見を聞いてみたい分野はなんですか?

1

美術·文化

03

- ●前回のトリエンナーレ、市民会館・大宮小などが会場になった。会期中だけでなく それら会場が普段から市民の芸術文化拠点になるべきではないか?
- 商業施設はさいたま新都心、芸術・文化は 大宮という性格付けで差別化できれば。
- •よくあるハコモノではなく、本当に住民に とって便利な施設とは?という観点で、美 術や文化の施設がどう役割を担うことが 出来るのか興味が湧きました。

2

商業

- ●魅力的な商業施設なくして賑わいなし。
- ●氷川参道の景観と沿道商業の活性化。

3

ランドスケープ

- ●街作りに関して最重要。
- ●再開発部分全体のバランス。街のたたずまいからうき上がらないことが大事と考える。
- 駅前の作り方で、まちのイメージが一変すると思うから。

4 その他

市民参加、地域ブランディング、イノベーション(創発): これからのまちづくりは、 ハードだけではダメなことがわかっている。市民や企業をまきこんだ企画が必要。 ●私は今、40代後半の男性ですが、約20年~25年後定年を迎えても、働く必要があると考えているが、出来れば地域に根ざした職場で働きたい。通勤地獄はもう無理だと思う。だから、職場となる

街に変えるなら変えて頂きたい。

- ●PMにたくさんの方が参加されて、いろいろな再開発に関する団体の方も一気に同じ方向を向いてまとまってきた感じがして、大宮がいろいろな世代にとって居心地がいいまちになりそうで、とてもいい流れだと思います。何か用事がなくても、フラフラ歩いて楽しいまち、駅前は買い物、休憩するのも、人が多くて便利なようで、なかなか不便。つい車で他に行っちゃうので駅前でできたらうれしい。
- ◆大宮小学校は今の場所で残すべき。地域防災拠点(避難所)としても大事。地域 交流の場としても今後必要となる
- ・祭り、芸術、文化という側面から大宮を 盛り上げることによって人を集める方向 が100年200年とにぎわいをつづける のに大切なのでは。その意味でランド マーク的存在が必要。
- ●見沼の自然も残しながら活用を検討してほしい。特に子育て世代が選べるような場も必要。
- ●賑わいも大事だけど、「落ち着き」「静か さ」も取り入れてほしいというのは、ぜ いたくなのでしょうか。
- 前述したように盆栽、見沼などのせっかくの「緑資源」が沢山あるので、もっと「グリーン」を強調してはどうでしょうか。「新しい食・農・発展モデル」となるような。





基調講演 10:00-10:30

11月27日[月]

1階づくりは まちづくり グランドレベル の取り組み

田中元子 グランドレベル代表

KEYNOTE SPEECH #003

基調講演では、「1階づくりはまちづくり」を キーワードに、「URBAN CAMP TOKYO」 や「パーソナル屋台」などの日々の賑わいを 可視化する自身の取り組みや、海外の魅力 的なグランドレベルの事例紹介を交えな がら、大宮氷川神社周辺エリアのグランド レベルでどのように日常をつくっていくか、 その示唆となる4つの提案がなされた。

● 私が2016年に立ち上げたグランドレベ ルという会社の取り組みを紹介しつつ、 街を考えるための4つの提案についてお 話しします。まず、本題に入る前に、「大宮」 というワードでインターネットの画像検索 をしてみると、施設が密集して都会的なイ メージがたくさん出てきます。一方、「氷川 神社」と検索してみると、素敵なケヤキの 参道、立派な神社のイメージが出てきま す。そんな2つのイメージのなかで、大宮

がどのような街になっていくのかを考えて いきましょう。 キーワードは [1階づくりは まちづくり」です。

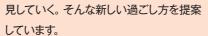
日々の賑わいを 可視化する試み

● 私が取り組んでいる事例の1つ目は 「URBAN CAMP TOKYO」です。キャン プといっても都会のビルの間、人々が働 いている中にテントを張って、地べたに 座ってお茶を飲んだり、子どもたちと遊ん だりして和みます。普段と違う街の使い方 をするだけで、いつもの街の違う表情が 見えてきます。キャンプをすること自体が 目的ではありません。このキャンプを通し て、観光名所のように決められた景色や 食べ物を楽しむのではなく、参加する人 たち自身が、自分の目と行動力で街を発

プライベートと パブリックの交差点

●ところで、「街」とはどのようなところで しょうか。たとえば、まず地面=パブリック があります。その上に建物=プライベート が建てられます。しかし、私たちは普段か らパブリック/プライベートの境界を意識 して街を見ているわけではありません。 自然に立って、目線の高さに広がって見え

グランドレベルが 幸せの鍵を 握っている



●2つ目は「パーソナル屋台で自家製パ

ブリックをつくる」です。移動販売車のよ うな小さな自前の屋台を使って、街中で コーヒーを淹れて無料で配っています。 道行く人に「少しコーヒーを飲んでいきま せんか」と声を掛けると、いろいろな人が 立ち止まって反応してくれます。私にとっ てはそれが収穫です。屋台を出してコー ヒーを配るだけで、いろいろな人がとど まってくれて、「この街がこんなに賑わっ たのは久しぶりだよ」ということを言って くれます。しかし私の目的は、私ではない 誰かが同じように賑わいを生み出してくれ ることです。重要なのは、ここに人がとど まってくれることで、賑わいを感じられる ということ。賑わいとは、人の数ではなく 密度の問題なのです。人がいることが可 視化されて、はじめてこの街には賑わいが あると感じられます。私はこれを「マイパブ リック」と呼んでいます。公共とは、施設 や空間、設備ではなく関係です。コーヒー を配ることで、街のみんなと公共的な関 係をつくっていると感じながら、この活動 を続けています。キャンプや屋台などと言 うと、私は非日常的なことやイベントが好 きなのかと思われるかもしれませんが、む しろ私の関心は人と街と日常にあります。 毎日が少しでも味わいがある、そんな日々 の積み重ねが幸せだと思っています。

る風景を、私たちは街と呼んでいるので はないでしょうか。すなわち、街とはグラ ンドレベルのことなのです。 グランドレベ ルは、プライベートとパブリックの交差点 であり、とても面白い領域だと考えていま す。雇用、教育、効率社会、閉鎖性、これ らはグランドレベルに左右される問題で もあります。言い換えれば、その地域の幸 せの鍵を握っているのはグランドレベル

なのです。

● あたりを見渡してみると、よくない風景 を見かけることがあります。誰もいない水 辺、閑散とした公園、歩行者のいない歩 道、公開しているつもりのない公開空地 ……みなさんも心当たりがあると思いま す。建物の中に人がいてもグランドレベル に人がいない。垂直のビルには人がたく さん詰まっているのに、水平面には誰も いない。ほとんどの街がそうなっている のが現状です。大宮の場合、たしかに氷 川神社の参道は本当に素晴らしいのです が、周辺と無関係であっていいのだろう かと思いました。参道から1本脇道に逸れ ると、まったく人の気配がありません。い いところだけを見るのは、もったいないと 思います。なぜなら、このあたりに魅力が 変えようと思う人も減ってしまうからです。

なかったら、その周辺を魅力的な場所に ● デンマークのオーフスという街を紹介 したいと思います。オーフスは大宮区と 比べると圧倒的に人口密度が低いのです が、実際に行ってみると、ひらけた川岸や、 だれもが自由に楽しめる公園、グランドレ ベルの見えるところにさまざまなスポーツ 施設があるので、とても賑わっているよう に感じます。街全体が人の居場所になっ ているのです。特別にお店を建てて賑や

かにさせなくても、気持ちのいいところに は人は来ます。そして、街で人はいろいろ な活動ができます。このように人がたた ずめる場所を戦略的につくっているのが、 オーフスというデンマーク第2の都市で す。海外ではさまざまな考えのもとでまち づくりがされています。 そこで、これから 大宮の街を考えていくために、4つの提案 をしたいと思います。

グランドレベルを 充実させる 4つの提案

●1つ目の提案は「街を見る目の解像度を 上げよう」です。街のことを知ろうと思っ たら、区域図を広げるのが便利かもしれ ません。ここがどのような場所なのか、概 観することができます。しかし、たとえば 道にたたずむネコの写真を撮ってみると、 背の低い変わった壁やそこに貼られたポ スターなど、いろいろなことに気づきます。 街に近づいて、触って、解像度をもっと高 めて、街のことを考えてみましょう。

● 2つ目は「グランドレベル特区をつくっ て、人を見える化しましょう」。全体でなく とも1カ所でいいのです。「大宮のここを 見てください」と言えるような、そんな風 景をつくりましょう。グランドレベルを充実 させるためには、グランドレベルを専門に 扱う不動産屋さんが必要ではないかと考 えています。1階を面白く使える人に開放 して、街に貢献したい人を積極的に活用し ていく仕組みが必要ではないでしょうか。

●3つ目は「既存の小さな財産を見つけ て活用しよう」。私は氷川神社の参道に あるベンチは、すてきな財産だと思ってい

ではなく 日常を つくろう

ます。ありきたりだと思われるかもしれま せんが、じつは日本の都市部でベンチの ある街はとても貴重です。東京駅前には、 座るところがひとつもなく、立ってお弁当 を食べている人や、植え込みに寄り掛か る人(いわばベンチ難民)がいます。そこに 人々の居場所はありません。しかし、大宮 は駅から少し歩くだけで、くつろぐことが できます。

● 現在、海外ではベンチを都市戦略と して活用しようという動きがあります。 ニューヨークは、もともとベンチの多い街 ですが、2019年までにさらに2,000脚 も増やそうとする政策を立てています。 さらに、市民からの要望に応えるために、 「CityBench Map」というシステムを構 築し、ウェブサイト上の地図にベンチを設 置してほしい場所をプロットしてリクエスト できるようになっています。 ニューヨーク 市がベンチを増やす理由は、医療費が高 く、高齢化を迎えている社会のなかで、い かに健康に暮らすかが課題になっている からです。街の中にベンチがあると、人は ただ座るだけでなく自然と歩くようになり ます。アメリカのフロリダ州セントピーター ズバーグでは、100年前にとあるお店が ひとつのベンチを置いたことがきっかけ で、街のいたるところベンチが置かれ、そ

25

れを見に多くの人が集まりました。当時、 ひとつの街に7.000脚ものベンチがあっ たそうです。100年前からベンチを使った さまざまな工夫がされてきました。日本で は、ホームレスが寝たり、不審物が置かれ たりといったことが、とかく心配されがち なベンチですが、海外では戦略的に人の 居場所をつくろうとして、活用が進められ ています。私は、こっそりベンチの多さと その街の幸福度調査の比較をしています が、もうすぐその相関関係を明らかにでき るかもしれません。 ベンチのあるグランド レベルと幸福度は、そのくらい関係があり そうなのです。

●さて、最後の提案は「イベントではなく日 常をつくろう」です。既存のイベントは大 事にすべきですが、単に人を集めて賑わ いをつくりたいというのでは安直です。た とえば、コペンハーゲンでは、「観光の終 焉」という言い方をしています。特定の観 光名所だけを見せるのではなく、市民の 日常を見てもらう。それがスペシャルな体 験になるのだとコペンハーゲン市は宣言 しています。さらにスウェーデンでは国全 体が民泊です。Airbnbというアプリケー ションを開けば、スウェーデンの国全体の どこにでも泊まることができます。自分で 見つけたその場所が、その国の魅力その ものなのです。

これまで観光と言えば、イベント、名物、 名勝でした。しかし、特別な体験だと感じ られることは、ごく日常的な普通の住人の 暮らしのなかにあります。日々の生活文化 の質を見る時代に変わってきていること は、世界的な動向です。

● 正しい街や完璧な街を目指して、便利 さや立派さを強調してもきりがありませ ん。そうではなく、自分たちがどのような 暮らしをしたいのか、どのようなことが大

宮の人たちにとって幸せ

なのか。それを重視して 街の話をすることが、生 産的な議論につながりま す。私は、偉い人や団体、 行政だけがまちづくりを するべきだとは思ってい ません。自分の家の前に 花を飾るだけで、それは すでにまちづくりなので す。自分のまちづくりを、 まずは自分の手から始 めてみませんか。



パネルディスカッション 10:30-11:30

11月27日[月]

歴史と文化に 囲まれた 静かなる 賑わいを育む PRE活用への 期待

氷川の杜まちづくり協議会会長

グランドレベル代表

東角井真臣

各パネリストより、氷川参道の環境的課題

解決に向けたまちづくり協議会の取り組

み、聖と俗・賑わいと静けさの両面性を考

えた氷川神社周辺のまちづくりの考え方

が提起された。その後、「静かなる賑わい」

を育む図書館跡地の活用について、新た

な観光のイメージや参道の維持管理にお

ける周辺住民との協働、カフェのような休

憩場所や緑の空間の設置、賑わいと静け

さのグラデーションづくりなど、さまざまな

氷川の杜まちづくり

● 小峯 | 氷川の杜まちづくり協議会は

側面から議論がなされた。

協議会の活動

武蔵—宮氷川神社権宮司

モデレーター 藤村龍至 UDCO副センター長

1995年に創設され、地域の自治会長や 地元住民が50名ほど加入しています。本 会は、氷川参道を後世に残すため、参道 の環境を脅かすさまざまな課題を解決す るため設立されました。 具体的な活動と しては、交通実態調査、ワークショップに よるまちづくりの検討、参道並木敷への 植栽、路上禁煙推進モデル事業の啓発、 落ち葉掃きなどです。活動範囲は、さい たま新都心側の一の鳥居から、氷川神社 側の三の鳥居までのあいだです。樹木調 査も実施していますが、現在は樹木がか なり減ってきています。それらの原因は並 木敷へ歩行者が立ち入ることで土が踏み 固められ、樹木が傷んでしまうことにあり ます。対策として、並木敷に低木植栽をし



て保護をしています。また、環境保護の観 点だけではなく、訪れた人が四季折々の 変化を楽しんで氷川神社へ向かえるよう に、きれいで愛着のもてる参道を目指し ています。この参道は、さいたま新都心駅 から一の鳥居を通って、氷川神社に至りま す。こうした動線をいかに引くべきかも考 えています。また路上禁煙推進モデル事 業をさいたま市と締結して、モデル地区と なりました。結果、路上喫煙やポイ捨てが 大幅に減っています。私たちの活動の一 部はパンフレットに記載してあります。協 議会に参加されたい方は、ぜひ協力して いただきたいと思います。

氷川参道の表と裏

● 東角井 | 私は普段、袴を着て氷川神社 の権宮司をしていますが今日はスーツを 着ているので裏の顔です。ところで、私 は人混みがあまり好きではありません。そ のためか、これは裏の話ですが、私は氷 川神社の参道はあまり賑々しくなってほし くないという気持ちもあります。たしかに、 観光客を多く呼びたいと思っている方も いらっしゃいますが、一方で、氷川参道は 祈りの場所だから、地元の氏子に愛され て街の人が静かに参拝をする場所であっ てほしいと思う方もいます。それが氷川参 道の表と裏です。参道の歴史を遡ってみ ます。昭和20年代から50年代頃の参道 の一部、平成ひろばには、多くの店が並 んでいました。戦後に駅前にあった闇市 が移ってきたためです。不法に占拠され 環境も悪かったので、市と神社で協力し て現在のような参道に整備をしました。さ

らに遡り、大正時代に撮影された三の鳥 居付近の写真を見てみると、お茶屋さん のようなものがあって、人々の休憩場所と なっていました。ただ他の写真では両脇 が杉の並木になっていて、静かな参拝が できそうな雰囲気が見て取れます。なぜ 静かな参道を目指しているかというと、も ともと氷川参道は中山道の一部でした。 1628年に、参道が賑やかな街道として使 われているのは神様に対して失礼だとい う地元の陳情を受けて、江戸幕府の役人 である関東郡代、伊奈忠治が中山道を西 側に移設し大宮宿が生まれました。その 結果、参道が参道として残り現在のかた ちになったのです。人に表と裏の顔がある ように、参道にも表と裏があっていいと思

います。心を静かに整えるための道が参 道であり、他方で伊勢神宮のおかげ横丁 のような参拝者や商店のための賑々しい 横町がある。こうした聖と俗の両面性、表 と裏を分けて考えるということが、私のま ちづくりの考えです。

公共資産活用への

◎ 藤村 | ありがとうございます。 東角井さ んがお話しされたように、氷川参道は江 戸時代に聖俗を分けて大宮宿を設けた 経緯があるにもかかわらず戦後の混乱で 両者が再び混ざってしまい、平成に入っ てようやく本来の聖と俗の関係が取り戻 されたという歴史がありますね。田中さん 基調講演の眼目は、さまざまな場所にパ ブリックをつくって、賑わいを取り戻そう

四季折々の 変化を 楽しめる 参道



■ 東角井

聖と俗の 両面性を 分けて考える

ということではありません。むしろ、つくら れた偽物の賑わいではなくて、日常として の静かなる賑わいを、大宮らしくつくって いこうではないかということです。事例と して挙げていただいたヨーロッパの各都 市にとっても、テロ対策の観点からも、観 光はセンシティブな問題になっており、単 に人を集めればいいということではなく なってきています。したがって、それぞれ の街が背負う歴史や文化にふさわしい賑 わいや日常とは何かを議論する必要があ ります。大宮の文化における静かな賑わ いのなかに、小峯さんの実践があるので はないかと思います。表では賑々しくあっ てほしいが、他方で静かであってほしい。 では、氷川参道のパブリックスペースはど うあるべきか。この問題は、駅の事情とも 重なります。駅はあくまで交通のための場 所なので、賑やか過ぎてはいけない。しか し人に集まってもらいたいという側面もあ ります。こうした公共空間をめぐる議論の 背景には、公共性そのものの変化や人々 のニーズの変化があります。たとえば、図 書館は静かに読書するところですが、い まではディスカッションやイベントをした いというニーズもあり、公共空間も一筋縄

ではいかなくなっています。さらに、維持管理のための財政上の課題もあります。

● 田中 | 賑わいだけではなく、いかに静け さをつくるかというこのテーマを拝見し て、大宮の方は相当リテラシーが高いと 思いました。ハレとケという考え方があり ますが、どちらかでしかない人間はいませ ん。どちらも持っていて、時にはどちらで もある。私はチューニングの問題だと思っ ています。氷川神社の参道を歩くと、賑わ いと静けさのグラデーションを感じます。 その内実を丁寧にひもといて、共有してい く作業が必要だと思います。

参道沿いのパブリックスペース

○ 藤村 「観光」という言葉の定義も最近は変わりつつあり、非日常というよりは日常のライフスタイルをそっと体験しに行くような、新しい観光のイメージが現れ始めています。田中さんの基調講演では、「いいグランドレベルがあると、幸福度が上がる」という指摘がありました。小峯さんがお話しされた「氷川の杜まちづくり協議会」の活動は、グランドレベルにかかわることと思いますが、小峯さんはどういった課題があると思いますか。

● 小峯 | 参道には車がたくさん通っており、いま歩行者専用化を行うという案が挙がっています。そうすることで、周囲を眺めながら安心して歩くことができます。また、店舗や民家の前に植栽する際に、沿道の方々の協力をいただきながら、理解してもらうことが一番の課題です。

○ 藤村 | 参道の植栽についてご指摘いただきましたが、2kmに及ぶ参道沿いに、新しく移転する大宮区役所や大宮小学校などの公共施設が500mおきに点在します。そのひとつである大宮図書館の跡地は、どのようなパブリックスペースを目指すのがいいと小峯さんはお考えですか。

● 小峯 | 現大宮図書館の建物をそのまま 継続して使用するのであれば、氷川神社 の歴史についての展示を常設して、人が 集まればと思います。あるいは大宮図書 館の駐車場に周囲の緑と馴染むようなバ スターミナルをつくることも考えられそう です。または、跡地を単に広場にするの ではなく、参道の景観と見合うようにして ほしいと思います。

○ 藤村 | ありがとうございます。東角井さんからは聖と俗のご指摘がありました。これから新しい公共施設再編の動きに対して、氷川神社周辺にも新しい性格が与えられようとしています。東角井さんは、どのような空間が望ましいとお考えですか。

● 東角井 | 私個人の意見ですが、神社に参拝される方、または参道を歩いたりジョギングされたりする方のための、カフェのような休憩場所がいいと思います。とはいえ、参道にマッチして、センスがよければ、何があっても私は構いません。ただ、神社の考えとしては、いまは参道に緑が少な過ぎるので、参道の両脇に、広場や芝生の空間など緑があればいいと思います。

手本なき 「公共=関係」のあり方

◎藤村|神社の周囲はきわめて公共性が 高く、さまざまな立場の人が複雑に関わっ ていることと思います。参道との関わり方 については、神社を交えて協議できる機 会を設ける必要がありそうです。景観法 では「景観重要公共施設」を位置づけて いますが、これをもとに話し合う沿道協議 会などの仕組みも一策です。むろん、普段 から話し合いが重ねられていれば問題あ りませんが、これまでの経緯や歴史を尊 重しない方が関わる可能性もあります。そ うした局面には、行政の役割が求められ るでしょう。たとえば川や公園などの公共 資産と周辺の民間資産の関係には、お手 本がありません。塀をつくったり、単にお 客さんを呼ぶためだけにのぼりをたくさ ん立てたりというように、これまでは、残

念なグランドレベルのつくり方のほうが多 かったわけです。望ましい「公共=関係」 のあり方とはなにか。そのお手本は公共 施設に求められます。その意味でもいま 工藤和美さんが設計している「大宮区役 所新庁舎」がつくる公共施設と氷川参道 との新しい関係が、その嚆矢となり、これ からの公共施設再編のなかで、参道との 新しい関係が提示されていくだろうと思 います。これによって、民間の事業者のつ くり方も変わってくるはずです。それが本 当に大宮の目指すべき「静かなる賑わい」 に資するかどうか。その意味で、氷川参 道の最奥にある大宮図書館と市立博物 館が、氷川参道に対してどのような関係を 取るかが、氷川参道のこれからの環境を つくるうえで、非常に重要なポイントだと 思います。

賑わいと静けさの グラデーションと 新しい観光

○ 藤村 | ここで会場からの意見や質疑を 受けたいと思います。

●質問者 私は(さいたま市内の)小学校の校長をしていました。「小学校に賑わいは本当に必要か」「子どもたちは静かなところで勉強をすべきではないか」という議論があります。私は勉強のあり方はさまざまであるべきだと思っています。ですから、田中さんが「賑わいと静けさのグラデーション」とおっしゃったことに、深く納得します。田中さんはどのようなグラデーションをイメージされているのでしょうか。

●田中|教育はとても重要です。氷川神社 を守りたいと思った時に、自発的な参加 意識が求められます。「自分が守りたい」 と能動的に思うことは、教育と強く結びつ くことだと思います。そして、教育と人が 許容される空間ということも関連している と思います。元気のない時、賑やかな時、 どんな時の自分をも、街が受け入れてくれ るという環境は、教育現場にも望まれるこ とではないでしょうか。そんな場であって こそ、場と人とのコミュニケーションが生 まれるのだと思います。でも、人がたくさ んいるほうがお金は回りますから、そのた めに、やみくもに賑わいをつくりたい人も 多くいるはずです。そうではなく、私は「み んなとここを守りたいからこうしよう」と いうことが、さまざまなドラマになっている

ことがいいのではないかと思っています。 街へのイメージは人それぞれだとしても、 結果的に大事にしたいという目的へと収 束するイメージです。また、先ほど東角井 さんが「センスがよければどのような施設 でも構わない」おっしゃったことに、私も 同意です。カフェやお店にしても、それが どのようなものかを丁寧に問う姿勢が大 事です。また、すべて自分に関わりのある 施設で埋め尽くされなくてもいいのです。 直接関わらないけれど、そこにあるコミュ ニティの様子を視認しながら通り過ぎる、 街の人気を見守る、という人がいることも また、賑わいと静けさをゆるやかにつなぐ グラデーションにとって、大事なことだと 思っています。

○ 藤村 | 都市計画的な観点では、大宮駅から氷川神社までは商業地域から居住地域と、きわめて特徴的なグラデーションを形成しています。これは、いままでの都市計画の経緯があって成立しているのだと思いますが、こうした歴史をどう捉えるかという視点も必要です。

● 質問者 | 市内の観光事業に関わっている者です。私も「観光の終焉」の考えに共感しました。神社やお寺をはじめ、ごみばかりを捨てる外国人には来てほしくないという声が圧倒的に多いです。それから、見るべき観光スポットが明確な京都や富士山より、熊野古道や歴史ある神社仏閣をより深く知りたいというニーズも高まりつつあります。しかし氷川神社の歴史を知らない方はこの大宮地域にもたくさんいますが、明治天皇の行幸から150周年に

際して、氷川神社のことをもっと深く知りたいという方がたいへん増えました。ですから、この大宮図書館の跡地には、氷川様に関連した資料や文献をぜひ常設で展示していただき、関東だけではなく、日本全国、世界各地からも、人が訪れるような場所であってほしいと思います。

○ 藤村 | 従来型の観光とは異なる、歴史や生活を学ぶというような「新しい観光」に資するように建物を生かせるといいのではないかという示唆をいただきました。今回は、田中さんから「グランドレベル」や「マイパブリック」というキーワードによって、新しい観光のイメージや賑わいのかたちのヒントを示していただきました。現在の参道の取り組みや、大宮の歴史と文化を踏まえたパネリストの方とのディスカッションから、この土地の意味や担うべき新しい役割を見いだせてきたのではないかと思います。

■藤村

街の歴史や 文化に ふさわしい 賑わい・日常



OPEN SESSION #003

オープンセッション

氷川神社周辺エリア

*オープンセッションでは、記入者の意図が伝わるように一部補足していますが、記入された内容をそのままのかたちで掲載しています。



01

本日のPMで氷川神社周辺エリアにとって重要だと思う

キーワードは何でしたか?



静かなる賑わい

- ●観光にたよらない賑わいを。日常の生活 の中、神社との関わりを持ちたい。
- 参道と周辺との関係性、にじみ出しが重要。
- ●歴史・文化とにぎやかさ、両方あっても良 いと思うが、場も性格を決めていく必要 があるのではないか。
- ●将来、駅前に高層ビルが並んだ時に、そ の「俗」的な存在とは対になる「神聖」な 場所の重要性が高まると思うから。
- ●四季を氷川神社で感じて来たから。 初詣 から始まり、十日市で終わる事が大宮っ子 の日常なのです。

日常・グランドレベル

特別な事がなくてもいつでも利用できる 場所でありつづけてもらいたいので。

- ●市民の日常を大切にした賑わいが生まれ るようにしたい。
- ●大宮東口、氷川参道に問わず非常に重要 で現代の人々が忘れかけている大切なも のだと感じた。
- ◆大宮駅には、たくさん人がいるのに、周辺 または参道には人がたたずんでいる場所 が少ないと思います。グランドレベルで何 となく人が対流する場が、少しの努力で できるんじゃないかな?と思いました。

氷川参道·歷史伝統

- ●氷川参道を中心に周りが発展、進化して きたから。
- ●長い歴史、参道の雰囲気といった強みを 活力につなげたい。
- 神社を中心としたまちづくりが必要。

Q2

これから新しくなる氷川神社周辺エリアを 考えるうえで大切にしたいことは何ですか?

1

景観・自然への配慮

- ●大宮駅がにぎやかであるため、その逆に 落ち着ける空間として、このエリアがあっ てもよい。
- ●他の都会的な建築物群とは対極的になる 緑あふれる参道は貴重な存在になると思
- 都市の中にある地域資源を保全するため。
- ◆大宮といえば、だれでも思いうかべる景 観づくり。

(2)

氷川神社

- ●他事例をまねるだけにせず、このエリアに 住んでいることを誇りに思えるまちづくり。
- 聖域である事を忘れてはいけないと同時 に、生活空間として親しみを持てる場所と して、"大事にしたい"気持ちが生みだした い。参道は我が故郷の風景です。今までに 数多くの思い出があります。私が死んでも あたりまえの様に残ってほしいからです。

静かなる賑わい

◆大宮が誇る氷川神社を大切にし、しかもも

う少し人が訪れる場作り。まさに静かなに ぎわいを生み出したいと思う。

氷川参道には、①にぎやかさ(駅利用者)② 静けさ(地元民)どちらも必要だから。

4

集い憩う場所

- 駅から、神社まで遠いので途中に休む所 が有ると良い。お年寄りの参拝する人々 も安心出来る。
- ●1Fは市民が憩い集える場所にしてほしい。

(5)

その他

- ●神社と"公(パブリック)"とマイパブリックの 融合: お互いに認めあい大切にし合うこ とがまちづくりの基礎
- ●持続可能性: 「今」のみを考えるのではな く、何百年先のことを踏まえ、地域の歴史 を残していくためのまちづくりが必要。
- ●氷川神社周辺住民と他から訪れた人との 共存:参道周辺で生活している人には日 常のエリアに一時的に訪れた人の非日常 がうまくかみ合えば、自然と静かなる賑わ いが生まれると思うから。

03

大宮のまちづくりを考えるうえで、専門家の 意見を聞いてみたい分野はなんですか?

1

ランドスケープ

- ●商業のまちと言われている大宮と歴史と 文化のある氷川神社とをどう共存させて いくのか興味があるから。
- ◆人々が落ちついて留まれる空間作り。
- ◆人の交流の場をどうつくるかに興味を
- 都市において、人が心地良いと感じる場 の提案。

2

商業·経済

- 良いサイクルでビジネスにもつながり、か つ魅力を持つまちにするには。
- 都内に流れている買い物ニーズを大宮に 留める必要性を強く感じている
- ●周囲に商業集積が多い中、どのような商 業の可能性があるのか(飲食とかが無難なの か、そもそも商業はむかないのか)
- まちづくりにおいて、経済効果を考えてい くことも重要なため。

(3)

まちづくり

- ●田中元子さんのように、実務でまちづくり をやられている方(大宮と縁のない方)。大宮 のみなさんには、新しい気付きが多く幅が 広がるのではと考えます。
- ●地元民である自分たちで考えることなので しょうが、大宮のまちとしての種、何を一番 大事に考えたらよいかのヒントを欲しい。

04

その他、ご意見を ご自由にお書きください

- まちづくりの団体、役所のたてわりのよう に別で活動していて、交流していない。今 回のPMのように、団体のわくを越えて、1 つの事を話す機会が、これからも継続的 にあるといいと思います。
- 公共施設再編で、大宮が変わるので、せっ かくなので対流する場、また緑・水など憩 しを感じられる場、都市機能だけでなく何 となくいつもそこにいられる場になるとい いと思います。
- 若い世代にも意見を聞く機会をとってほ しい。平日の昼間は、働いている世代は なかなか来れません。
- 参道を歩くには周囲の道からも行ききで きるように小道がほしい。参道からもお店 に入れるのもやっぱり必要。
- 氷川神社へ行く人のメインルートは「一の 宮诵りしから。一の宮诵りの整備を含めて 考えるべき。
- 個々のエリアについて検討する前に大宮 全体のイメージを考えまとめてほしい。ど んな形の建物にするかにも関係すると思 います。
- 人が外に出てくるしかけ。ベンチにそれが あると知ってびつくり。家の前に花がある だけでちがうというように今すぐできるこ ともあるのだと再認識した。
- 参道をまっすぐ進めるように横断歩道を つくれないか?
- 図書館跡地だけだと狭いので、博物館も どこに移すかの案はないが、博物館跡地 も一緒に考えて欲しい。氷川神社、参道 と調和のとれる外観にして欲しい。
- 氷川様には、朝早い時間、神社の門が開 いた頃から、地元の人々が参拝していて、 朝早い時間でも休める場所があると良い。





小中高生 アンケート

UDCOでは、未来の大宮を担う10 代の児童・生徒が、大宮という街を どのように感じ、そして今後大宮の 街に何を期待しているのかを把握 するため、小中高校生にアンケート 調査を行いました。アンケート対象 は、公共施設再編の対象となって いる公共施設を利用する割合が高 いと想定される、大宮駅東口から 1.5km程度の範囲に含まれる下 記の学校です。ここでは、回答例の 傾向や特徴ある意見を抜粋し、掲 載します。

「小学5年生 | 141名]

┃ • 大宮小学校 ───	29 <i>1</i>
• 大宮南小学校 ——	34 <i>\$</i>
•大宮北小学校 ——	46 <i>\$</i>
•大宮東小学校 ——	 32名

中学2年生]

大宮東中学校 ———146名

高校2年生 | 158名]

- 大宮高校大宮区内在住 ——8名
- 同さいたま市内在住 ―― 55名
- 同さいたま市外在住 ―― 95名

回答例は実際にアンケートに書かれた言 葉です。なお、文意をわかりやすくするた めに一部補足・修正しています。

Q1

大宮であなたがよく行く公共施設は どこですか?

[選択·自由回答、複数回答可] 公共施設名、頻度(年に数回程度、月に1-2回程度、週に 1-2回程度、ほぼ毎日、から選択)、出発地、到着地

中学生 58

大宮公園

大宮図書館



市民会館おおみや

回答数が多い上位3施設の割合を示します。 (複数回答や未回答などにより合計は100%になりません)

単位: 0/0

まとめ

よく行く公共施設として、大宮公園、市民 会館おおみや、大宮図書館が小中高生い ずれも上位3位までに入り、他の公共施設 と比較して若者の利用割合が高いことが 分かります。ただし、利用頻度と掛け合わ せてみると、より日常的に利用されている (月に1-2回以上の利用が20%以上)公共施設 は、小学生による大宮公園利用(52%)・大 宮図書館利用(31%)・山丸公園利用(21%) という結果で、その他の施設は学校行事 等による限定的な利用と考えられます。

02

大宮であなたのお気に入りの 場所について教えてください。

[自由回答、2つまで回答可] お気に入りの場所はどこですか? そこにはいつ・ どんな時に行きますか? そこには誰と行きます か? なぜそこがお気に入りですか?

高校生 さいたま新都心 大宮駅 さいたま新都心 東口周辺 大宮公園周辺 さいたま新都心 大宮駅 20 13 氷川神社 氷川参道 大宮駅ルミネ 大宮駅 西口周辺 19

回答数が多い上位4箇所の割合を示します。 (複数回答や未回答などにより合計は100%になりません)

大宮公園周辺

単位: 0/0

氷川神社

氷川参道

回答例

大宮駅

[小学生]

さいたま新都心・コクーン周辺

- 大きくておいしいものがたくさんある。
- すごい店が集まっていて毎週行くのが楽 しみで、誰でも楽しく買い物ができるから。 大宮公園周辺
- 自然がいっぱいあり、日陰があって気持ち
- 遊具がたくさんあって広いし、遊びたい 放題だから。

氷川神社·氷川参道

いいから。

- 緑、歴史に溢れているから。
- 十日市などで屋台も出るし、初詣など行く と年明けが感じられて落ち着く。

大宮駅・ルミネ

• 色々な場所へ行けるから。

・鉄道が好きで1日中楽しんでいられる から。

その他

- 大宮図書館:静かに色んな本を読めるから。
- ・山丸公園: 楽しめる道具があり、空気が よく、イベントもあるためとても良い公園 だから。

[中学生]

大宮駅東口周辺

- ドンキホーテやダイソーなどラクーンには ほとんどのものが売っているから。
- いろんな本があって、好きな本を見つけら れるから(ジュンク堂)。

さいたま新都心・コクーン周辺

- 映画が見られるしお店がいっぱいだから。
- おいしい食べ物がたくさんある。

大宮駅・ルミネ

- ・大宮といったら大宮駅だし、交通が便利 だから。
- そこに行けば生きるために必要なものは そろうから。

大宮公園周辺

- 一番身近に自然を感じられるから。 朝行く と気持ちが良い。
- ゆっくりしていられて友達と話す事も出来 るから。

その他

- 氷川参道:祭りの時はにぎわっていて、友 達と楽しめて、平日の時は落ち着いた雰 囲気でゆったりとしていられるから。
- ・大栄橋:電車を見るのが楽しい。

「高校生」

さいたま新都心・コクーン周辺

- 学校から近く、たくさんのお店があって便 利だし、施設内がとてもきれいだから。
- 快適で勉強もできる。涼しいしあったかい。 大宮駅・ルミネ
- ・電車がたくさん通っているから。
- ご飯を食べるところがたくさんあるから。

大宮駅西口周辺

- 買いたい服があるから。
- 休日は一日過ごせるため。

氷川神社·氷川参道

- 緑豊かで、季節の移ろいが分かって風情 があるから。
- 風が良い。雰囲気。

その他

- 大宮高校:大宮でそこしかいかないから。
- カラオケ: 唯一の遊べる場所だから。

[注釈]

○大宮駅東口周辺:大宮ラクーン、ジュンク堂、カ ラオケ、ゲームセンター、ミスタードーナツなどの 回答を含む

○大宮駅西口周辺: アルシェ、ソニックシティ、 SOGO、アニメイトなどの回答を含む

○さいたま新都心・コクーン周辺:コクーンシティ、 けやき広場などの回答を含む

まとめ

大宮駅・ルミネ、さいたま新都心・コクー ン周辺が小中高生いずれも上位に挙がつ た一方で、大宮公園周辺、氷川神社・氷川 参道もお気に入りの場所として回答した 割合も高く、遊びや食事の場として賑わ いのある大宮駅・さいたま新都心駅周辺、 駅から離れて緑とともにゆったりとするこ とのできる大宮公園・氷川神社・参道とい う、賑やかな場・静かな場どちらも小中高 生のお気に入りの場所となっていること が分かります。その他、大宮図書館・市立 博物館・市民会館おおみや・山丸公園な どの公共施設、ステラタウンなどのショッ ピングモール、自分の学校などが挙げら れましたが、30%以上の回答となるお気 に入りの場所がないことも分かりました。 個別の場所を見ると、さいたま新都心周 辺は高校生で唯一20%を超えており、 平日の学校帰りに利用するという回答が 多かったこと、また大宮高校の最寄り駅が さいたま新都心駅という立地からも、日常 的に利用されていることが分かります。一 方で、小中学生もさいたま新都心周辺の 回答が多いですが、週末に家族・友達と 行く傾向が見られます。氷川神社・参道は、 小中高生いずれも平日・休日・イベント時 と時期を問わず、家族や友達と行くお気 に入りの場所となっています。また、年齢 が上がるにつれて、お気に入りの場所に ひとりで行くと答えた割合が増えており、 自分の居場所となる場所を求めているの ではないかと考えられます。

03

大宮にどんな場所があると うれしいですか?

[自由回答、2つまで回答可] どんな場所、理由

 小学生
 中学生
 高校生

 55
 20
 13

 ショッピング モール
 勉強スペース

 12
 18
 9

 テーマパーク
 公園

 12
 18
 8

 ショッピング モール
 ス園
 アミューズ メント施設

 9
 16
 8

回答数が多い上位4カテゴリの割合を示します。 (複数回答や未回答などにより合計は100%になりません)

スポーツ施設

単位: 0/0

飲食店

回答例

スポーツ施設

[小学生]

公園

- 自然がいっぱいな公園:都会の良さだけでなく、自然の良さなども体験できたら面白いと思った。
- ・色々なスポーツができる公園: 友達と 色々な遊びをして楽しみたいから。
- 広くて安全な、また創造力働く公園:小さな子でも楽しく、また脳が発達するから。
- 屋上に緑が溢れているビルの公園:大宮 駅周辺では公園を作る場所がないから。

テーマパーク

大きくて楽しい遊園地: 大宮にはあまり楽しめる所がないから。

ショッピングモール

- 緑があり週末に家族でいけるショッピング モール:大宮にないから。
- 身体障害者でも行けるスーパーマーケット: 母が身体障害者で、家の事がしたいの

にできないと言っていたからそんな人で も買い物ができたら良いと思った。

スポーツ施設

冷暖房完備で気軽に遊べる体育館:冬や 夏は外で遊ぶのがつらいから。

その他

- みんなで楽しめる公共施設:誰でも楽しめる場所が欲しい。
- のんびりできる、子供だけでも入れる、安いカフェ:楽に過ごしたいから。

[中学生]

ショッピングモール

幅広い世代が行けるショッピングモール: コクーンはどちらかといえば若い大人向けで、高齢者や子供が楽しめるお店が少ない。

テーマパーク

 広い遊園地:広い遊園地があったら人が 集まると思う。そして大宮がもっとにぎや かになると思う。絶対もうかる!

公園

- 自然あふれる公園:建物ばかりが建設され、大宮公園のような自然あふれる公園があまりないので、大宮駅付近には小さい公園をつくってほしいから。
- もっとベンチがある公園:あまり公園にベンチがないし、休憩する場所がないので。

スポーツ施設

- 広いアルディージャスタジアム:今のスタジアムは狭くてチケットなどが売り切れてしまってるときがあるから、もっといろんな人にアルディージャの良さを知ってもらいたい。
- 誰でも遊べる体育館:雨の日などに屋内で体を動かせる場所がほしいです。

その他

- •音楽の世界をいっぱい感じられる施設: 芸術を身近に感じられた方が教育に良い と思う
- ・ 給料の良い職場:将来の安定のために。

「高校生〕

勉強スペース

- 広々とした学習スペース:所々に図書館があるが、自習スペースはすぐに埋まってしまう。
- ・勉強ができるカフェ:図書館に行って勉強 するとなるとハードルが高いけれどカフェ だったら気軽に入れるし休日でも勉強し に行こうかなと思えるから。

駅に近い便利なコワーキングスペース: 家で勉強できないときに勉強できるスペースがないから。

公園

- ・緑豊かな広々とした公園:氷川参道を除く と緑が少ないと感じたため。
- 大きな防災拠点になりうる公園など:地震 はとてもこわいから。大宮は人が多くいる し、ごちゃごちゃして混乱しそうだと思う から。
- 広くてきれいな公園: 大宮は建物が多く てガヤガヤしたイメージがあるから、ゆっ くりできる場所が欲しいから。

アミューズメント施設

最先端のプラネタリウム: 大宮は10代 の子供としては魅力が足りなくて東京に 行ってしまうから、アミューズメント要素が 入った場所を増やしてほしいから。

飲食店

有名なスイーツのお店:近いと良い。遠い と交通費がかかる。

その他

- 大きな美術館:埼玉県には大規模な美術館がないので。
- 活気のある公共施設:公共施設は静かで 入りにくいイメージがあるから。
- 駅に近い休憩できる場所:座る場所がほとんどないから。

まとめ

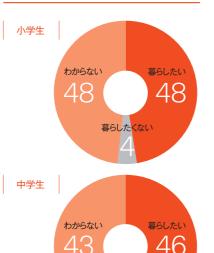
傾向として、小学生は緑豊かな遊び場と しての公園、中学生は公園だけでなくア ミューズメント・スポーツ・買い物の場、高 校生は勉強スペースを求めており、小中 高生は現在それらが大宮に不足している と感じているとも考えられます。また、テー マパークやショッピングモールなどの賑 わいを望む回答が多い一方で、静けさ、 落ちつける・休憩できる場、緑を望む回 答も多くあります。高校生はショッピング モールの割合が低い(2%)ため、コクーン シティなどがあれは十分と考えているの ではないでしょうか。また、全体として、芸 術や文化、歴史に関する回答がきわめて 少ないことから、それらに対する興味が低 く、日常的に芸術文化などに触れる機会 が少ないことが一因として挙げられるの ではないかとも考えられます。

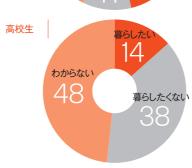
Q4

将来、大人になってから(進学・就職等の後) 大宮で暮らしたいですか?

[選択回答]

暮らしたい/暮らしたくない/わからない、理由





募らしたくな

単位: 0/0

回答例

[小学生]

暮らしたい

- 緑があって都会なまちは大宮しかないと 思うから。
- 今このまちはカッコいいので未来もかっこよくなると思うから。
- さいたまは災害とかなくて安心だから。
- ・大都会よりは物騒ではなく、田舎よりは便利で住みやすいから。

暮らしたくない

- もっと自然があるところへ行きたいから。
- ・地元にずっといるより、新しい土地も見て みたいから。

わからない

- 大宮は災害も少ないし安全だけど、緑が少ないから自然の多い所に行きたいから。
- 将来どこに進学、就職するかわからない

し、自然も減ってきて空気が悪いから。

今のように良いまちだと思っているかわからないから。

[中学生]

暮らしたい

- 大宮駅があるから東京に行くのでも新幹線に乗って出かけるにしても近くて楽。
- 駅周辺は発達していて使いやすくて、大 宮公園の方へ向かうと自然豊かで気分を フレッシュにしてくれるから、暮らしたいと 思います。
- 災害があっても津波とかがないから。
- 都会もあり、田舎もあり、のどかでいいから。

暮らしたくない

- 汚い、空気が汚れてる。
- ださい。
- 海も山も目立った観光スポットもなんにも 無いから。
- ・ 夜になっても安全で明るいまちにすみたいから。

わからない

- まちづくりの結果次第だから。
- 大宮で暮らせるほどのお金を稼げたら大 宮で暮らす。
- 大宮は交通が便利だけど、田舎で静かに くらしたいという願望があるから。

[高校生]

暮らしたい

- 海がなくて、平地で災害も少なく、交通の 便も良いから。
- そこそこ栄えていながら静かな町並みがあるから。

暮らしたくない

- 遊びに行くなら大宮だが、暮らすなら絶対 に浦和の方が暮らしやすいというイメー ジがある。
- 大宮は住む町というより行く町って感じが するから。
- もっと自然の多い場所でくらしたいので。
- 駅の近くは栄えているけど、人がたくさんいるだけであたたかさをあまり感じないから。
- 大宮に暮らすぐらいなら東京に出る。

わからない

- 似たような街は他にもあるから。
- 大宮は東京に近く、交通の便が良いし、 子育て支援も充実しているのでとてもいい土地だと思うが、自然が少なく、あまり 静かじゃないから。
- あまり魅力を知らない。

まとめ

小中高生いずれも、大宮区内に住んでいる人は半数以上将来も大宮に暮らしたいと考えていて、暮らしたくないという人は少数(4-12%)でした。高校生の回答を居住地域別で見ると、大宮区以外のさいたま市内在住の81%、さいたま市外在住の95%が将来大宮に暮らしたくない・分からないと回答しており、大宮より自分が住んでいる場所を好んでいることが分かります。

暮らしたいと回答した理由としては、交通・生活が便利であることや、都会でありつつ緑があること、災害がないこと、などが挙げられました。一方で暮らしたくないと回答した理由は、汚い・うるさい、自然が少ない、安全ではない、別のまちを知りたい、などが挙げられ、分からないと回答した理由は、将来の自分の状況や大宮のまちづくり次第、便利だが空気が悪い・うるさい・まちの特色がない、などが挙げられ、現状では決めかねる状況ということが分かります。

Q5

大宮のまちについて、 あなたの意見を自由に書いて下さい。

回答例

[小学生]

- 大宮のまちは緑が少ないので、ビルの中 に森に近い自然があると良いと思う
- 緑や歴史が残った住人に優しいまちに なってほしい
- 大宮には氷川神社があり歴史に溢れてい てとても良いと思います。しかし、もう少し 若い世代の人たちも楽しく集まれるところ を作るとより良くなると思います
- 子どもの遊ぶ場所をもう少し増やしてほ
- ユニバーサルデザインを増やし、誰にで 大宮って何が有名なんだろう? といわれ も便利な大宮にしてほしいです
- 大宮のもう一つの顔を作ったらもっと人 気が出ると思う
- 交通はすごく便利。しかし、もう少し有名 なところがほしい
- もう少しレジャー施設を増やしてほしい。 てほしい。でも、今のまちでも十分満足。
- 使っていないビルを壊して、今足りていな い農業の人たちを増やすために田んぼな どを作ったら良いと思う
- 学校を建て替えて欲しいです。

[中学生]

- どんどん都会的になるのが私は少し嫌で す。もう少し前のような田舎っぽい部分も 多い方が大宮感が出て嬉しいです。です が開発をすることで大宮がより発展する とも思うので将来像がまとまると良いか ・ 駅周辺はよく利用するけど、少し駅から離 なと思いました。
- 都会と言われれば都会と思えるし、田舎と 言われれば田舎とも思える、ちょうどいい感。
- ・公共施設があまりきれいではなくて、遊 んで使う気にあまりなれないです。建物 の老朽化がすごい所がたくさんあるので、 直してください。
- 大宮っていうものがない。住んでいておも しろくない。有名なものや楽しくなるもの をつくってほしいです。できます?
- 海外の人が観光しに来たくなるような町に したい。
- もっとたくさん公園がほしいです。近くの迷路のような駅前は大好きです。

公園でおじいちゃんおばあちゃんたちが 朝にラジオ体操をしているのを見て、こう いう関わりはもっとあった方がいいなと思 いました。誰でも行ける場所がほしいです。

- 友達と集まれる、休憩場的なのがた一くさ んほしい
- ミスタードーナツとモスバーガーを返して ください(できるだけはやく)
- 景色に変化がほしい
- ・駅の周りだけで、高島屋をこえると急に静 かになるのでもっと駅から奥への道も栄 えたらいいなと思います。
- ・ 大宮はダサイ。 銀座と同じように広い大通 りがあり、原宿と同じようなお店もたくさん あるのに何故でしょうか。"つくる"より"建 て直す"。汚れたビルや電柱、ダサイですよ。

[高校生]

- ると思い浮かぶものがないと思います。 これは区全体でのアピールが足りないか らではないでしょうか? もう少し大宮のシ ンボルになるものや「大宮の名物はこれ だ!」というものを全面におしだして、大宮 をもっと良い町にしてほしいです。
- しかし、古いお店も残して大宮のまちを保っ ・東口の方があまりきれいではないが、家 族や友達と行く美味しい店は東口が多い ような気がするし、東京ほどがつがつした 都会じゃなくて、ちょっと離れれば緑ある 公園、氷川神社があって、でも大宮駅は便 利だし、西口はおしゃれな店とかあって都 会な感じがして、コクーンもあるしアリーナ もあるしスタジアムもあるし、そんな都会 だけど都会過ぎない、ちょうど良い所が 好きです。
 - 住むのに苦労はしないが初めて来た人は あまり良さを感じるとは思えない町。
 - れた場所のことはよく知らないので、もっ と公共施設についての積極的な案内がほ しいです。
 - 便利さやイベントなどを求める前に交通 や災害に関する安全を十分に確保してほ しいです。
 - ぜひこのアンケートを通して大宮をどんど んすてきなまちにしていってください!
 - ・大宮小を移転しないでほしい
 - ・ 氷川神社、参道周辺は街並みがきれいで 緑も多く雰囲気が良い。駅のにぎわいとそ ういう落ち着きが融合したらいいと思う。

全体総括

今回のアンケートでは、未来の大宮を担 う10代の小中高生の想いを摑むことが できました。都会だけれど緑があること、 都市と田舎が共存しているところに大宮 の地域性を感じていることは意外な結果 でした。一方で、大宮を象徴するものがな いという声も多く、今後「大宮らしさ」を明 確に打ち出していくことも求められていま す。未来の大宮の担い手が住み続けたい と思うことのできるまちづくりを推進して いくことが重要ですが、賑わいだけでなく 静けさや緑の共存、年齢により変化してい くニーズに応える場、それぞれの居場所 づくり、ということがひとつのヒントになる のではないかと思います。

出張講座 アンケート

さいたま市大宮駅東口まちづくり事 務所では、大宮駅東口周辺のまち づくり団体や自治会等を対象に、公 共施設再編の全体方針(原案)に関 する出張講座を実施し、全体方針 (原案)に対する地元市民の意向や 意見の方向性を確認するため、ア ンケートを合わせて実施しました。 ここでは、市民意識の全体像を探 る貴重なデータとしてその結果を 抜粋して掲載します。

アンケートの調査対象は、大宮地 域で活動する11のまちづくり団体、 および22の自治会で、アンケート 回答者総数は206名でした。



アンケート結果まとめ

大宮区役所跡地に必要な機能

駅前立地であることから商業・交通の割 合がオフィスよりも多く、商業機能、交通 機能を組み込んだ整備イメージが比較的 強い傾向となりました。そのほかに意見が 多かった機能としては、ホテルや公園、コ ミュニティホール、保育所などの回答があ りました。

市民会館おおみや跡地に必要な機能

商業・オフィス・交通の割合に大きな差は ありませんでしたが、その他の意見として、 隣接している山丸公園との一体性を意識 していると思われる公園、隣接する避難 拠点となる新区庁舎の一体性を意識して いると思われる防災拠点、また市民会館 おおみやの跡地であることや氷川参道と 接していることから、歴史・文化的機能と いった回答が見られました。

大宮図書館跡地に必要な機能

商業・オフィス・交通の割合に大きな差は ありませんでしたが、その他の意見として、 文化施設、休憩・人が集まる場所、コミュニ ティホール、氷川神社に関連した情報発 信機能などの意見が見られました。

●回答者情報

性別 🗆 男性

大宮小学校の将来の存続場所

回答者に大宮小学校の卒業生が多く含ま れることが想定されるなか、「現地で存続」 という回答が45%に対し「他の場所に移 転してもよい」という回答が38%と拮抗 した結果となりました。さらに小学校機能 については、「学校以外の機能と複合化 してもよい という回答が56% に対して 「学校を単独で継続」という回答が17% となり、他の自治体の事例に見られるよう な学校と他の機能との複合化という先進 的な意見が多数を占めていることが特徴 的といえます。

市立博物館の将来の存続場所

「他の場所に移転してもよい」「博物館以 外の機能と複合化してもよい」という回答 がともに過半数を占めており、現状維持 への市民要望は比較的低い結果となり、 今後の検討でも柔軟な対応が必要と考え られます。

今後の公共用地の活用のあり方

「民間事業者と連携を図るべき」が77%、 「民間へ土地を貸し出すべき」が11%と なり、公民連携で進めていくことが求めら れています。一方で「行政が主体となって 活用すべき は25%、「土地の売却を検討 すべき」は11%の回答がありました。

大宮駅東口周辺公共施設再編 連鎖型まちづくり アンケート用紙

□ その他(

問1	度(複数回答可) 現在、大宮駅東口周辺で進めているまちづくりの計画について、知っているも	問 4
In) I	のを教えてください。	10) 7
	□ 大門町2丁目中地区再開発事業	
	□ 大宮駅グランドセントラルステーション化構想	
	□ 氷川緑道西通線整備事業	
	□ 氷川参道歩行者専用化推進事業	問 5
	□ 大宮駅東口公共施設再編	
	□ 大宮区役所新庁舎整備事業	
	□ 市民会館おおみやの再開発事業への複合化事業	
	□ 大宮図書館の移転・大宮区役所との合築整備事業	
		●以
問2	今後の公共用地の活用のあり方について、どのようにしていくべきと考えます	問6
	か?	
	□ 行政が主体となって活用すべき □ 民間事業者と連携を図るべき	
	□ 民間へ土地を貸出すべき □ 土地の売却も検討すべき	
	□ その他 (問7
公:	は施設跡地に導入する機能について (複数回答可)	
問3	移転後の大宮区役所跡地についてどのような機能が必要と考えますか?	● そ
	□ 商業機能の充実 □ オフィス機能の充実	問8
	□ 交通機能(バスターミナル、タクシープール、駐車場・駐輪場など)	

		年代 □ 20代以下 □ 30	17 □ 4017	□ 501€
		□ 60代 □ 70	代以上	
		居住地 🗆 大宮区在住 🗆 市内	3在住(大宮区以外)	□ 市外
	·			
₽	問4	移転後の市民会館おおみや跡地にこ	いてどのような機能が必要	と考えますか?
		□ 商業機能の充実 □ こ	オフィス機能の充実	
		□ 交通機能(バスターミナル、タ	クシープール、駐車場・駐車	倫場など)
		□ その他()
問 5		移転後の大宮図書館の用地について	どのような機能が必要と考	えますか?
		□ 商業機能の充実 □ :	オフィス機能の充実	
		□ 交通機能 (バスターミナル、タ	クシープール、駐車場・駐車	倫場など)
		□ その他()
			· /=+:	
_		Fの公共施設の今後の方向性について ・		つまで)
đ	间り	大宮小学校は今後どのようにすべき		
		①位置:□ 現地で存続	_ 10 - 10 11 11 11 11 11	
		②機能:□ 学校を単独で継続	□ 字校以外の機能と	夏台化してもよい 、
	BB =	□ その他:()
	问 /	市立博物館は今後どのようにすべき		
		①位置: □ 現地で存続		
		②機能:□ 博物館を単独で継続	□ 博物館以外の機能な	と復合化してもより
		□ その他()
	_	か他 (回答は一つまで)		
	間8	今回のようにまちづくりの検討が公	3開型で行われることについ	て、とう思いま
		すか?		
		□ 大変良い □ 良い	□ どちらともいえない	, 1

□ 大変悪い □ その他(

UDCOでは、

大宮におけるまちづくりの推進に向け、

大宮駅東口公共施設再編、

そして大宮の目指すべき姿について、

専門家にインタビューを行いました。

「行政|「建築|「教育|「公民連携|

「商業マーケティング」など、

まちづくりに重要なポイントを考えるべく、

多岐にわたる分野の専門家とUDCOメンバーが

大宮のまちづくりについて議論した記録です。

ここから、今後のまちづくりの

方向性を定めていくための

多角的なヒントを得ることができました。

まちづくりについての知見と思いが

飛び交う様子をお読みください。

1 山出保 TAMOTSU YAMADE

石川県金沢市長(1990-2010)、全国市長会会長(2003-2007)。金沢市長在任中に「金沢21世紀美術館」「金沢駅もてなしドーム」等の整備、「金 沢市民芸術村」の創設を実施し、歴史と文化のまちづくりを強力に推進。

軸を通したまちづくりの推進 | 聞き手=内田奈芳美 | UDCO 副センター長

2 | 妹島和世 | KAZUYO SEJIMA

日本を代表する世界的建築家。2006年に「建築界のノーベル賞」とも言われる米ブリツカー賞受賞。代表作に「金沢21世紀美術館」「犬島 "家プロジェクト"」「すみだ北斎美術館」など、多くの文教施設を手がける。

市民が誇れる街と建築|聞き手=工藤和美|UDCOセンター長

3 | 細田眞由美 | MAYUMI HOSODA

さいたま市初の女性教育長。さいたま市立大宮北高等学校長、さいたま市教育委員会副教育長を経て、2017年さいたま市教育長に就任。 「3つのG」をキーワードに、地域と学校、家庭を未来へつなぐ教育を推進。

日本一の教育都市へ 聞き手=工藤和美 | UDCO センター長

4 根本祐二 | YUJI NEMOTO

東洋大学経済学部教授、同大学院経済学研究科公民連携専攻長、同PPP研究センター長を兼務。公共施設マネジメントの第一人者として、 さいたま市公共施設マネジメント計画策定委員長(2010-2013)、さいたま市提案型公共サービス公民連携制度検討委員会長(2012-)を歴任。

よい提案が生まれる仕組みとプロセスのつくり方 聞き手=藤村龍至 | UDCO副センター長

5 神河恭介 | KYOSUKE KAMIKAWA

ビジネスディベロッパー/再開発プランナー。大手不動産開発会社、森ビル等で開発・経営プロジェクトに携わる。2010年、不動産事業のプ ロデュースとマネジメントを行う企画制作会社PODを設立。法人や事業部門等の開発運営、商業マーケティングのプロデュース等を行う。

都市マーケティング戦略 聞き手=橘昌邦 | UDCOコーディネーター



TAMOTSU YAMADE

軸を通した まちづくり の推進

山出保

前金沢市長

×内田奈芳美 UDCO副センター長

- 内田 「金沢21世紀美術館」(2004)や「鼓門」(2005)には、 当初は反発もあったそうですが、いまは高く評価され多くの お客さんが訪れています。山出さんはどのように決断された のでしょうか。
- 山出 | 僕は自分の限界を知っているつもりですわ。美術の評論ができるわけやないから、識者の意見は聞かなければいけない。専門家の意見を聞くのも当然です。とくにコンテンポラリーアートの議論というのは、金沢ではほとんどありませんでしたから、現代美術館をつくろうやと言った人は数少ない。それに、新しい美術館は伝統主体の県立美術館と至近距離なんですわ。だから市が県と同じものをつくったら意味がないと思った。金沢の街そのものが歴史都市やから、全体的に古いイメージがある。これまでとは違う価値観を出そう

とすると反対とか葛藤 は起きる。でも、保存 と開発、伝統と現代、 そういう背反する概念 を調和させたり共存さ せるのは、金沢という 街の宿命的な課題や と僕は思ってるわけ。 古い街であっても、新 しいことに挑んでいか なきゃいけない。



○ 内田 | 美術館だけではなく「金沢市民芸術村」(1996)や「鈴木大拙館」(2011)も、市民の希望を叶えたということ以上に、新しい価値を生み出したことの意味がとても大きいと思います。

● 山出 | そういうことをいっぺんやっておく必要があるなと 思ったことは事実ですわ。でも世間からは悪口を叩かれまし た。美術館だから開館までにいろんな作品を買わなきゃいけ ないでしょう。作品を買おうとすると非難中傷もありました。 金沢というのは古い伝統工芸の世界で、新しいことをやろう とすると抵抗があって、いや、本当につらかったですわ。しか し、金沢はそれを超えていかねばならない街でもあるのです。

大宮は内陸の港町

- UDCO | そういった状況を突破していく鍵とはどのようなものでしょうか。
- 山出 | やっぱり、県と同じことをしちゃいかんということは 思いました。僕は中央思考は嫌なんや。そこはちょっと反骨 かな。大宮も浦和のまねをする必要はないと思う。そういう ビジョンがもうちょっと明確であったほうがいい。僕は大宮の コンセプトは多様性と新しさやと思うね。交流の中心なんや。 多様性を認めることは、大宮の大事な特色やね。さらに言え ば、大宮は日本海と太平洋をつなぐ接点や。なぜかと言うと、 金沢港には小松製作所(コマツ)の工場が隣接してあり、製品 を金沢港から出荷しています。日本海を通じて中国とかアフ リカに出荷する。それじゃあ、コマツさんの太平洋側の窓口 はどこかと言ったら、茨城県のひたちなか市よ。ひたちなか は大宮から車で行けるんや。そうすると、大宮というのは日 本海と太平洋の接点やなと。そう考えると、限りなく広い範 囲の人たちの往き来ができるわけ。それは経済だけではな い、文化についても一緒やと思う。多様な窓口やね。だから、 そこでは伝統よりも多様性と新しさ。僕はそれが大宮のコン セプトやと思うね。
- 内田 | そう思います。たしかに、大宮は内陸ですが港的な ところがあるんですよね。 つまり人が交わり合うので文化が 流入しやすい。
- 山出 | 港のような街だからハイカラやと思う。神戸とか横 浜みたいにね。僕は政令指定都市で惹かれる街、尊敬する 街はどこかと聞かれたら、「横浜と神戸」と言ってきました。 やっぱり外に開かれていて、多様なものが往き来する場所や から。大宮も多様性を受け入れる街でありたいね。
- 内田 | 大宮のキャッチフレーズは「内陸の港町」がいいかも しれませんね。

多様性を受け入れるための軸

- さいたま市 | たしかに、大宮にはいろいろなものが往き交う 交通網が発達しているので、新しいものを受け入れられるような体制づくりも大事かもしれません。
- 内田 | 多様性が重要だと思う一方で、公共施設を新しく建



てるとなると、「あれもこれも入れたい」というような議論になってしまいがちです。最大公約数の考え方でつくると、どれも同じような、個性のないものになってしまう。多様性を受け入れつつ、尖ったアイデアも許容する秘訣はあるのでしょうか。

- ●山出 内田さんにも参加していただいて、僕らは「金沢らしさとは何か」っていうことを1年かけて議論しました。また金沢の個性とは何かと聞かれたら、僕は「歴史と文化や」と言うわけ。魅力は何かと聞かれたら「歴史の多層性」。過去、現在、未来と時代の異なるものが、街のどこにもあって、ちゃんと形になって残っている。これが金沢の魅力だと。もうひとつは文化の多様性。いろいろな文化がたくさんある。そして目に見える。これが魅力だと。「多様性が可能性を生み、可能性が持続性につながる」——これが僕のまちづくりの持論なんですけど。
- 内田 | やはり軸があってこそですよね。「大宮の魅力や個性とは何か」と考えたらなかなかすぐにはみんなが納得するような答えは思いつかないかもしれません。
- さいたま市 | 大宮でも「まちづくりはどうあるべきか」という 議論は何度も重ねてきましたが、たしかに「大宮らしさってな んだ」という議論を、私たちはしたことがないかもしれません。
- ●山出 先ほど申し上げたとおり、大宮は交流の拠点やから、 多様なものを受け入れていくということ。そういうなかから出てくるものは、クールやと僕は思う。洗練されてるよ。それは 大宮のひとつのいいところじゃないかな。
- ○内田 「らしさ」の軸がぶれているというより、いまは何も「らしさ」とは何かという議論が定まっていない状況です。だから、多様性を具現化するような大宮らしさとは何か、整理する必要がありますね。
- 山出 東京の文人墨客が大宮に滞在して、そこで文章を書いたとテレビで見たことがある。なるほど、大宮は東京の奥座敷やと。それはそれで大事にしなきゃいかん。大宮は東京や浦和と一緒のことを言ったら駄目やと思う。だから、経済とか流通とか、それから文化は思い切って新しいものが大事やね。
- さいたま市 | 大宮の文化や歴史と言えばやっぱり氷川神社であり、その魅力を伸ばしていこうという話はよくされるのですが。それだけではなくて文化の新しさが必要。
- 山出 そう。小さい視点で考えたら、僕はそうやと思う。しかし、埼玉県の中での大宮の地位とか、日本の中での大宮の

地位とか、大きな視点で考えたら「大宮は太平洋と日本海の玄関口や」と言わなきゃいけない。だから、経済は自由で多様でなきゃいけないし、そういう活動を通じて、いろいろなものが入ってくる。新しいものを積極的に受け入れるのが、大宮のあるべき姿やと思うね。だから、大宮駅から氷川参道までの道のありかたが、ポイントになると思うね。歴史的な街道にするのか、賑わいの拠点とするのか。賑わいと言っても、ネット通販で簡単に物が買える時代、商店が物を売って人を集めるということでなくなってきている。人を集めることを考える時、広場のある駅は大事になる。また、参道の広場をどういうふうにつくっていくか、という話にもつながる。その可能性を考えることは非常に面白いよ。ただ、全体方針(原案)には防災の表現が少なすぎるように思う。僕は東京との違いを謳うには、安全とか安心をもっと強調すべきと思う。

- 内田 | たしかに、大宮の辺りは台地ですから、防災上も地の利があると言われています。
- 山出 | でも安全・安心って言うて、鉄筋コンクリートの建物 をどんどん建てたら、大宮駅の西口と同じことになる。

駅前広場のあり方

○ 内田 | ご指摘の通りです。じつは、いま大宮駅周辺をどうするかという議論があります。なので金沢駅や駅を降りてすぐにお客さんを迎える「鼓門」のお話も伺いたいと思っています。「鼓門」はいまや写真を撮ったりみんなが集う場所になっています。一方、大宮駅の東口は車優先型になっていて、

西口はペデストリアン デッキ(歩車分離のため に歩道を高架とした駅前 広場)になっています。 金沢駅は西口も東口 もどちらも外に出ると すぐ歩行者用の広場 が中心に見えるよう になりましたね。広場 ができるまでの経緯 を教えていただけま すか。

● 山出 | 1963(昭和 38)年に三八豪雪(北 陸地方を中心に起きた記 録的豪雪)っていうのが あったんです。たくさ



コンセプトは 多様性と

ん雪が降って、陸路が塞がれ物資の輸送が途絶えたわけ。それで港をつくった。それから港と駅の間の整備、450 haにもおよぶ大きな土地区画整理をやったわけ。金沢と博多は区画整理の優等生と言われたくらいです。区画整理を港のほうから進めてきて、最後に駅周辺にまで広げて実施したのです。さらに、鉄道高架化とか客貨分離を進めてきて最後に駅舎

40

4

の改造もやったわけ。そこから駅の広場の議論が出てきた。

- 内田 なるほど、そんな時代からですか。
- 山出 | だからものすごく古くからです。それで金沢駅の改 造について、金沢大学、金沢工業大学、金沢美術工芸大学 の先生方が議論して、計画を練ってくださった。だから、特定 のコンサルやらが関わっていないわけ。建築家の芦原義信 先生から何度も「駅から兼六園・金沢城までゲートがいくつ かあると面白いね」と言われました。先生はフランスの凱旋 門を想像されていたんです。そのひとつが、あの「鼓門」で す。もうひとつは、金沢工業大学教授の水野一郎先生が、「金 沢は雪が多く降るし雨の多い土地だから、ぬれずに街中へ出 られたらいいねしと。それで駅に屋根を架けようと「もてなし ドーム | ができたわけです。ここにも背反する概念が入れて ある。鼓の伝統とドームの現代、木とガラスでね。





- ○内田|初めて金沢駅を見た時は、そのコントラストにみんな はつとさせられますね。
- 山出 | それと、水野先生が最後までこだわられたのが、歩 行の動線でした。「電車から降りて、街中の大通りへストレー トに出られたらいいねしと。
- 内田 | 金沢の駅前広場は先駆的ですよね。これまでの駅 前広場の多くは、どうしても乗り換えのために車中心のつくり になってしまうような状況でした。
- 山出 | 分かりやすい歩行の動線をつくることは、水野先生 にとっての大切なテーマだったんです。あれはよかったと思 います。それと、僕はペデストリアンデッキは嫌いです。なぜ かと言うと、横断歩道橋を人が歩いているのを、あまり見たこ とがありません。人はやはり地上を歩くものでしょう。それか ら、ペデストリアンデッキの下は暗いよね。70-80年代の再 開発に、ああいうものがたくさんできた。効率優先のまちづく りだったと思うね。

地下も好きじゃない。地下鉄のあんな深いところで、もし事 故が起きたらと思うと怖いね。だから僕は埼玉が東京と違う 点で主張すべきなのは、やはり安全・安心だと思うね。そし て、そのなかに広場というものを絡めて論ずべきでしょう。災 害のない強さを標榜する都市。でもそれはRC造の建物をつ くるということと同義ではありません。

替否を超えるための気骨

- ○さいたま市 | まちづくりを進めていくなかで、反対意見が出 ると行政側はどうしても躊躇してしまいがちです。 賛否がぶ つかる局面を突破することのできた、その気骨とはなんで しょうか。
- 山出 | 金沢には雪がたくさん降る時がある。 そうすると「市 民一斉除雪デー」を設定して市民のみんなに一緒に除雪作 業をしてもらうわけ。僕は「ご苦労さん」って言って街を回るで しょう。すると、おかみさんが僕に「あなたは茶屋街だけきれ いにして、あとは私らに雪掻きをやらせて不公平やって言う わけ。そのときが大事やと思っとる。「茶屋街は観光客のた めなのですよ」と。また、「郊外から街中へ働きに来る人もあ るから、その人らのためにバス通りは開けてやらなきゃならな いね
 |「だからみんなに協力してもらわないと困るんです」と 言うて丁寧に説明するのです。言って理解を求めるのは市長
 - の大事な仕事やと思っています。
 - 僕がいま、金沢で気になっているのは近江町市場。 観光客が多くて、地元の人が行けない状態なので す。市場の関係者や旅行業者に集ってもらって、混 雑しないように観光の時間帯を分けることができな いか。そういうことを検討してもらうべきやと思う。
 - 内田 | 私も金沢でバスに乗っていて地元の方に言 われたことがあります。「近江町市場、観光客ばっか りなのよ。あんた、どう思うって。地元の人は、利用 しにくい状態なので足が遠のいてしまう。それに、観 光客が買うのは魚介類が多いですから市場内の店

舗に偏りが出てきてしまうんですよね。

● 山出 | 誰かが言わなきゃいけないね。僕は観光の成否はガ バナンス(統治)のいかんによると言いたい。口うるさい誰か がいないと駄目。言いにくくとも言わないといけないね。

公共施設計画のチーム編制

- ◎ UDCO │公共施設計画のハードとソフトの連携についてお 聞きしたいと思います。「金沢21世紀美術館 | や「金沢市民 芸術村」のように、ハードの整備と同時にプログラムをつくる ことがとても重要だと思います。しかし、事前にプログラムを 考えるのは、なかなか難しいことのように思いますが。
- 山出 | そのとおりですね。石川に「オーケストラ・アンサン ブル金沢一つていうオーケストラがある。音楽監督の故・岩城 宏之さんが、まずソフトのオーケストラを1988年につくった。 それから13年経ってから「石川県立音楽堂」(2001)ができた のです。以前、他の県でソフトより先に音楽堂をつくって批判 されたことがあった。石川はその逆をやったわけ。だから、そ ういうのは指導者や関わる人の見識ですわね。大事なこと やと思うね。
- UDCO | やはりチーム編成が肝になるということでしょうか。
- 山出 |最初は40人くらいの小さい編成でスタートしまし た。だんだん大きくしていって、ソフトが固まってからハードに 取り掛かる。それが賢明だと思う。



大宮は 日本海と 接点や

- UDCO | 「金沢21世紀美術館」の計画のはじめに、「地元 のおばちゃんが買い物帰りにふらっと見られる美術館にした い」という話があって、それから5年間かけてプログラムをつ くられたと伺ったことがあります。
- 山出 | そのとおり。時間を掛けるんや。「金沢駅 | も議論を 始めてから16年掛かっている。長いわね。「ああでもない、 こうでもない一つていうのは、ものすごく大事やと思うね。そ の過程を大事にしないと。
- ◎ さいたま市 | どうしても結論を急ぎたくなってしまいがちで すが、じつくりと取り組むことが大事ですね。
- 山出 | そうやね。特に最近の社会の様相をみると、そうい うプロセスを省略することが多く、非常によろしくない。大学 の運営だって同じ。成果指標による結果だけ見て、評価と判 断の多様性をなくしたり。
- 内田 | そうですね。「○○らしさ | の議論なんて無駄だと思 われるかもしれないけれど、拙速な決断をしないために、丁 寧に時間をかけて議論することが大事なんです。そうすれ ば、評価軸が定まってあるべき姿が見えてくる。目に見える 成果を前提に考えるのではなく、議論のプロセスをきちんと たどらなくてはいけないですね。
- ◎ UDCO | 基本的にゼネコンやコンサルなどは入れず、学識 者と行政の方のみでチーム編成をされていたのでしょうか。
- 山出 | それが基本やね。それと、東京のコンサル系を地方 に呼ぶのも慎重でないといけない。たとえば近江町市場の 再開発。現場の論理でやるべきと思う。商いの場やからね。 魚屋さんや八百屋さんが仕事をしやすいようにしなきゃいか ん。東京の論理、中央の論理じゃ駄目。埼玉や東京の再開発 だったら高層ビルを建てればいいけれども、地方では人口が 減少して経済もそんなにも上向かない。だから再開発は中低 層階の建物をつくる。それから土地区画整理は小規模にやら なきゃいけない。こういう方向に国は支援のシステムを変え ていかなきゃいけないと思う。

○ 内田 | 近江町市場は大宮の方々も「身の丈再開発 | の事例 として見学に行ったと聞いています。

- 山出 | 近江町市場の再開発で何回も計画をつくってはみ たんやけど、どの計画案でもみんな40階とか高い建物をつ くろうとする。僕はある時、市場のおやじさんに「身の丈に 合ったことをやろうやしと。それに「僕はこれから近江町に ついては"再開発"という言葉は使わないよ。"再整備"や と。高層を中低層階に抑えると、採算が合うのかが議論に なるわね。合わない分は、行政が税金を出さなきゃ駄目な の。公共施設をそこに入れないと、再開発は全体として成り 立たない。
- 内田 | それで、子育て施設のある「近江町交流プラザ」を 入れてバランスをとったわけですね。近江町市場は素晴らし いですよ。というのも、どこまでが再開発なのか、街の継ぎ 目が分からないんです。大宮も今後ずっと人口が増加するわ けではありませんから、ある程度のところで、身の丈再開発 のような発想が必要になってきます。
- 山出 | 僕は中央の論理のままっていうのは嫌いや。現実に 中央には中央の論理があることは否定しないけれども、そこ に学者がしっかりと物言いができる仕組みをつくらないと。そ してやはり市役所がしっかりせんと駄目よね。大宮とか大き い都市は力があるからいいけどね。もうひとつ、僕は民間委 託が万能であるとは思わない。委託することで、行政が自己 研鑽を怠ったりしかねないから。
- UDCO | 民間に任せっきりではなく、行政も一緒に考えて いくことが大事ですね。
- 山出 | 長い時間の掛かる仕事なら、その意義とか意識を行 政と市民が共有することも大事やね。仕事の論理とか筋、イ メージとかコンセプト、そういうものを共有する。長いスパン のなかでぶれることのない仕組みを考えていく。慌てたらい かん。大宮は立派にできると思います。



フレーズは 内陸の港町

KAZUYO SEJIMA

SANAA

×工藤和美 | UDCOセンター長

公園のような 美術館をつくる

- UDCO | まず「金沢21世紀美術館 | (2004)について、お話 をお聞かせください。
- 妹島 | コンペの要綱には「街の人が入りやすいように」と いうことが謳われていました。プログラムには交流部門と美 術部門の2つが定められていましたが、美術館だけが静かに 格調高い感じになって、交流館のほうは子どもで賑わってい るのでは片手落ちじゃないかと思い、これらを一緒にするこ
- とを考えました。「公園のような美術館」 をキーワードに、来場者がどこから来て も建物の正面で迎え入れられるような 提案をしたんです。
- ◎ 工藤 | 先日、「金沢21世紀美術館」 に行きましたが、すごい人の数でした。 美術を鑑賞するというスタイルだけで はなく、街の中のようにぶらぶらしてい る。通り抜ける人もいて、うまくいって いますよね。
- 妹島 | 美術館だけでなく、その先も公 園化されていることに驚きました。 いま までは、美術館の敷地の中で一生懸命 に手を広げている感じだったけど、県庁

跡地の先まで大きな公園みたいになって、金沢城の城壁まで 一体になっています。さまざまな施設が大きな公園の中に点 在して広がっています。

- 工藤 | 私も同じことを感じました。あの大きさが周囲になじ んでいるの。
- 妹島 | 嬉しかったのは、地元のギャラリーの方が、美術館 の展示室のプランを見て「街でやっている自分の小さなギャ ラリーっていうのは、21世紀美術館の展示スペースが飛び 火したものだしという考え方を見つけてくれたこと。そうする と、街中に点在する小さなギャラリーがお互い関係しあって、 ひとつになれる視点が生まれました。
- UDCO | 展示室の規模やキャパシティは、企画展や展示物 によって左右されると思いますが、当初はどのように想定さ れていたのでしょうか。
- 妹島 | 私たちが設計者として選ばれた直後に、キュレー ターのコンペも行われました。以前は、建物は「ハコモノ」と 呼ばれ、建物が完成したあとに、キュレーターや企画者から 「こんなものは使えない」と言われてしまうことが時々ありま した。しかし「金沢21世紀美術館」の時は、キュレーターとし て長谷川祐子さんが選ばれ、役所の担当チームの方と長谷 川さんのチームと建築のチームの三者で、プログラムのたた き台をつくるところから建物の完成まで、一緒に進めました。 当然ですが、ある規模の企画展を開くためにはどのくらいの 広さが必要かということは、長谷川さんのチームが詳しいわ けです。彼女たちが、参考にすべき世界中のギャラリーの模 型をつくって見せてくれました。施工チームとも一緒に海外 の美術館を巡り、たとえばクラックの大きさまで観察してくる ようなこともありました。
- 工藤 | キュレーターの力が大きかったのですよね。
- 妹島 | そうですね。キュレーターという職業は日本ではな。 かなかその存在が知られていないところがあるように思いま すが、長谷川祐子さんという優秀なキュレーターがいらした ので、良い美術館ができあがったと思います。それから金沢 市の山出市長(当時)が今回の美術館に対してはっきりとした



ビジョンをお持ちだったことも、あのような美術館が現実のも のになるのに寄与しました。さらに金沢市が素晴らしいのは、 竣工後の維持管理のための費用が、いまでも考えられている ということです。いまも市の方、施工の方、そして私たちと、1 年に2回会って状態を確認しています。 たとえばアーティスト の人がガラスを取ってしまった時に、あとから適当に付け替 えられていないかとか、定期的に全体の検査をしましょう、と いうことから始まっています。これだけ大きな建物だと、一度 に全てをメンテナンスするとなると、とても大きな費用が掛 かってしまうので、少しずつ予算を取ってくださっている。こ れはすごいことです。

自分たちの場所をつくる プロジェクト

○UDCO | 次に犬島のプロジェクトについてお聞かせください。

●妹島 | 犬島のプロジェクトは、1992年に福武總一郎さん(べ ネッセホールディンクス創業者・名誉顧問)が安藤忠雄さんと直鳥 でベネッセハウス・ミュージアムを始められたのがきっかけで す。いまでもときどき福武さんと一緒にレクチャーをします。 福武さんは、東京にいらした時にお父さまを亡くされて、地元 の岡山に呼び戻された時に、「いままでの東京のような生活 の仕方ではこれからは駄目なんじゃないかと思ったと感じた とおっしゃっていました。なぜ安藤さんに設計を頼んだかとい うと、「東京の建築家じゃなかったからだ」と冗談をおっしゃい ます。瀬戸内海は誇るべきところなのに、豊島に産業廃棄物 が捨てられたり、別の島には隔離病棟があったり、みんなが 見たくないものを近代化の時代に島に追いやってしまった。 それはひどいじゃないかということで、もう一度世界に誇れ る瀬戸内海に戻すべきだと福武さんは考えられたんですね。 「いろんな問題を山積みにしてしまった近代化について、こ こから考え直すことができるんじゃないか。限界集落のよう な場所で、もう一度自分たちの生活を考え直すことができる んじゃないかしと。アートで元気にして、これからの新しい暮ら し方を実現したい。彼がそこで言うのは、「お年寄りの笑顔 があるところっていうのは、やっぱり人間が住むのにいいとこ ろだしと。お年寄りはたくさん瀬戸内海にいらっしゃって、「そ の人たちが笑顔で暮らしているようなエリアをつくりたい と。だからアートといっても勝手にやるんじゃなくて、必ず地 元の人たちにもなんらかのかたちで入ってきてもらう。たとえ ば、作品が完成したら島の人にアーティストの想いやコンセ プトを伝えるんですね。「お客さんにはこういうふうに説明し てほしい一って。それを理解したうえで、「そこからは自分が好 きなように想像や理解を膨らませて説明していい」と福武さ んが言うわけです。若いアーティストより、やっぱり島の人の ほうが地元のことをよく分かっているし、長い経験もあります から。このあいだ驚いたのは、島の風景を油絵で記録をしよ うということで、油絵の教室が開かれた時でした。以前、約 1カ月のあいだ島に滞在していた若いアーティストが教室の

犬島のことは 都市で起きても 楽しい

先生になって、素人でも参加できますよと呼びかけたら、「油 絵できないんだよ とか言いつつ島の人が来てくれたんです

ね。普通、おばあさんたち は家の奥にいることが多い けど、来てくれた方がすご く懐かしそうにアーティスト の先生に話しかけていたこ とが、とても印象的でした。 島は1周3.6kmくらいしか ないので、1時間くらいで見 終わってしまいます。朝来



ても午後の船で帰ってしまうのがもったいないので、「島に来 たらすること をつくろうといま考えています。みんなで道を つくるとか、畑をきれいにするとか。そうすると、みんな前の 人に続いて、一度やったことのある人もまた島に来てもらえ るようになります。今度は泊まるところが欲しいので、家を改 装するという話になりました。いまは小屋を散在させようとし ています。泊まれる場所をつくったり、ご飯を食べられるよう な場所をつくる。そうすると、そこで野菜の物々交換が始ま り、だんだんとマーケットのようになってくるというのをいま 進めているところです。

- ○工藤 | 私も犬島に滞在して思ったのは、都会と同じように空 き家もあるし、開発を待っている空き地もある。だから、犬島 でやっていることは街の中でも起きたほうが楽しいんじゃな いかと感じました。
- 妹島 | そうですね。 こう した取り組みは、犬島が小 さい島だからこそできるの だと思っていましたが、大 都市でもできることだとだ んだん思い始めています。 東京にひとりで住んでいる と、地域の人とどうやって つながったらいいか分から ない。でもそんなことはな くて、大都市の中でも、犬 島のように自分たちの生活 する場所や地域は、自分た ちで少しずつつくれるんだ

生活する 場所や 地域は 自分たちで

と思い始めました。空き家があったら「いまこういうことやっ ていますよ」「こんなことを募集していますよ」と伝えたらい い。たとえば、岡山の大学の先生たちが、空いてしまった市 街地の中で、出前講座みたいに月に1回講義するので「街の 人は誰でもどうぞ」って宣伝したんです。大学に行って講義を 受けるんじゃなくて、「大学が街に出てきたらみんな行きやす いよね」と。それから、最近新聞で読んだのですが、スーパー で売っている野菜に、ちょっとでも傷がついていたら売れな いけど、野菜を産地直送で求めるようになると「すいません、 今日はトマトを送るはずだったんですけど、先週は雨が続い ちゃって、ちょっと硬いから2、3日待ってもらえますか。おい しくなりますからね」と言われると、「大丈夫ですよ、待って



使う人も つくる人も

ますよしというふうになる。 本当にその通りだなと思い ました。使う人もプロだし つくる人もプロ。そういうコ ミュニケーションのうえで やっていけるとやっぱりい いですね。

- UDCO | 立場ではなく、 関わる人のコミュニケー ションをつくっていくことが 大事ですね。
- 妹島 | もちろん、いろん な立場のプロはリスペクト すべきですし、それぞれの 義務は果たすべきだけど、 ものすごい情報量だから、 誰か限られた人だけがや る、ということではないよ う思います。
- ○工藤 | その意味で、犬島から学ぶことは大きいと思うんです。
- 妹島 本当にそうですね。都市のような大きな場所でも、 同じようにできるはずです。何か小さなきっかけさえあれば、 できると思います。
- 工藤 | たしかにトリエンナーレのようなイベントも、打ち上 げ花火としてはいいんだけど、恒久のものになった時に、み んなで維持していこうという内側からモチベーションが出て

きますね。

● 妹島 | 犬島はとても小さい島ですし、島の輪郭もよく分か る。だから、2、3回も島に行けば「ここは自分の島だって思 えるようになります。みんな自分が主役だと思えるんですね。

市民であることを 誇りに思える空間

- UDCO | 次に、茨城県の「日立市新庁舎」(2017)について お話をお聞かせいただけますか。
- 妹島 | 市役所ってやっぱり重要だなと思っています。 たと えば日立市を一時離れて他のところに引っ越してしまって も、「自分がこの街の市民だ一つて誇りに思えるようなもので あってほしい。そういったことを、イベントやお祭りだけでは なく、空間で思い浮かべられるような市役所でありたいと思 います。そのために広場を提案しました。何かの手続きのた めだけに来るのではなくて、とにかくそこで時間を過ごせる。 はじめは図書コーナーを想定していたんですけど、予算の 都合でコンパクトになりました。でも結果的に大会議室とレ ストランが外に出ていて、広場は休日でもいろんなかたちで 使えます。
- ○工藤 | 広場では催しをやったりもできますね。
- 妹島 | 選挙の期日前投票や、いろんな展示にも使えます。 それから広場に屋根を架けてバス停にしたり。私も日立市の 出身ですが、日立市役所に女の子3人の彫刻が庭に置いて あって、それをずっと覚えていたんです。だから、日立に戻っ てきたら、ちょっとそこに行ってみたくなる。そんな空間にし たいと思っています。
- UDCO | 大宮でも新たな区役所の前にすごく大きな用地 がありまして、そういうところもいまどうするかを考えていま す。区役所に来た方が、大宮の街のイメージを形成できるよ うな場所になるといいですよね。
- ●妹島 特に氷川神社の参道がすごいですよね。
- 工藤 | 素晴らしいですよ。こんなロケーションの良い敷地 はなかなかないです。新たな区役所には開かれた図書館が 入っていて、氷川参道の緑に開き、外観は絹糸をまとったよ うに優しく光をカットします。
- 妹島 | 「自分たちが市民である | と、責任も権利も持ってい

発注者は ビジョンを はつきり 表明していい

るひとりであると思い出させるような空間をつくりたい。いま は以前のような大きな家族のあり方はなかなかないですが、 その代わりに、さまざまな別のつながりの人々と一緒に、自 分たちの暮らす場所をつくっていると思えたらいいなと思う。 ○ 工藤 | そうなるといいですね。

建築家は 関係性のつくり方を 空間で考える

○ UDCO | 市民がそれぞれに期待を抱く公共施設整備をも とにしたまちづくりのなかで、建築家の役割とはどのようなも のでしょうか。

● 妹島 | いろんな建築家がいて、いろいろな役割があると思 います。「すみだ北斎美術館 | (2016)の設計の時は、行政の 人といろいろ意見が合わなかったりしましたが、住民の人た ちととても良い関係を築けて、住民の方にいろいろサポート していただきました。「北斎通りまちづくりの会」の方たちは、 通りのことをずっと考えて整備したり、「美術館ができたら自 分たちの街は良くなる一つていうことをずっと言ってくれて。 建築家は、街と建物と広場とか、人と人とか、関係性のつくり 方について空間で考えるトレーニングを受けているので、そ うした能力を発揮できるのではと思います。いろんな人が関 わるから、当然コンフリクトも起こるんだけど、お互いを尊重 し合いながらどうやって一緒にやっていけるか。そういう調 整みたいなことも、建築家ができることではないかと思いま す。また、東日本大震災の被災地に公共の場をつくる「みん なの家」プロジェクトの一環として、宮城県に「宮戸島月浜の みんなの家」(2014)をつくりました。はじめは、島の人たち自 身が島のことを考えるのだから、私はその記録係に徹しよう と思ったんです。でも「建築の専門家の意見を聞きたくて呼 んでいるんだから、もっと意見を言ってくれ」と言われて。そ れから「みんなの家」を説明するのに、「みなさん、好きなよ うに使ってもらっていいんですよ」って言ったら、「大丈夫、み んな自分の家だと思ってそれぞれが使うからって。そう、ま さに自分たちのための公共空間というのは、そういう感じが 大事なんだと気づいたんです。使い手の立場から建築家に

意見しなくちゃいけないと思うと、身構えてしまうところもあ るかもしれない。でも、「金沢21世紀美術館」ですごく感じた のは、使うことからいろんな発見がされるということ。実際に 行ってみると「こんな使い方をされているのか」と本当にたく さんのことを学びます。

未来のための建物

- 工藤 | 先日、国土交通省の方とお話をした時、「発注者が 慣れていないと、なんでもかんでも設計者に押しつけてしま う。だから、いまは発注者の支援がテーマだ」っておっしゃっ ていました。
- 妹島 | そうですね。設計者 ひとりでは建築を建てられない ように、発注者が何かをやって ユーザーは住民という構図では なく一緒にやる。発注者はもっと はっきりとビジョンを表明してい いと思います。それから、私がい ま気になっていることは、東京駅 の周辺にはきれいなビルがいっ ぱい立っているけど、それらはプ ロダクトのように見えるというこ とです。

普段着と 晴れ着の メリハリを つける

○ <u>工藤</u> | 私は「カタログから選ん

でつくったような一つて言い方をしている。

- 妹島 | そうですね。 そして、カタログに載っていないものを つくろうとしたら値段は高くなる。
- 工藤 | 日本には職人の技術があるけれど、カタログから製 品を選んでいるから技術を活かしてつくるチャンスがなくなっ てしまった。
- 妹島 | 100年後の時代に何を残せるかというと、やっぱり カタログから選んだような建物ではないはずです。そうでは ないあり方が必要なのではないかと思います。
- 工藤 | 均一ではなく、コストにメリハリをつけていくことが 大事です。普段着もいいけど、たまには晴れ着もほしいよね。 「金沢21世紀美術館 | が金沢に多くの観光客を引き寄せて いる力って、やっぱりすごいと思います。

100年後の 時代に 何を残せるか



MAYUMI HOSODA

細田眞由美

×工藤和美 | UDCOセンター長

3つのG

- 工藤 | 細田先生は、さいたま市の教育長としてどのような ことにチャレンジしたいと思っていらっしゃいますか。
- 細田 | さいたま市は教育面では高い成果を上げている自 治体ですが、次の一手を考えています。それが「3つのGで 日本一の教育都市へ」というものです。3つのGの1つ目は グリット(Grit)、やり抜いていく力、非認知能力の育成です。2 つ目はグロース(Growth)、成長です。一人ひとり、一つひと つの学校や地域の成長をきちんと支えていこう。3つ目のG がグローバル(Global)、国際都市になるさいたま市を、名実 ともに支えていく人材育成。この3つのGにすべての施策を ぶら下げ、日本一の教育都市を目指します。
- 工藤 | 「日本一の教育都市 | と言っていただくことが大切 ですね。私は1960年生まれで、細田先生とほぼ同じ歳です が、私もひとりの親として、子育てをしながら学校づくりをして きました。はじめて設計を手掛けたのは、1995年に竣工した 千葉市の「打瀬小学校 | です。 当時、 幕張ベイタウンという 埋め立て地には小学校と中学校がひとつずつしかありませ んでしたが、その小学校に子どもを通わせたいために、周囲 のマンションがたくさん売れて、街が急成長していったので す。状況としては浦和美園に近いかもしれません。
- 細田 | そうですか。その学校に入れたくて、子育て世代が 移り住んでくる。まさにそういうことができる教育委員会であ りたいと思っています。
- 工藤 | そうですね。子どもたちは未来です。その未来が明 るくなかったら、その街には希望がないと思ってしまいますよ

- ね。子どもたちの中心は学校ですから、学校に携わる教育委 員会は、単に教育行政だけではなくて、まちづくりの中心を 担っているのだと思います。
- ●細田 かつて学校は文化の中心であって、学校に行けば最 先端の知識や文化がなんでも手に入るような場所でした。で すが、そうではない時期が長く続いてきたと思うんです。
- 工藤 | 高度成長期に増え続ける人口を受け入れるため に、どんどん学校をつくっていかなければならなかったわけ ですね。

学校はコミュニティの核

● 細田 | そのとおりです。ところが、今度は少子高齢化が進 むなかで、もう一度学校がコミュニティの核になるという期待 が高まっています。しかし、じつは日本中の全世帯のなかで、 お子さんがいる世帯は2割だけなんです。ということは、残り の8割の人にとって教育は自分ごとじゃないんですね。その 8割の人たちに、どうやって学校の応援団になってもらうか が、私に課せられた使命のひとつです。ひとつの中学校区に いる8割の方に、学校を文化の拠点として感じていただく学 校づくりや学校経営をしていきたいと思っています。

また、文部科学省が2017年3月に出した新学習指導要領で は、「社会に開かれた教育課程」という言い方をしています。 30年以上も学校教育に携わっていると、学習指導要領の改 訂はある種の年中行事ですが、今回告示された要領は、これ までとは全然違うんです。これまでの学習指導要領は、どの 学年でどの教科をどのくらい学ぶかを示すものだったのです が、今回は学び方にまで言及されている。そして、子どもた ちにどんな力をつけさせていくかは、学校だけじゃなくて地 域の人たち、社会と一緒に考えていかないといけない。22 世紀まで生きていく子どもたちがどんな力をつけていくべき かは、もはや学校だけで考えるような時代ではありません。 ですから、学校はもっと地域の期待を受けて、コミュニティの 核になるような存在でありたいと強く思います。

◎ エ藤 | そうした考え方が、最近ようやく全国に浸透してき たと思っています。1998年に4つの校区が統合された「福岡 市立博多小学校 | では、まとめるのがとても大変でした。福 岡市の真ん中で博多祇園山笠というお祭りがあって、もとも とその4つの校区が分かれて戦っていたんですね。いわば 敵対関係にある4つを一緒にしなければならなかった。さら に、寺町、商業町、問屋街などと、少しずつ文化も違っていま した。でも面白いのは、大宮と同じように街中の学校なので、 周囲には八百屋や病院、郵便局といろんなものがあって、街 中を歩くだけで社会科の勉強になるんです。それで、そのと き「学校はまち、まちは学校 | というキャッチフレーズをつくり ました。学校には給食室もあるし、保健室という病院も、図 書室という図書館もある。校長室は社長室と言えるかもしれ ない。だから学校は街そのものです。街に行けば学ぶものが いっぱいある。それで、象徴的なキャッチフレーズをどーんと 掲げたんです。

- ●細田 | すごくいいですね。
- 工藤 | そして「学校もまちになりましょう、まちも学校になり ましょう」と言って、学校と地域との関係性を説いたんです ね。子どもたちの登下校を見守るのも地域だし、地域の人た ちも学校に出掛けて子どもたちの教育に参加する。 新しい 学習指導要領も、まさにそういう意味合いが込められている のだと思います。
- ●細田|何年前のことですか。
- 工藤 | この経緯を書いた 「学校をつくろう! ―― 子どもの 心がはずむ空間』(TOTO出版)という本を2004年に出してい ますが、「博多小学校 | は2001年に竣工しています。
- 細田 | いまから20年近く前でしょう。 すごい先見性があり ますね。
- ◎ 工藤 | 1998年にキャッチフレーズをつくって、地域の人た ちに一生懸命説いて回りました。そして、いまやっと「地域と ともにある学校」ということが、新学習指導要領に入りました ね。細田先生がさきほどおっしゃったように、明治、大正時代 では学校はコミュニティの核で、街中で一番立派な建物だっ たわけです。「博多小学校」の建て替えの時も、既存の校舎 には木がふんだんに使われていたり、立派な学校だったん ですね。人口の増加でコンクリート標準設計になったけれど、 築50年で建て替えをする時期に、同じ轍を踏んではいけま せん。かつてのよき時代のように、学校には文化の中心とし て地域のコミュニケーションの核になれる素養がいっぱいあ るはずですね。こういうことは、たとえば小さな町村に1校 だったらすぐに取り掛かれる。ぜひ、さいたま市のような大都 市が、大きく踏み込んで実現してほしいと思います。
- ●細田 | そうですよね。
- ◎ 工藤 | これは大都市ではみんなが避けてきたことなんです ね。でも、もう避けては通れない。子どもたちも減って、おっ しゃるように2割の世帯が8割を支える時代に突入している わけだから、みんなで温かく、2割の子ども世帯を守らないと いけない。
- 細田 | 教育が自分ごとではない8割の人たちが、教育がま ちづくりの中心である、と思ってくだされば、じつはその人た ちにストレートに還元されるんですよ。子どもたちが、私たち の未来社会を創っていく担い手ですから。だから、ぜひみな さんに学校の応援団になっていただきたいなと思います。そ れから、学校が持つ社会的役割のひとつに、災害時の地域 の避難所という側面があります。ですから、学校には高い安 全性を求められます。子どもたちだけじゃなくて、ご高齢の方 も含め、地域みんなにとってのバリアフリーについても、きち んと意識を持たなくてはいけません。いま、さいたま市には 小学校103、中学57、高校が4、特別支援学校が2、幼稚園 が1あるんです(2018年1月現在)。そのほぼ全校が避難所に指 定されていますから、本当にそういう機能が必要です。
- 工藤 | その意味でも、常日頃から人々が集えるような学校 がいいですね。でも、じつは学校が避難施設の役割を担うの

は日本の特殊な状況なのです。

- ●細田 そうなんですか。
- 工藤 | だから、「日本の先生たちは大変ね |ってよく海外の 先生から言われます。日本には地震が多いという側面もある けれど、海外では考えられないそうです。先生が教育ではな く、避難所の世話や対応を率先的に行っている写真とか映像 を見て、海外の学校の先生たちはとても驚きます。
- 細田 | 日本の教育は 守備範囲がすごく広い ですから、避難所のお 世話のみならず、海外 の学校が担うことの何 倍もの役割をこなして います。教頭先生が芝 刈りをしたり、教室の雨 漏りを直しちゃったり。 そういったところにア クティブシニアがどん どん参加していただけ ればどんなに助かるか。

3つのGで 育都市を

「チーム学校」という考え方を、みなさんと共有していきた いですね。

- 工藤 しかも、それが地域の人の生きがいにもなりますね。 その受け皿として、学校に他者が入ることも受け入れていか なければならないですよね。
- 細田 | そうですね。 それがいま、コミュニティ・スクールとい うかたちで実現しつつありますが、さいたま市ではゼロなん です。私が2017年6月に教育長に就任して、事務局の職員 にまず第一声、「いままでコミュニティ・スクールは自治体が やるかやらないかを決めていたけれど、いまは違う。必ずや らなくてはいけない。私はすぐやります」という話をしたんで すけど。
- 工藤 | やっぱり皆さん、初めてのことにはちょっと……。
- ●細田 | そう、怖がるんですよ。
- 工藤 | でも、それによって学校が抱えてきたさまざまな問 題に、地域の人が協力してくれたりする。たとえば、学校の 隣にある神社の大きな木から、葉っぱや枝がいっぱいグラウ ンドに落ちてくる。でも「神社に直接言うのははばかられるな あって悩んでいた学校がありました。そうしたら、地域の人 が「うちは総代だから、ちゃんと話をしてあげるよ」と言ってコ ミュニケーションをつないでくれたりしました。地域が協力し て清掃したのです。



●細田 | それで、あっという間にいろんなことが解決する。

○ 工藤 | そうすると、責任も持ってくださるんですよね。コミュティ・スクールになってその委員になることは、責任を持って学校づくりに参加するってことなので。

● 細田 | そこで、私はまず、地域の方がどんなことを考えているのか、アセスメント(事前評価、査定)から始めようと思っています。ある自治体ではコミュニティ・スクールを一気に進めたところ、学校が考えていることと地域が考えていることが、じつは同床異夢だったりすることがありました。そうしたボタンの掛け違いにならないように、きちんとアセスメントをして、地域が学校に何を期待して、どんな力になろうと思っているのかをちゃんと把握しようとしています。

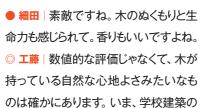
校舎の心地よさで学びが進む

○ 工藤 | ところで、学校建築のあり方についてもお話ししたいと思います。平成22年施行の公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律で、学校建築が木造化に一気にシフトしました。私の最新作に、宮城県の「東松島市立宮野



森小学校」(2016)があります。東日本大震災で津波に流されてしまったエリアの学校を高台移転した木造の小さな学校です。私たちが忘れていた、本当の木造校舎のよさを実現したいと思いました。これはバウムルームといって、丸太を仕上げにしているんです。ですからコンクリートの校舎でも、こういうふうに丸太輪切りを内装に張りつけると、それだけで楽しい気持ちになります。

● 細田 | そうですね。私、これを見ているだけで楽しい気持ちになりますもの。 ◎ 工藤 | さいたま市内の全学校でやろうと思ったらできちゃいます。内装を木質化するたけでも、本当に気持ちが変わるんですね。



キーワードに「心地よさ」という言葉をもうひとつ入れていこうとも言われています。

● 網田 | 子どもたちが学校に行って落ち着いたり、心地よく 感じたりできると、きっと学びも進みますよ。 本当にそう思 います。

○ 工藤 | 福井県の「坂井市立丸岡南中学校」(2006)の設計を しましたが、この学校はもともと1,000人規模の中学校でした。生徒に火をつけられちゃうくらい荒れていて、町長の公 約で新設分離することになったそうです。私は新しい校舎の 設計者として、校長先生たちと打ち合わせをすると、「蹴られても穴が開かない壁にしてくださいね」っていうことを本気で言われたんですね。ところが、教科ごとに専用の教室がある教科センター方式の学校に変わって校舎も快適になって、信じられないくらいに生徒が変わったんです。さらに先生方の提案で1、2、3年生を縦割りにする。授業ごとに教室をぐるぐる回るので、全学年が混ざるわけですね。そうしたら、生徒が本当に落ち着いて。

● 細田 | 福井県は学力・学習状況調査では全国でも上位ですよね。

○ 工藤 | その学校は県内でも上位の学力になったと聞ききました。校舎が変わることで、生徒も変わるんです。施設の教育力はすごいですね。最初の校長先生が赴任されて、しばらく経ってから「なにか困ってることはありますか」って聞いたんですね。そうしたら神妙な顔をされて「生徒が帰らない」と。

●細田 | 居心地がいいから?

○ 工藤 | 「生徒が帰らんのですよ。校内放送で帰れと言って も帰らない。これが最大の問題です」ってにっこりしながら言 われて。

●細田 でも私、それが理想なんですよ。

○ 工藤 | それに「学校をもっと早く開けてください」って言われて。昇降口に入ったらみんな図書館に行くんです。図書館にみんなたまるから、司書の人がいろんな人間関係を知っている。「あの子とあの子がカップルでね」「いま、あそこがけんかしてる」とか。生徒の悩み相談をしているから、不登校児がいなくなったそうなんです。

学習できる 心地よい場所をつくる

○ 工藤 | やっぱり学校は大切です。もともと荒れていた学校は、生徒数の増加で増築を重ねて、私たちが見てもかわいそうな校舎に生徒を押し込めていた。だから荒れてしまったんでしょうね。でもいい器に行くと、みんな変わります。本当にそうなんです。いま新しい大宮区役所を設計していますが、図書館も入っています。

●細田 | そうなんですよね。素敵です。

○工藤 | 私は、大宮の氷川参道はひとつの文化軸だと思っています。歴史的な文化をもっている氷川さんと、新しい文化を持ってくるさいたま新都心の間に図書館ができることで、それらがつながってくる。だから私は参道沿いに、もうひとつの文化ができると思っています。

●細田 | そのとおりですね。

○ 工藤 | いままで歩いて新都心に行くという考えはあまりなかったと思いますが、そこに図書館や区役所ができることでみんなの行き場所ができる。

● 細田 | そうですね。ここにまた博物館といった文化機能が 入ります。

○ 工藤 | いま、高校生って家の外で勉強したいと思っている。

んです。図書館じゃなくても、公共施設の座れる場所でみんな勉強しているんですよ。大人に近づいていく高校生たちが、そこで自分の将来を見つめて、しっかり学んでいく場所をたくさんつくってあげることも、本当に大切です。

● 細田 | 私は高校に勤めていたのでよく分かります。図書館の個人ブースを高校生たちが奪い合うんですよ。もうすごいですよ。休日なんかは開館から閉館まで、ずっといます。

○ 工藤 | 高校生の健全な行き場所として、学習する場所はとても大切だと思います。たとえば公共施設のホールやロビーを解放したら、ものすごく心地よい学習の場所になるはずですね。私は大学に勤めているので、学生に「どこで受験勉強した?」と聞くと、みんな集中できないから家の中では勉強しないと言うんです。

● 細田 | 家で勉強するタイプの子は、小さい時から勉強できる環境が家の中にありますが、普通のご家庭で育っている子たちは、とにかく居心地のいい集中できる場所を探しています。私が大宮北高校に着任した時に、校内を見渡したら、集中して勉強できる場所がないということに気づき、大きな書庫を自習室につくり変えたんです。明るいキャレルデスクを置いてガラス張りにしたら、いつも満席です。

○ 工藤 | やっぱり。私は子どもたちを信じているタイプなので、大人たちがもっとそういう場をつくってあげたい。場を与えるのはわれわれ大人たちの仕事ですよね。その意味で、大宮のあり方も同じです。どうしても大宮駅の東口は歓楽街としてのイメージが強いのですが、ちょっと先に行くと、ものすごくいい場所があります。

●細田 | 落ち着いたいい住宅地ですよね。

○ 工藤 | そうですね。だから、学びや文化と歓楽街の両面性を持ったエリアとしての位置づけをしっかり持たせたいと思います。

●細田|氷川参道に開いた図書館は、本当に楽しみです。

あらゆるタイプの学びを 提供する

○ 工藤 | 細田先生は、さいたま市の教育についてどのような 方針で取り組まれているのでしょうか。

● 細田 | 人口129万人の政令指定都市として、あらゆるタイプの学びを提供したいと思っています。他の自治体だと小中学校だけとか、県では高校や特別支援学校だけですが、さいたま市の強みは特別支援学校を含めて小中高校の12年間という、人生で最も凝縮した成長期の中で連続性をもった教育ができることです。そのすべての学びに、市民がアプローチできます。たとえば市立浦和高校と市立浦和中学校だと、併設型の中高一貫校ですね。浦和南高校は地域密着型の進学校で、私が4年間勤めた大宮北高校は理数科を持っている学校です。そしてもうひとつ、真打は大宮西高校を中等教育学校にすることです。それもバカロレア校(国際バカロレア機構が提供する国際的な教育プログラム)に。

○ 工藤 | バカロレアに■ 工藤するんですか。■ 工藤

● 細田 | はい。ですから、129万人の市民たちが、どんなタイプの学校でも学べること。それがコンセプトです。

学校は街そのもの

○ 工藤 | なるほど。100万人をちょっと超えている規模だから こそできることですね。

● 網田 | 何かをぐっと前に進めて、トレンディなところに食いついていくのに、ちょうどいいサイズなんです。その意味で、さいたま市はポテンシャルが高い。じつはさいたま市は政令指定都市で学力ナンバーワンなんですよ。

○ 工藤 | 素晴らしいじゃないですか。

● 網田 | ですから、子どもたちの基礎学力もすごく高い。だから新しいチャレンジをすると、子どもたちがしっかり応えてくれる。 本当に面白い自治体だと思います。

○工藤|ぜひそこに力を注いでいただきたいと思っています。

● 細田 | がんばります。

新しい英語教育

● 細田 じっさい、いろんな部分でさいたま市は日本一なんです。たとえば、グローバル・スタディという教育特区で、小学校1年生から全員に英語を教科化し、文部科学省からお墨つきをもらいました。他には全国のどこでもやっていません。

○工藤 | 小学校1年生からですか。

● 細田 はい、ネイティブスピーカーとチーム・ティーチングを導入しています。

○ 工藤 | 小学校の頃からネイティブスピーカーの発音に慣れた大学生は、「あの人、帰国子女?」って思うくらい、発音が違いますよね。耳から入る初等教育は「鉄は熱いうちに打て」ですね。でも、私自身の体験からも言えることですが、世界に出ると、自分がいかに日本のことを知らないかにショックを受けるんです。

● 細田 | そうなんです。私は最初に日本ではなくアメリカの大学に入りました。19歳の誕生日に友人たちがなけなしのお金を集めて、歌舞伎のサンフランシスコ公演のチケットをプレゼントしてくれたんです。「きっと眞由美は歌舞伎が懐かしいだろうから」って。じつは私、生まれて初めてアメリカで歌舞伎を見たんです。そのときに日本のことを何も知らない自分に愕然としました。英語ができるようになっても語れることがないじゃん、って。

○ 工藤 | そうだったんですね。氷川参道がさいたま市にとっての文化や歴史の宿として、学びにつながっていけばいいなと思います。小さい時から伝統文化や日本の歴史を学ぶ、ひとつの具体的なチャンスとして捉えて、そういう人を育ててほしいなと思います。やっぱりグローバルと日本の伝統文化をペアリングすることが大事ですね。

The second secon

YUJI NEMOTO

よい提案が 生まれる 仕組みと プロセスの つくり方

根本祐二

×藤村龍至 | UDCO副センター長

東洋大学教授

民間企業の声を聞く

◎ 藤村 | 根本先生は2010年から3年間さいたま市の公共施 設マネジメントに関っておられました。まず2010年10月に「さ いたま市公共施設マネジメント方針 | が発表され、2012年6 月に「さいたま市公共施設マネジメント計画(方針編)」、2014年 3月に「さいたま市公共施設マネジメント計画・第1次アクショ ンプラン」が順次発表されています。現在の大宮ではその後 の動きが強くなってきていると感じます。なかでも、大宮駅が 国土レベルの計画のなかで東日本を東京の手前で受け止め る「東日本の対流拠点」と位置づけられて、大宮駅を品川駅と 同等の扱いをしようという動きがあります。そのような国の位 置づけを受けて、市としては都市再開発の機運を高めるひと つの起爆剤として、公共施設の再編を考えているようです。 ただ、大宮駅東口の再開発は過去に一度頓挫した経緯があ ります。そこに改めて再開発が行われようとしています。具体 的には、駅前にある4つほどの再開発地区のあり方、駅と駅 前の関係、駅前広場のあり方などで話し合いが始まっていま

す。大きな人工地盤を架けたらどうかとか、バスターミナルを 再編してはどうかとか、大きな公共投資を促すような話もあり ます。公共施設再編としては、工藤和美さんが設計を進めて いる大宮区役所の移転が3年後にあり、そこをきっかけに再 編を連鎖的に行っていくようです。このように、約50年ぶり に大宮駅東口が公共的にも民間的にも大きく投資をされよう としている現状です。

公共投資については、公共施設マネジメント方針として公共施設の延床面積15%削減とか、新規公共施設の禁止などの大きな原則があるなかで、大宮の戦略的投資をどうしていったらよいかという課題があると考えています。他方で開発側や民間企業の方々と話していると、市が思い描いているほど民間の開発意欲が高くないんですね。そこで、大宮に対する開発意欲をどう引き出していくかを工夫していきたいと考えています。そのためにも、大宮に対する公共や民間の投資の組み立て方をどうしていくべきか、先生にご意見をお聞きしたいと思います。

● 根本 さいたま市全体としては複数の拠点があり、そのひ

とつに大宮があると思います。それぞれの拠点に役割がある し、拠点同士の関係もあるでしょう。この場所が大事だと言う とき、他と比べてどう大事なのか、性格づけが現時点であまり 見えていない。民間側から見ても、市が大宮の駅前地区に集 中的に資源を投下し続けられるのか疑問をもっているはずで す。いまは大宮が大事だと言われても、今後市の財政が厳しく なった時に、他も大事なので大宮だけに集中できませんといっ たことが、他地域のまちづくりでは往々にして起きています。 ですから、大宮に集中投資をして大丈夫なのか、そのエビデ ンスをしっかり示していく必要がある。これは市民に対しても 同じです。納税者から見て本当に必然性があるのかを伝え なければならない。市が策定した公共施設等総合管理計画 の話をすると、さいたま市では、公共施設の延床面積平均 15%削減するという目標がありますが、なぜそれが可能かと いう理由について、「民間が投資しやすい状況ができている からこそ、あえて公共の負担を下げるんだしとか、「市の資金 を拠点以外に回すために、民間が活動しやすい環境を整え る地区なんだ」などと説明すれば市民や民間も理解できま す。逆に、大宮に市民のお金を集中投入すると言われると、 たぶんそれでは持続できない。途中で息切れしそうに思えて しまう。市全体がいま、さいたま市公共施設マネジメント計画 を通じて考えていることとの整合性をしっかり示してほしい。 あとは民間企業の関わり方ですね。彼らは需要に対して提案 しますから、民間が住宅をつくりたいと言うならば、すなわち 住民にとって一番必要なものが住宅だということです。市民 会館や博物館よりも住宅が必要だということかもしれないで すよね。このように、市民に聞くのと同じぐらい民間にしっか り聞いていく必要があると思います。パブリックミーティング と同じように、特定の企業だけでなく、より多くの企業に参加 してもらえるようなプロセスを踏むべきです。民間企業と市民

の意向はかなり食い違う可能性が高い。でもそれは往々にし

て民間企業のほうが全体を見渡しているからです。

パブリックミーティングについて申し上げると、本当に納税者 全体の意見を代表している人に参加してもらう必要がある。 利用者側の人の意見は、ニーズは分かるけど、財源とのマッ チングをしつかり考えているのかどうかが課題だと思います。 現在、岩手県紫波町が駅前に集中投資をしています。駅前の なにもない場所に役場を移転して新たに図書館を建てるな ど、かなり偏った投資をしています。どのようにこの偏りの合 意形成をしたかというと、駅前周辺だけではなく全町で説明 会を個別に開いたんですね。100回以上開いたそうで、本当 に全町民が参加できるプロセスを踏んだのです。もちろん、 さいたま市と紫波町では人口規模が違い過ぎるので、同じよ うにはできませんが、一部の人の意見だけを反映するとどう しても肥大化してバブル期のような発想になってしまう。そう いう懸念がありますね。

意見と提案を引き出す仕組み

○ 藤村 さいたま市は合併してから10年くらいのあいだ、浦和地区にずっと投資をしてきました。浦和駅の高架化や駅前広場の築造、さらに再開発もした。大宮の人にとっては、さいたま市のこれまでの公共投資は浦和に偏ってきたという気持ちがあると思います。最近それらもひと段落し、さいたま市合併以後最大級の予算を組んで大宮に集中投資していきますと大体的に宣言がなされました。

民間の需要については、さいたま市全体でマンション需要は かなりあるんです。埼玉県全体では、さいたま市までが都内 通勤率40%ぐらいで、離れていくにつれて目に見えてその パーセンテージは下がっていきます。当然、大宮駅の周辺も マンションの需要は非常に高い。しかし、放っておくと住宅 投資ばかりになってしまい、武蔵浦和や武蔵小杉のようにタ ワーマンションばかりが林立するようになってしまうかもしれ ません。現在、想定されている大宮駅周辺の再開発用地は 30万m²くらいあります。イメージとしては、10万m²が住宅、 10万m²が業務、10万m²は商業くらいではないかと想像して います。ただ、住宅がこの駅前に集積することが、広域的・長 期的に見て最適かどうかについては議論が分かれるところ ではないかと思います。開発業者によれば、さいたま市はイ メージもよく、駅前なので、分譲住宅は確実に売れるそうで す。問題は業務がちゃんと来てくれるかどうかなんです。広 域対流拠点をつくるためにはたくさんのオフィスに入ってほ しいのですが、本社ではなく支店が多く入る予想がされてい て、すると都心のオフィスビルに比べて100倍くらい営業しな いと埋まらないことになってしまう。そういう議論が当面のあ いだ、必要になると思っています。

私たちは、そうした状況のなかに公共投資のあり方を位置づけたいと考えています。決して高くはない民間事業者の大宮への投資意欲をどう公共事業のなかで引き出していくのか。 民間事業者が出てくるプロセスは、どのようにデザインした らいいのでしょうか。

● 根本 | 意見の聞き方としては、開放型と閉鎖型を併用する ことです。まずは開放型をやらないと、民間の意見をしっかり 反映したことにならない。さいたま市の場合には提案型公共 サービス公民連携制度があるので、それを使う手もあります。 「大宮で今度こういうことをやるので、何か提案はありません かしと公募します。透明性をきちんと確保して、正式なプロセ スを踏むことが重要です。提案制度だと直に事業提案ができ るので、本当に意欲のある事業者はそこから抽出できます。 提案制度を使わない場合は、開放型である程度絞ってから閉 鎖型に移行することも可能です。最初から開示していれば競 争性は確保できるので問題はありません。大事なのはプロセ スを明示して、必ず誰でも参加できる状態にしておくことです。 ただ、提案型公共サービス公民連携制度はこれまでの実績 もあるのですが、現状は次々に案件が出てくる状況にはあ りません。たとえば、市が不要な土地を貸すだけでは民間に とっても不要なので、要するに魅力がない。今後はもう少し 包括的、たとえば施設が30年以上経過している老朽化施設 の場合は、その土地はすべて提案可能にするという条件で 公募してもいいんじゃないかと思います。そうすると、個別施 設の計画を策定する前のビジョン段階で開示して意見をもら うことができることになります。さいたま市の提案制度は、日

■ 根本

誰もが参加できる。 プロセス





本で一番機能している提案制度として注目されているものであり、それを使わない手はないと思いますよ。

- 藤村 | 提案制度を機能させるポイントとしては、やっぱりインセンティブ(動機づけ)の設定が重要というイメージでしょうか。
- 根本 | 提案制度自体がインセンティブを持っているので、わざわざつくる必要はありません。通常のサウンディング(民間事業者から意見を集め対話すること)だと、ただ意見を聞くだけなんですよ。横浜市のケースでいいものもありますが、多くは他にある提案を持ってくるだけになってきてしまう。そういう意味では、提案型の実績を踏まえてインセンティブつきでやること自体が初の試みなので、民間から見るとインセンティブはありがたいので、提案したくなるんじゃないかな。そのときに、民間が住宅だけの提案を持ってきてもだめという条件をつければいいんですよ。
- 藤村 | それは最初に提示するこちらのリクエストに明記するということですか。
- 根本 | 「住宅単独の提案は不可」と入れたほうがいいと思いますが、少しでも他の機能が入ればいいわけでもないので、評価で分けるしかないでしょう。多様性、多世代、異業種、多国籍といったキーワードを入れておけばおのずとそうなると思います。 最終的にまちづくり全体が多機能であればいいので、個々の施設は単機能かもしれない。 提案者がおいしいところだけをやるのではなくて、たとえば民間学童やカフェを組み合わせた提案を誘導するとかですね。

大宮は稼ぐ場所

- 根本 | 費用まで含めた検討の経緯が開示されていくと議論がしやすいですよね。市民との対話もそうですが、いくらでも予算が使えるという前提は議論できない。予算制約があるからはじめて、どれを優先させて、どれを優先させないかという本音の議論ができるようになります。民間事業者は予算制約が必ずあると想定しているので、市としての優先順位は当然知りたいはずです。それを前提に、最終的に持続可能な提案をすることが必要じゃないかな。
- 藤村 | 東洋大学で行った「大宮東ロプロジェクト2015」では、現在の大宮区役所と大宮小学校の敷地に民間投資も引き出して新たに施設を建設する場合、総事業費がどれくらい違うとどれくらい経済波及効果が違うかとか、現行の学校を残した場合は1.5億円ほどの税金投入が必要だとか、あるいはコンベンション施設など別の機能であればその部分の床面積の違いによってどんな収益や経済波及効果が望めるといった試算結果を出しました。なぜコンベンション施設だったかというと、「さいたまスーパーアリーナ」と「大宮ソニックシティ」のイベントの開催実績を見ると、稼働率が9割を超えていたからです。選択肢を示すというのはこういう議論ですよね。ただ、このような事例も含めて、新規事業に対する公共投資をどれくらいすべきかの合意形成は難しいですね。納税者にと

アリングすれば、恐らく新しい公共施設にそんな投資してくれるなという人も多いでしょう。一方で都市経営的視点に立って大宮の拠点性を高めていく戦略からすると、既存のコンベンション施設の稼働率が9割超えているし、大きな箱をもう一個持ちたいと考えても不思議ではない。この合意形成の取り方について何かアドバイスをいただけないでしょうか。

● 根本 | いまの事例はすごくいいですね。もちろん投資の説 明は必要ですが、数字を示すことはより重要です。持続可能 な計画にするためにはニーズの肥大化を防ぐメカニズムを持 たないといけない。予算情報や経済波及効果をしっかり示し ていくことは、市民にとっても本来必要なことだし、それを前 提に考えた市民の意見は尊重されるべきです。それに、具体 的な数字が出てくると興味のなかった人も耳を傾けてくれる。 他人事ではなく、自分が払っている税金がどこに使われるか。 その優先順位の話だと理解してもらう必要があると思います。 現在の状況では、説明する立場である市のスタンスがちょっ と不明瞭です。大宮が稼ぎ場所で、大宮で稼ぐことでさいた ま市民全体の負担を減らすつもりで投資を進めるのならば、 話の見え方はまったく異なりますよね。私からの提案は、大 宮を稼ぎ場所として位置づけるということです。そうすること で、全市民の負担をむしろ減らす方向に持っていきたい。公 共施設に集中投資するけれども、民間投資をどんどん促して いくことによって官の負担を将来的には減らすことをコンセ プトとすべきでしょう。

さいたま市のなかの役割分担

- 藤村 別の地域で稼ぐ場所としての民間投資が成功した 例はありますか。
- 根本 | 「稼ぐ場所」という言い方はしていませんが、富山市は結果的にはそうですよね。コンパクトシティという文脈で、交通機関だけではなくホールや博物館まで新しく建てて、ものすごくお金をかけている。それでもいいと言われるのは、市の格を上げて人を集めて、みんなこの中に入ってきましょうというコンセプトがはっきりしているから。大宮の場合は、さいたま市の中の地区別の役割分担をしっかりと見せないといけない。浦和と大宮に鉄道系の拠点をつくるのであれば、その他の場所とはまったく違うまちづくりをやる覚悟が市にあるかどうかです。
- 藤村 | なるほど。しかし、さいたま新都心は少し違う枠組みかもしれませんね。
- 根本 | さいたま新都心は市も投資するけど国がもっぱらやる話ですから、ちょっと毛色が違いますよね。それに乗っかって一緒にやるのはいいと思いますよ。
- 藤村 | もともと、さいたま新都心は国の施策である都市再生特別措置法に規定される「都市再生緊急整備地域」に入っていたのですが、2017年8月に新たに大宮駅周辺地区も同地域に位置づけられました。大宮は新幹線が止まるし、既成市街地の再開発も動くなら、さいたま新都心より大宮駅周辺

のほうがポテンシャルが高くなるはずです。

- 根本 | 新幹線という得難い競争力持っている地区を拠点にしないのはおかしい。まっとうな判断が下されただけです。 だからそれに乗っかってやりましょうとなるはずですよ。
- ○藤村 はかの同規模の都市と比較した場合、大宮のポテンシャルはどう評価できるでしょうか。たとえば福岡は天神と博多で複数拠点があって、天神は中心市街地の航空法の緩和で建て替えを創出していたり、神戸市も震災復興がようやく落ち着いて、三宮の拠点の投資をもう一度やり直す動きがあります。
- 根本 | さいたま市は首都圏ですから、少し話が違うかな。 大宮にもし新幹線がなかったとしたら、民間にとってはあまり発展性がないですよね。ただし、新幹線はJR東日本次第だし、そこに運命共同体として乗っかってしまっていいのか……。品川と並ぶ拠点と言われても、「本気か?」と思います。 新幹線の要素を外すと結構しんどいです。やはり大宮は東京駅からけっこう遠いですよね。

◎ 藤村 | そうですね。

- 根本 | 大宮まで行って新幹線に乗るのは、東京南部や千葉や神奈川の住民から見ると甚だ不便なので、たとえ大宮発が増発されても、不便な移動をしてまで大宮駅で降りる魅力をつくらないといけない。東京から来る人が大宮で仕事や遊びをして新幹線に乗るとか、あるいは東北から来る人たちが東京まで来ないで大宮で遊ぶとか。
- 藤村 いま「大宮駅グランドセントラルステーション化構想」という、駅と駅周辺の再開発の構想を組み立てる議論が行われていますが、都市機能を広域的に見ると今回の市の公共施設再編と相互に補完し合う関係になりそうです。

広域的な視点で位置づける

- 根本 | 最近、新横浜に行っていませんが、大宮と似ているのでしょうか。
- 藤村 | 新横浜駅は東京駅から2駅で「新横浜プリンスホテル」や「横浜アリーナ」といったコンベンション施設が中心にあるところは似ていますが、大宮のほうが北関東や東北、北陸などの後背地が大きいことが比較的優位だという意見もあります。市も経済局主導で東日本の交流拠点として、たとえば仙台市や新潟市、高崎市との交流や連携を進めようとしています。
- 根本 本社を誘致するのは無理なので、もう少し特殊なものを考えた方がいいですね。東京に近くないといけないけど、大きなスペースが必要で家賃が安くないといけないような事業者を、しっかりターゲティングして誘致していくことが必要です。そういうことをやる部隊とタイアップしていかないといけないでしょうね。
- 藤村 よく言われるのは、営業拠点として車をたくさん持っている会社が、都内は駐車場も高いし、東京北部やさいたま市周辺の営業拠点としては大宮がいいという話です。あとは

北関東に製造業が都内から進出していて、その製造拠点と首都圏の営業拠点を中継するには大宮がちょうどいいとか。ただ、市として、それを開発と絡めて大々的にセールスしているのかはまだ分かりません。われわれも、経済系の部局がどう動いているかをもっと知っておいたほうがいいのかもしれませんね。

● UDCO 埼玉県、さいたま市ともに、本社機能の誘致は昔から掲げてきたことで、地方都市のなかでは成功しているほうだとは思います。さいたま新都心は大きい床をアピールできていましたが、大宮駅周辺ではオフィスビルが少し小ぶりだし、やや駅から離れたところにあるので、そのPRの仕方が問題ですね。

◎ 藤村 | そうですね。

- UDCO | あとは都心での売り上げと地方都市での売り上げが同じくらいの比重の企業ですね。やや安価なアパレル関係の会社などは、地方都市の空気感と都心での流行と両方敏感に反応しなければならないときに、ある程度の床面積を構えるには大宮がいいという話も出てきています。
- 根本 | 業務核都市はみんな考えていることなので、どう差別化していくのか、戦略が分かりやすいかどうかがポイントですね。契機として北関東の拠点は非常にいいと思います。その次に北関東の拠点とは具体的に何か、そのイメージを共有したほうがいいでしょうね。
- 藤村 | 首都圏広域地方計画の流れを見ていると、業務核都市のなかでの大宮の立ち位置は、以前は立川や町田、柏

と同等でしたが、最近は 高まる一方で、交通結 節点としては品川と同じ くらいにまでなってきて います。国の国土計画の なかでの位置づけはど んどん大きくなっている んですよ。

根本 あとは市場が どう反応するかですね。たとえば、浦和が市民 のための拠点、大宮は もうちょっと広域的な拠

大宮で稼ぎ 市民全体の 負担を 減らす

点、新都心は国全体の分散拠点というように、位置づけを 異なるものにすれば、拠点間で競争せずそれぞれが得意な ことをやるようになる。そう考えると、今回再編する公共施 設群は大宮区民のための施設なので、大宮という街全体が これから目指すべき方向と必ずしも一致していないんですよ ね。むしろ、東北や北関東の市場向けに何が必要かという視 点が必要です。

○ UDCO | 中身のプログラムですよね。

● 根本 | 公民館もインキュベーターみたいにして、市民起業家がたくさん出てくるようなものにするとか。図書館も情報拠点になっていくとかね。

NYOSUKE KAMIKAWA



KYOSUKE KAMIKAWA

都市マーケグ戦略

神河恭介

×橘昌邦 UDCOコーディネーター

POD代表

マーケティングの発想で世界に売り込む

● 神河 | 東京都市圏に隣接、内包されている大宮のまちづく りでは、都市間競争のなかで「都市マーケティング戦略」と いう発想を持たなければなりません。開発事業者や拠点を 検討している大企業にヒアリングなどを行う際も、都市を売 り込みに行く覚悟が重要です。大宮は、世界最大の経済圏で もある3,000万人の東京都市圏でもあり、また、政令指定都 市の新幹線が止まる駅であるため、投資家の興味も持たせ ることは十分可能です。ですから、戦略的に考えたほうがい い。大宮という都市をどうやって世界に売り込むか、という 発想をもつべきです。大宮にとって、今後重要となるマーケ ティング上のターゲットは、本社などの中枢拠点を構えてくれ る企業です。現在も自動車部品メーカーの「カルソニックカン セイ |、ヘルメットメーカーの「アライヘルメット | など、世界的 な企業が大宮に本社を構えていますよね。衣料品販売の「し まむら」もあります。都心型と地方型のマーケティングをセッ トにできる場所として、大宮は非常にいい立地なんですよ。 いま都市間競争では、工場だけではなく本社などのイノベー ション産業の拠点の奪い合いです。ですから、大宮としてど んな会社の拠点に来てもらいたいのかしっかり考えたほうがいい。すでに埼玉県とさいたま市は実績を出しているので、 自信を持って推し進めることが重要です。

- 橋 しかし、どうしてもセクショナリズムの壁があります。 せっかく市が企業誘致の施策を打ち出しても、それが他の部 門にあまり知られていないことや、ハードと連動してないのは もったいないですね。
- 神河 |都市計画部門がそのことを知らないということが起 きてしまいますよね。とにかく、公共施設も都市マーケティン グの目線で、施設が誘致している企業やそこに勤める人たち にとってもどんな役割になるのか、その結果、都市にどんな 貢献をするのかを真剣に考えたほうがいいと思う。あと、対 流拠点の実現そのものはゴールではありません。それは途中 の目標のひとつでしかなくて、絶対に目的にしてはいけない。 人はたくさん対流したけど、まったくお金が落ちませんでし た、人も産業も育ちませんでした、ということになりかねない からです。都市間競争のなかで、その場所に産業をつくるの は、新しい価値をつくることです。輸出でも内部消費でもい いですが、少なくとも大宮にある財布が他の場所で消費され ることを防げるような価値をつくらないと。本社が東京にある 商業施設などが増えても、表面上の賑わいしかつくっていな いことになりかねない。税金も落ちず、優秀な人材や有効な ネットワークも育たないままになりがちです。それと、市民参 加で全体方針を共有する必要があります。「公共施設再編に よる連鎖型まちづくり」のいいところは、時間をかけて徐々に やってくことですから、反省を生かしながら進めていけると思 うんですよね。あと、今回の再編による公共施設の各跡地の ポテンシャルは、周りの住宅地とセットでないと伸びが弱い。 特に商業施設の成長には、周辺エリアの住宅とオフィスの環 境のよさが前提です。大宮の本社などの拠点に勤める人たち にとって暮らしやすい、働きやすい街にしていくこと。市とし て職住近接のよさをつくりあげていくことが重要です。

私が素晴らしいなと思ったのは、大宮の大門町2丁目の再開発では、公開空地ではない空地があることなんですよ。そこでは民間の創意工夫で収益も賑わいもつくれる。東京都の「東京のしゃれた街並みづくり推進条例」で緩和されている

■ 袖河

大宮を どうやって 世界に 売り込むか

ことと同じことが埼玉県でもできるんです。たとえば、企業による新製品などのイベントも市民が多く通る路上に面した空間でできるわけです。そうなると、建物上部にある市民ホールなどの公共施設と連動させるなど、企業の利用ニーズも増えると思います。先行する国内外の都市では、そのような連動させる使い方をどんどん推し進めてます。大宮でもそのような手法を真剣に考えることが今後は重要になります。

ターゲットを明確にする

- ●神河 | それと、あまり認知されていないのですが、じつは ホテルの宿泊マーケットよりも、ママ友会とか「女子会マー ケット」のほうが、規模が大きいんですよ。居住人口が十分 にある大宮では、これをしっかり伸ばしていくことも重要です。 最近は、大宮駅周辺にお洒落なカフェがいくつかできて、午 後の2-3時にママさんたちにたくさん使われていています。 大宮は集合しやすいから需要があるんですね。新宿や渋谷 も同様です。ホテルをどうやってつくるかを考えることも大事 ですが、ママさんがよく行くカフェが他の場所に流れないよう に囲い込むことを考えないと。あとは、地域の人の地産地消 を伸ばすことです。大宮駅は利便性が非常に高くマンション は今後もまだ増えるでしょうから、我々が大宮で経営するレス トランも心がけていますが、地域の飲食店が見沼エリアでつ くられた野菜を採用するようなサイクルをつくるべきなんじゃ ないかと思います。それは見沼に限らず、埼玉全体への面的 な展開としてあったほうがいい。リアルな生活体験をする場 所、まちづくりとか地域活性化を体感できる場所です。
- ○橋 いまは、駅近にタワーマンションが増えていますよね。 ただ、そこにマーケットがあるのに受け皿がなく、とてももっ たいないと感じます。差別化につながる価値がちゃんとあれ ば拠点になるし、人の移動も生まれる。そうでないと、単に 交通を結びつけただけで人はそこには行かないんですよ。
- 神河 そうですね。面的な関係をつくるという観点から言 うと、見沼と天沼をしっかりくっつけてあげることも考えられ ます。大宮駅周辺は郊外型のマンションとして都心から住み 替える人たちもいるかもしれませんが、じつは大宮以北の沿 線住宅エリアのシニアの方々にとっても、ほどよい都心型の ライフスタイルを得る移転先としても魅力的なんですね。た とえば、経済的に余裕があっていままでの居住地にこだわら ないシニアの方々が大宮の都心のマンションに住み、子育て 中の親子が天沼エリアの戸建てに住む。天沼は大宮エリア にある本社へバスで通勤できる距離です。そして隣の見沼は 500m圏内なので、遊びにいく場所として位置づけられます。 そのようにして、天沼と見沼を面的につないでちゃんとサイク ルをつくる。参考例は仙台の「泉パークタウン」です。戸建て 住宅を買った人たちが、そのメンテナンスが大変になってき たら、同じ「泉パークタウン」内のより中心地エリアのマンショ ンに移り住む。他方で、若いファミリーが賃貸マンションで入 居しながらローンが組めるようになったら、中心から離れたよ

り子育て環境の良い中古の戸建てを買って移り住む。 こうしたサイクルによって、持続可能な高品質な住宅街として成立しているんです。 そういうのを大宮は狙うべきでしょう。

先ほども申し上げた「対流」と同じように、公共施設の活用そのものは目的ではないですよね。公共施設再編も公共空間活用もエリアマネジメントも、都市マーケティングのひとつの手段として、誰に何を訴え、来てもらうのか。その結果として、都市が比較競争のなかでも伸びていけるのか。これをちゃんと明確に意識してからスタートしたほうがいいと思うんです。その公共空間が活用できたおかげで、企業のユーザーとのタッチポイントとして使えるとか、企業内の優秀な人材にとっても刺激的な出会いが生まれるのかとか。そういう場所として、活用したり売り込むのであって、ただ「オープンカフェで賑わいが生まれました」とか、そもそも一定レベルの都市で

あればできることを目標にし たり、一喜一憂している場合 ではないと思います。そうで はなくて、本格的に地域全体 を伸ばしてくれる企業やそこ にお勤めされるタレント人材 が利用するメリットと、既存の 地元産業・企業が共存・共創 できることを考え、実施する ことが重要です。そのために、 何が本当に必要なのかをリ サーチする。そうすると「駅前 は歩行者を優先したトランジッ トモールのほうがいいんじゃ ないかしとか、そういうことが 分かってくる。あと対流拠点 といっても、対流だけではなく 1泊や2泊してもらうことを考



えたい。地方の離島では、おいしいレストランが少なくとも2軒ないと観光客は宿泊しないんです。人間は夕飯をひと晩に1度しか食べられないわけだから、2つ夕飯を食べたい場所があったら、1泊するわけです。ビジネスやライブを見に来た際に、ただ泊まるだけのホテルをつくるより、そのように仕掛けたほうがよっぽど街全体としては効果・効率がいい。要するに、ターゲットが誰の何のニーズなのか、その人たちの財布の状態を考えて、公共施設再編や公共空間利用、エリアマネジメントを考える必要があります。財布の暖かい人たちが長く滞在することが重要ですから。

- 橋 | そうですね。その視点が抜けていると「なんでもかんでも振わっていればいい」ということになってしまいます。 賑わいがマイナスの場合もありますから、その質を考えることが大事ですね。
- ●神河 せっかく何かの機会で都内から大宮に人が来ても、 近辺においしい飲食店がないと、交通の便がいいから都内 に戻ってしまう。それではあんまり意味がないですよね。カス

賑わいの 質を考える

タマージャーニーと言いますが、ユーザーが商品やサービス を一連の流れで体験することを意識して計画したほうがいい ですね。たとえば、公共施設で行われるアイドルのイベントを 目当てに、初めて大宮に来る人が事前に下調べをして、おい しそうなレストランを見つけたとします。さらによく調べたら、 じつは大宮エリアではヨーロッパ野菜や豚肉など埼玉県の 地産地消が盛り上がっていて有名な店が2店舗あれば、予 定になかった1泊など多めの滞在を計画する人が増えるかも しれない。公共施設のコンテンツからウェブでの地域独自性 の発見、他の地域施設の利用に至るまでのカスタマージャー 二一を真剣に考えて、都市全体が魅力あるものに計画・設計 されていると、大宮の体験はひとつのブランドになる。そう いう体験をしてもらうには、実験オフィスをつくるといった公 共施設の使い方も考えられますね。しばらくタダでその場所 を使ってもらって「大宮って、とてもいいですね」と気づいて もらって拠点を移転してもらう。それぐらい大胆なことを考え たほうがいいんじゃないかなと思います。また、いまではマー ケティングは新しい欲

望をつくるくらいのこと をやらなきゃ駄目だとも 言われています。都市 も、そうでなければい わゆる都市計画だけで 終わってしまう。それは つまり、商品をつくる計

画はあるけど、売る・使ってもらう計画がないということです。 国内は人口減少の時代で、世界的にも都市間競争が激しく、 アジアのなかで日本の価値が相対的に低くなる状況で、都市 を売る視点がなかったらまずいじゃないですか。

大宮の特長とはなにか

○ UDCO マーケティングを差別化、独自化するうえで、大 宮の特徴をどう考えたらよいでしょうか。

●神河 ひとつは、新幹線が止まる駅と2000年以上も歴史 のある神社が、これだけ近い距離に位置することです。こう いう場所って他にないんですね。非常に高いリテラシー、コ ミュニティ意識のある地元の方々と新幹線がこの距離にある のは非常にいいことです。それを生かした産業活性化を考え たほうがいい。埼玉の語源と言われている「さきたま」という 言葉には、「偶然のよい出会い」といった意味が含まれてい るそうです。都市型・イノベーション産業で必要なのは、セレ ンディピティ(偶然のよい出会い)だと言われていますから、セレ ンディピティが多く生まれ、イノベーション産業が伸びるよう にしたいですね。もうひとつ重要なのは、大宮が自治の町で あるということです。街道の宿場町も幕府に頼んで自主的に つくっている。鉄道の駅も自治によってつくったんですよね。 そして都市計画も地域の方々が主体的に考えている。素晴ら しいと思うんです。つまりリーダーシップを持っている人たち

がいらっしゃるということですから、それは一番の財産です。 行政が行う一般的な都市計画では、公平性が前提なので誰 もが来られるような考え方になります。でもマーケティングと は「マークすること」、つまりターゲットを絞り込むという意味 合いもあるんです。だから、それができるリーダーシップのあ る人をどんどん増やしていくことが肝要です。ターゲットの領 域を絞り込めていなかったら、平均的な議論ばかりでいいア イデアが出てこない。まずは、大宮の売り込み方や来てもら いたい企業、住んでもらいたい人を絞り込んでいくのです。 そして、国内外の先行する都市のように経済局とも一体に なって、大企業と地元企業・零細事業者、個人の交わりを真 剣に考えたほうがいいですね。交通インフラとハコをつくっ て終わりになるのは、もう20世紀型の都市計画です。ハコよ りも先に都市をどうしたいのかという政策があって、その政 策はマーケティング的でなきゃいけない。もうひとつは、産業 が伸びることはイノベーションでもあるんです。新しいニーズ をつくるぐらいの姿勢でやらないと生き残れません。それぐ らいの覚悟が必要です。

民間企業の地域貢献のあり方

- 橘 マネジメントにはマーケティングとイノベーションの2 つが必要です。でも、いまのエリアマネジメントはオペレーショ ン、つまり「管理」と勘違いしている人が多いですね。
- 神河 | そうですね。マネジメントは「管理」ではなく「経営」 と訳さないと。だからエリアマネジメントは「地域を経営する こと」と考えないと、もったいない。
- ○橘 その視点に立つと、お金の考え方が変わってきたりし
- ●神河 | 僕らが言っているエリアマネジメントは、1つ目はイン フォーマルなネットワークやオープンに交流できる「場」など のインフラづくり。2つ目は企業やタレントを惹きつける新し い都市の利用方法としての商品づくり。3つ目は都市のブラ ンドを伝えるニュースづくりだと考えています。ハードとして の都市計画は、再編がすべて完了すればすべて終わってし まいますが、そうではなく、ソフトとしての「都市の新しい使 い方しを常に開発し続けたほうがいいんですね。大宮の新し い使い方をつねに企画して、提案し続ける地元があったほう がいい。地域活性化とか情報発信、インフォーマルなネット

地域を 経営すると

ワークづくりは行政よりも民間が得意です。なので、民間のノ ウハウをしっかり使うべきです。民間でやるべきことと行政で やるべきことを、使い分けながら進めたいですね。

◎橘|そうですね。民間の不動産事業にとって、町内活動で 汗をかくことが地域貢献だと思っている人が多いのですが、 それは違うんですよ。むしろ、事業としてきっちり儲けて地域 経済を高めることで、結果的に多くの果実を落とすことがで きる。どうしてもまちづくりは街の内部の課題や強みばかり に目が行きがちですが、街の外や社会のある機会や脅威を 見ると、必ずしもその強みが機会につながっていなかったり することがあります。逆に街の内部の弱みだと思っていたも のが見方を変えれば強みに変わる場合だってあるわけです よね。そういう視点は、持ったほうがいいですし、それがマー ケティングなのだと思います。

- ◎ UDCO │公共施設など、行政が関係するとマーケティング よりも公平性が重要視されて、なかなか絞り込みづらいので はないかと感じます。どうしたらいいのでしょうか。
- ○橘 まず整理するべきなのは、ひとりの取り分が多くなる ことがいいのか、あるいは全員平等のほうがいいのか、どち らかを判断しなくてはいけないとういうことです。我々は平 等化するよりも、取り分をきちんと上げることのほうが、その 人にとっても幸せなことだと思うんです。もちろん金銭だけ で判断できないかもしれませんが、豊かさを求めるのであれ ば、得られるものを最大化していくことは、重要だと思います。 こうした視点を得られることが、マーケティングに民間企業 を入れるよさです。民間企業が私欲に走ってビジネスをやっ ても、そのほうが結果として地域貢献になる場合があるんで す。そこを勘違いしてはいけない。また、本当に自社のこと しか考えないような企業は、いまの時代は生き残れないです し。それと、都市の利用価値をいかに創造できるか。拠点を つくってそれを結ぶ道路をきれいに整備したところで、目的 がない限り人は行かないし、店舗も張り付かないです。生活 や文化、商いといった都市コンテンツがぽこぽこ道路に張り 付いてネットワークができることによって、人の流れが生まれ るのだと思います。かつての渋谷圏、恵比寿から渋谷を抜け て神宮外苑に至るエリアは適度な間隔で店舗がつながって いたので、人が歩いていたんですね。そういうことを意識し ていないと、ただ拠点だけができて終わり、なんてことにな りかねません。それと、どうしても都市計画ではメインストリー

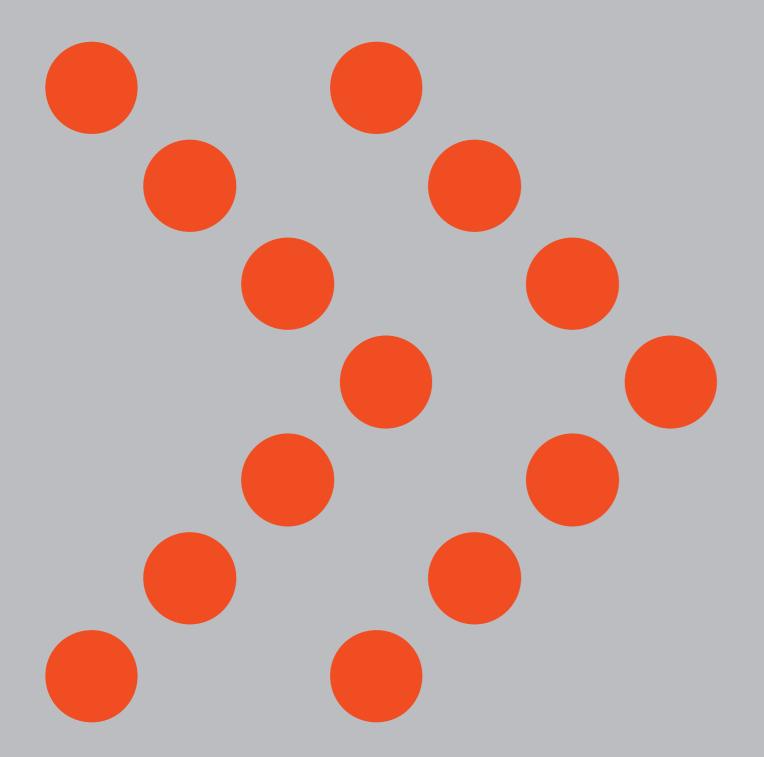


都市の 新しい使い方を 常に開発 し続ける

トのような大きな道をつくりたがりますが、大宮には路地の楽 しみもあるし、必ずしもメインストリートだけが選択肢ではな いような気もしますね。

次世代のリーダーシップを 育成する

- 神河 | マーケティング戦略を考えて推進するうえで、一番 重要なのはいかに人を育成するかです。つまり次世代のリー ダーシップをより多く育成できるかどうか、またその体系をつ くっていけるのか。かつて大宮を引っ張っていたのは紡績業 でした。かつての先端産業であった紡績業が都市にあったこ とが、さまざまなリーダーや文化も育んだのだと思います。先 人たちの遺産や、「東京圏」という大きな社会経済のなかで 消費地・居住地として安穏とするだけでなく、時代にあった 新しいイノベーティブな産業やリーダーをどう育てていくの かを考えることはとても重要です。
- ◎橘 そうですね。海外には、未来志向で創造的な対話をす るための「フューチャーセンター」という施設があります。ソ ウルの「フューチャーセンター」では、中学校レベルからの人 材育成プログラムを提供しているんです。産業面だけではな く、あらゆる都市課題に対して基本的なところから教える。こ うした次世代を担う人を育てる施設があるといいなと思いま す。もうひとつは、若い人が起業しやすい土壌をつくること です。いま、中学生や高校生が起業するケースが出てきてい ます。たとえば沖縄に「Ryukyufrogs」というプログラムが あり、沖縄県内に住む学生をシリコンバレーに派遣して、アン トレプレナーシップ(起業家精神)を養う研修プログラムを提供 しています。そこから実際に起業した高校生もいます。面白 いのは、彼らがとても社会性を意識したビジネスを構築して いることです。彼らのような人がどんどん出てくると、都市は 変わるのだろうと感じます。だから、そういう人が生まれてく る土壌をつくって、次の世代を育てられるような街でありた いですね。



市民・専門家参加に基づいた提案書 「大宮駅東口周辺公共施設再編〜公共施設跡地活用全体方針(原案)」に対する

UDCO[アーバンデザインセンター大宮]では、さいたま市により公表された「大宮駅東口周辺公共施設再編/公共施設跡地活用全体方針(原案)」を受けて実施したPublic Involvement: 市民・専門家参加「市民との対話、専門家へのインタビュー、多世代のアンケート等」に基づき、大宮駅東口公共施設再編を契機として大宮のまちの価値をさらに高めていくための提案を致します。



平成30年2月26日

UDCO[アーバンデザインセンター大宮]

センター長 工藤和美[東洋大学教授]

副センター長 藤村龍至[東京藝術大学准教授]

内田奈芳美[埼玉大学准教授]

対流拠点としての役割の明確化

都市戦略

世界の中の大宮 「大宮らしさ」を位置づける都市戦略、

- これからの大宮は、まず「大宮らしさ」を打ち出し、東日本という限られた範囲ではなく、世界の中でその「大宮らしさ」をどう位置づけるか、ということを考えていく必要があります。
- ●世界、日本、東日本、首都圏、さいたま市という 各スケールの中で、大宮らしい都市戦略を行政 が打ち出すことが求められます。
- ◆ その中で、「東日本の対流拠点」の意味・役割を明らかにし、さらに「大宮らしさ」を醸成していくべきです。

公民連携によるプロセス •

開かれたプロセス 開かれたプロセスによる主体的な 市民参画と地域づくりの担い手育成

- 市民との情報共有にとどまらず、市民が主体的 にプロジェクトに参画することが重要です。
- そのためには、行政が制約条件や意思決定の 理由を明らかにし、かつ、参加者が偏らない工夫 を行いながら、開かれたプロセスで進めていく 仕組み作りが必要です。その際に、常に最先端 の知識や事例を取り入れながら、企画・検討の 議論が平準化しないための配慮も求められます。
- ◆ それが大宮の次世代の地域づくりの担い手育成にもつながっていきます。

3

民間との対話

民間事業者の提案・参画意欲を 引き出す仕組み作り

- 公民連携では、早い段階から民間事業者の意見や提案、そして事業参画への意欲をいかに引き出すかが重要です。
- 民間事業者の提案の中に盛り込むべき要件を 行政が明らかにし、民間の意見・提案を引き出 す仕組み作りや、適切な段階での開放型・閉 鎖型を組み合わせたサウンディング(民間事業者 との公募による対話)等の意見聴取の実施、民間 提案制度等を活用していくことが重要です。

4

プロジェクトチーム 産官学民の連携による プロジェクトチーム編成の検討

- 各拠点のプロジェクトを進めていく上で、複合 した都市機能やプログラムが想定されるため、 多彩な知見を取り入れつつ、行政の関係課と の調整を図っていく必要があります。
- 今後設置するプロジェクトチームは、さいたま市の関係各課を横断した体制をベースに、コーディネーター・専門家・事業者を柔軟に取り入れてプロジェクトを推進していく実働体制を組織することが望まれます。
- また、3つのプロジェクトの調整機能を強化し、 相互に連携を図ること、そしてそこから周辺地域 への事業・活動波及を目指すことが必要です。

プログラム =主体・手法・計画・運営の動的なつながり

5

プログラム先行

公益性を踏まえた都市マーケティング によるプログラム作りから施設整備へ

- ◆ 公共施設再編では、施設整備のみが目的ではなく、その施設が多くの方に利用されることが重要です。
- そのためには、供給者及び利用者ターゲットを 見定めたまちづくりの戦略となる都市マーケ ティングを組立てながらプログラムの検討、与 条件の整理を行い、それに見合う施設整備へ と移行すべきです。
- プログラム検討の際には、地域への公共サービスと、産業・民間マーケティングとのバランスを 十分に検討して明らかにする必要があります。
- また、行政としては民間提案も活用しながら十分な公共サービス提供に向けた税収を上げる 仕組みをしつかりと作っていくべきです。

6

柔軟な計画づくり

変化する社会、漸進的開発に応じた
柔軟な軌道修正が可能となる計画づくり

- 数年で大きく変化する社会・経済情勢や、漸進 的な開発に応じて柔軟に軌道修正が可能な計 画づくりを求められます。
- そのためには施設整備後の資金計画や暫定利 活用、段階整備計画等を含めて、いくつかのパ ターンを並行して検討する必要があります。

空間の質

7

魅力的な都市空間 大宮らしい空間の質を担保する 仕組みづくり

- 大宮の価値を高めていくためには、魅力的な 都市空間を形作る必要があります。
- まちづくりの具体化に伴い、実際に整備される施設が、プログラムに見合った空間の質を担保するための仕組み作りを行う必要があり、空間の質を評価する指標の確立、デザインガイドラインの作成などの仕組み作りが考えられます。

地域内ネットワーク

8

3つの軸の役割

点から線へと繋げる 3つの軸の役割と機能の更新

- 2010年にさいたま市より公表された「大宮駅 周辺地域戦略ビジョン」で示された3つの軸 (東西シンボル軸、賑わい交流軸、歴史文化軸)の方 針は、公共施設再編や他のまちづくりの方針に 合わせて新たな役割が生まれてくると考えられ ます。
- 面的なまちづくりと並行して、3つの軸の新たな役割や機能を更新していく必要があります。

9

まちづくりプラットフォーム (媒介) 大宮駅を中心とした

(媒介) 大宮駅を中心とした 東西まちづくりのプラットフォームづくり

- 大宮駅周辺で進めている様々なまちづくり(公 共施設再編による連鎖型まちづくり、大宮駅グランドセ ントラルステーション化構想、大宮駅西口周辺まちづく りなど)について、それらを相互に関連付けなが らエリア全体の価値向上を目指していく必要が あります。
- そのためには、それらを関連付けるプラット フォームとなる仕組みづくりを意識して進めて いくことが重要です。

10

防災力の向上

広場・緑による 総合的な防災力向上

- 東京都心のバックアップ機能を兼ね備えた都市として、大宮の防災力向上が求められます。
- そのためには、強靭な建物を建設するということだけでなく、一定規模の広場・緑を位置づけていきながら、大宮全体の都市再生による総合的な防災力の向上が必要となります。



J jj

上記を踏まえ、3つの地区「駅前賑わい拠点、地域連携拠点、 氷川神社周辺エリア」について、今後検討を進めていくに あたり大切にすべき考え方を示します。

[駅前賑わい拠点]

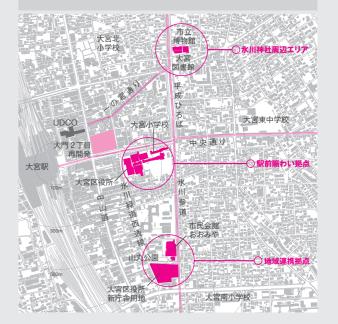
- コミュニティの核として多世代をつなぐ役割。
- 公民連携によるまちに開かれた文化・教育拠点の形成。
- プロジェクトの区域設定、大宮小学校の整備方 針を早期打ち出し。
- 東西シンボル軸、歴史文化軸、氷川緑道西通線との一体性やつながりの形成。

「地域連携拠点〕

- 山丸公園・新区庁舎との一体的な利活用、および、連動した広場の組み合わせによる防災機能向上。
- ◆ 大宮駅とさいたま新都心駅との人の流れを促進 し、居場所となる場づくり。
- 歴史文化軸、氷川緑道西通線との一体性やつながりの形成。

「氷川神社周辺エリア

- プログラムと連動した、神聖な場所としての価値とそこにふさわしいにぎわい、住環境の共存が図られた、静かなる賑わいの風景の形成。
- 氷川参道周辺のデザイン・機能・利活用のマネジメント。
- 大宮駅グランドセントラルステーション化構想 などの周辺のまちづくりや賑わい交流軸とのつ ながり。



2 63

「UDCO REPORT――まちを紡ぐ」

#001

大宮駅東口周辺公共施設再編/

公共施設跡地活用PI

-

2018年3月23日発行

編集·発行:

UDCO[アーバンデザインセンター大宮]

_

協力:

さいたま市

編集協力:

水野雄太+和田隆介

_

デザイン:

刈谷悠三+角田奈央/neucitora

印刷:

高速印刷株式会社

問合せ先:

UDCO[アーバンデザインセンター大宮]

330-0802

埼玉県さいたま市

大宮区宮町1丁目60番地

大宮ラクーン8階

まちラボおおみや内

TEL: 048-782-9679 FAX: 048-782-9680

1AA. 040 702 30

©2018 UDCO All Rights Reserved アーバンデザインセンター大宮(以下、UDCO)は、市民、行政、企業、教育・研究機関など、さまざまな主体が広く連携しまちづくりを推進する基盤として、2017年3月に設置されました。大宮ラクーン8階にある「まちラボおおみや」を活動拠点に、大宮に関わる多くの人々とともに新たな時代のまちづくりを考え、各々の取り組みを活性化し、それらを相互に連携、相乗効果を生み出していくことを目指しています。

UDCOの基本理念は、「産+官+学+民」の連携です。民間企業による独自性と専門性を活かした役割を担う「産」、自治体や非営利団体(NPO)など地域社会に必要な公共公益的な役割を担う「官」、大学や研究機関などの知識や技術をもとに先進的な役割を担う「学」、市民やまちづくり団体など地域の活力や魅力を向上する役割を担う「民」。それぞれの立場で活動するこれらの主体が広く連携し、まちづくりを推進する基盤として機能するため「一般社団法人アーバンデザインセンター大宮」がUDCOを運営しています。UDCOは大宮を新たな時代に発展する街へとデザインするとともに、良好な街の形成に向けたマネジメントを提案します。



一般社団法人アーバンデザインセンター大宮

URBAN DESIGN CENTER OMIYA

330-0802 埼玉県さいたま市

大宮区宮町1丁目60番地

大宮ラクーン8階まちラボおおみや内

TEL: 048-782-9679 | FAX: 048-782-9680

E-MAIL: info@udco.jp | WEBSITE: www.udco.jp

Facebook: www.facebook.com/

UrbanDesignCenterOmiya/

大宮ラクーン 8F まちラボおおみや内



まちラボおおみやは株式会社浜友商事の ご協力により提供いただいているスペースです。

